

本資料は 年 月 日付けで登録区分、  
更新する。 2001. 6. 20 [技術情報室]

# 安全管理業務報告

(平成8年度第2四半期)

1996年9月

動力炉・核燃料開発事業団  
東海事業所

本資料の全部または一部を複写・複製・転載する場合は、下記にお問い合わせください。

〒319-1184 茨城県那珂郡東海村大字村松4番地49  
核燃料サイクル開発機構  
技術展開部 技術協力課

Inquiries about copyright and reproduction should be addressed to:  
Technical Cooperation Section,  
Technology Management Division,  
Japan Nuclear Cycle Development Institute  
4-49 Muramatsu, Tokai-mura, Naka-gun, Ibaraki, 319-1184  
Japan

ては複製、  
理して下さ

© 核燃料サイクル開発機構 (Japan Nuclear Cycle Development Institute)  
2001



# 安全管理業務報告

(平成8年度第2四半期)

石黒 秀治

## 要 旨

平成8年度第2四半期(平成8年7月～平成8年9月)に実施した業務概要について報告する。

記載項目は、安全管理業務概要、安全管理一般、放射線管理、環境安全、個人被ばく管理、小集団活動の推進、研究開発、外部発表等について、取りまとめたものである。

## 目 次

1. 安全管理業務概要 .....	1
2. 安全管理一般 .....	5
2.1 規定類の整備 .....	5
2.2 安全衛生委員会等の活動 .....	6
2.2.1 安全衛生委員会 .....	6
2.2.2 東海事業所安全専門委員会 .....	7
2.2.3 再処理施設安全専門委員会 .....	9
2.2.4 安全主任者会議 .....	10
2.2.5 安全連絡会 .....	12
2.3 教育訓練実施状況 .....	13
2.3.1 安全管理部が事業所の窓口として手続等を行った 講習会・資格取得試験 .....	13
2.3.2 安全管理部以外で主催された教育訓練への講師等派遣 .....	15
2.3.3 安全管理部員が参加した講習会・資格取得試験 .....	16
2.3.4 安全管理部以外で主催された所内教育訓練への参加 .....	19
2.3.5 安全管理部内で実施した教育訓練 .....	21
2.4 安全パトロール，安全点検等の実施状況 .....	25
2.4.1 課内安全衛生パトロール .....	25
2.4.2 安全主任者会議パトロール .....	26
2.5 監督官庁への許認可申請及び報告等 .....	27
2.5.1 科学技術庁 .....	27
2.5.2 水戸労働基準監督署 .....	33
2.5.3 茨城県庁 .....	34
2.5.4 東海村 .....	35
2.6 安全管理部品質保証推進委員会 .....	36
2.7 安全管理部研究開発推進委員会 .....	37

3. 放射線管理 .....	38
3.1 放射線安全課所掌施設 .....	38
3.1.1 放射線管理業務概要 .....	38
3.1.2 放射線作業計画等の実施状況 .....	39
3.1.3 管理区域等の設定・解除 .....	44
3.1.4 作業環境における放射線測定結果 .....	45
3.1.5 被ばく，汚染サーベイ報告 .....	53
3.2 放射線管理第一課所掌施設 .....	54
3.2.1 放射線管理業務概要 .....	54
3.2.2 放射線作業計画等の実施状況 .....	55
3.2.3 管理区域等の設定・解除 .....	57
3.2.4 作業環境における放射線測定結果 .....	58
3.3 放射線管理第二課所掌施設 .....	74
3.3.1 放射線管理業務概要 .....	74
3.3.2 放射線作業の実施状況 .....	75
3.3.3 管理区域等の設定・解除 .....	78
3.3.4 作業環境における放射線測定結果 .....	79
3.3.5 被ばく，汚染サーベイ報告 .....	86
3.4 放射線管理用機器の管理 .....	87
3.4.1 放射線管理用機器の整備及び検査 .....	87
3.4.2 主な設備の管理 .....	87
3.5 マスクマンテスト実施状況 .....	93
4. 環境安全 .....	94
4.1 環境監視業務 .....	94
4.1.1 試料採取及び前処理 .....	94
4.1.2 環境放射能分析 .....	97
4.1.3 海洋観測及びモニタリング船「せいかい」の活動 .....	99
4.1.4 気象観測 .....	100

4.1.5	環境データ処理状況	100
4.2	放出放射能監視業務	101
4.2.1	排水中の放射性物質及び一般公害物質の監視結果	101
4.2.2	排気中放射性物質の分析	104
4.2.3	外部機関による立入サンプリング時の試料分析	105
4.3	内部被ばく管理（バイオアッセイ）	106
4.3.1	定常バイオアッセイ	106
5.	個人被ばく管理	107
5.1	放射線業務従事者の被ばく管理	107
5.1.1	実効線量当量	107
5.1.2	組織線量当量	107
5.2	外部被ばく管理	107
5.2.1	放射線業務従事者の外部被ばく管理	107
5.2.2	一時立入者の被ばく管理	108
5.2.3	作業モニタリング	108
5.3	内部被ばく管理	108
5.3.1	定常モニタリング	108
5.4	線量当量測定結果の報告，通知，登録関係業務	108
5.4.1	放射線従事者中央登録制度関係業務	108
5.5	個人線量計等の管理	109
5.6	特記事項	109
5.6.1	その他の線量測定	109
5.6.2	外部機関の線量当量測定	109
6.	小集団活動の推進	122
6.1	東海事業所小集団活動（TSK）の推進	122
6.1.1	主な活動	122
6.2	安全管理部小集団活動（ASK）の推進	122
6.2.1	主な活動	122

7. 研究開発等 .....	124
7.1 個人被ばく線量当量測定・評価技術の開発 .....	124
7.1.1 外部被ばく線量測定・評価技術の高度化 .....	124
7.1.2 内部被ばく線量測定・評価技術の向上 .....	124
7.2 放射線モニタリング技術の開発 .....	124
7.2.1 核燃料施設における放射線管理設計の基準化に関する研究 .....	124
7.2.2 放射線作業における被ばくの低減化に係わる研究 .....	125
7.2.3 再処理施設における放射線監視・管理のシステム開発に関する研究 ..	125
7.3 環境安全技術の開発 .....	125
7.3.1 影響評価手法に関する研究 .....	125
7.3.2 移行挙動及び変動要因に関する研究 .....	125
7.3.3 分析技術の高度化研究 .....	126
7.3.4 広域拡散影響評価手法に関する研究 .....	126
7.4 安全工学研究 .....	126
7.4.1 異常時のエアロゾル挙動等に係る研究 .....	126
7.4.2 異常事象評価試験研究 .....	126
7.4.3 静的安全機能を有する機器の核燃料施設への適用に係る研究 .....	126
7.4.4 核燃料施設の安全解析手法の開発・整備 .....	127
7.4.5 核燃料施設の確率論的安全評価に関する研究 .....	127
8. 外部発表等 .....	128
8.1 外部発表（学会論文発表，外部機関誌論文発表，その他の外部発表） .....	128
9. 表彰等 .....	130
9.1 表彰一覧（科学技術庁長官賞，理事長賞，所長賞等） .....	130

## 1. 安全管理業務概要

### (1) 保安管理業務

平成8年度の安全管理基本方針に従い、安全に関する諸活動等を実施した。連続無災害日数は、9月末現在で1167日である。

#### ① 安全管理

月例の安全衛生委員会、安全専門委員会及び安全専門部会を開催した。

#### ② 許認可及び規定等

高圧ガス完成検査を2件受検するとともに、労働安全衛生法に基づくクレーン、ボイラ等の性能検査を22件受検した。

規制法に基づく許認可事項では、再処理施設については、設計及び工事の方法の許可の申請を3件行い、使用前検査を26件受検した。核燃料物質使用施設については、施設検査を9件受検した。

### (2) 施設の放射線管理

#### ① 核燃料物質使用施設等

プルトニウム燃料工場、環境施設部、核燃料技術開発部、再処理技術開発部、安全管理部の各施設において、定常放射線管理及び非定常放射線管理を実施した結果、保安規定等に定める諸基準を超えるものはなかった。

#### ② 再処理施設

再処理工場、環境施設、プルトニウム転換技術開発施設、クリプトン回収技術開発施設において定常放射線管理及び非定常放射線管理並びに気体廃棄物の放出監視を実施した結果、保安規定等に定める諸基準を超えるものはなかった。

### (3) 環境安全管理

#### ① 環境監視

再処理施設保安規定等の監視計画に基づく空間放射線の測定、環境試料の採取、放射性物質の測定並びに気象観測等の定常業務を実施した。これらの結果、いずれも周



辺環境への影響のないことを確認した。また、平成7年度の環境モニタリングの結果については、原子力安全委員会、環境放射線モニタリング中央評価専門部会で審議を受け、各施設の影響は見られなかった。

② 排気・排水管理

排気試料の分析、排水試料の放射性物質濃度及び一般公害物質濃度の測定等の定常業務を実施した。

これらの結果は、いずれも再処理施設保安規定及び核燃料物質使用施設保安規定等に定める基準を超えることはなかった。

(4) 個人被ばく管理

放射線業務従事者及び一時立入者に対する定常的な線量当量の測定を実施した結果、当該期間中においてはいずれも法令及び保安規定に定める限度を超える被ばくはなかった。

(5) 放射線管理用機器の管理

再処理施設及び核燃料物質使用施設等に設置されている放射線管理用機器が常に正常に作動するように、点検・保守を実施した。

(6) 安全技術の開発

① 安全研究実施計画立案、評価

国の安全研究年次計画及び事業団安全研究基本計画のうち、東海事業所が実施している課題の研究計画を推進した。

② 安全研究の実施

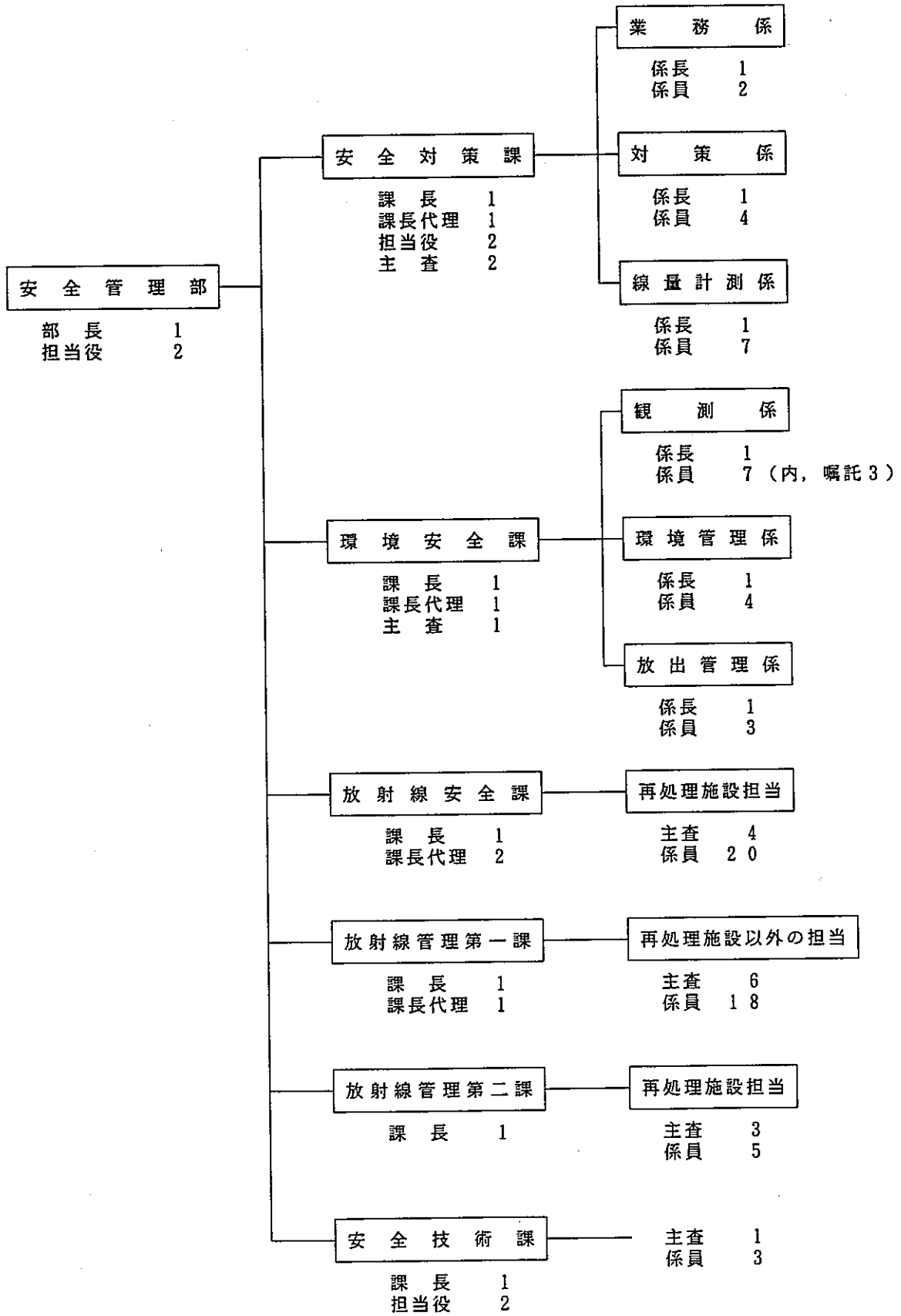
個人被ばく線量当量測定・評価技術、放射線モニタリング技術、環境安全技術、核燃料施設の安全工学研究等に関する研究開発業務を行った。

③ 安全基準の整備

再処理施設、核燃料施設の安全技術基準類の整備を継続実施した。

(7) 安全管理部の組織

安全管理部の組織を、図-1に示す。



安全管理部合計 114人 (内, 嘱託3)

図-1 安全管理部の組織 (平成8年9月1日現在)

## 2. 安全管理一般

### 2.1 規定類の整備

平成8年度第2四半期は、該当はなかった。

2.2 安全衛生委員会等の活動

2.2.1 安全衛生委員会

安全衛生委員会の活動内容を、表2-2-1に示す。

表2-2-1 安全衛生委員会の活動内容

開催日	議 題
7月18日	1. 前回議事録確認（6月期）
	2. 6月期安全専門委員会報告
	3. 6月期安全主任者会議報告
	4. 平成8年度電気使用安全月間運動について
	5. 平成8年度安全主任者会議活動計画
8月22日	1. 前回議事録確認（7月期）
	2. 安全専門委員会報告（7月期）
	3. 安全主任者会議報告（7月期）
	4. 平成8年度第1四半期被ばく管理、特作（S1）に係る被ばく結果報告
	5. 平成8年度全国安全週間及び安全強化月間（含準備期間）行事実施結果報告
	6. 平成8年度第1四半期衛生管理実施状況報告
	7. 平成8年度全国労働衛生週間行事案（含準備期間）
	8. 平成8年度全国産業安全衛生大会について
	9. ガラス固化技術開発施設（TVF）における換気系等の一時停止について
9月19日	1. 前回議事録確認（8月期）
	2. 安全専門委員会報告（8月期）
	3. 安全主任者会議報告（8月期）
	4. 平成8年度電気使用安全月間運動について
	5. 再処理施設の一時停電について
	6. 平成8年度高圧ガス危害予防週間標語入選作について

議長：清野貫男（副所長）  
 委員：石黒秀治（安管部） 須藤清二（産業医） 塩谷建二郎（安管部）  
 今泉清（建工室） 中島克三（管理部労務課） 園部次男（研管課）  
 五十嵐寛（環開部HTS） 山本隆一（再処理化2課） 沢山武夫（プル燃加工課）  
 那須善昭（環施部技術課） 飯島信夫（安管部放安課） 柴浩三（安管部放一課）  
 並木篤（安管部放二課） 小畑富美子（管理部労務課） 斎藤克則（核開部遠心法）  
 市毛良則（再開部AAS） 小田治恵（環開部GIS） 平田利明（再処理化3課）  
 川崎猛（プル燃製造課） 仙波康成（環施部TVS）  
 事務局：篠原邦彦、鈴木猛、大内忍（安管部安対課）

2.2.2 東海事業所安全専門委員会

東海事業所安全専門委員会の活動内容を表2-2-2に示す。

表2-2-2 東海事業所安全専門委員会の活動内容

(1) 各部安全専門部会の審議を経た後、本委員会において下記の審議を行った。

審議開催日	部会名称	議 題	
平成8年7月30日(定例)	委員会	(1) 放射線保安規則の変更	審議事項
	第2専門部会	(1) プルトニウム燃料第三開発室における安全作業基準の作成	報告事項
		(2) 混合造粒設備及び焙焼還元設備の粉末回収作業(その2)	報告事項
		(3) プルトニウム燃料第三開発室における安全作業基準の変更	報告事項
平成8年8月28日(定例)	委員会	(4) グローブボックスの解体(その5)	報告事項
		(1) 東海事業所安全専門委員会専門部会細則の変更	審議事項
	運搬検討専門部会	(2) 高レベル放射性物質研究施設から発生する高放射性固体廃棄物の受入れに伴う再処理施設設置変更承認申請	審議事項
		(1) 高レベル固体廃棄物所内運搬容器の安全性について	審議事項
平成8年9月25日(定例)	第2専門部会	(1) スクラップの整理作業等に係る核燃料物質使用計画	報告事項
		(2) 混合造粒設備及び焙焼還元設備の粉末回収作業(その2)の変更	報告事項
	第1専門部会	(1) 高速炉燃料再処理試験に係る核燃料物質使用計画	報告事項
		(2) 高レベル放射性廃液の処理処分試験に係る核燃料物質使用計画	報告事項
		(3) 低レベル濃縮廃液からの核種除去試験に係る核燃料物質使用計画	報告事項
	第2専門部会	(1) 核物質の移動作業に係る核燃料物質使用計画	報告事項
		(2) MOX燃料スクラップ処理試験に係る核燃料物質使用計画	報告事項
	第3専門部会	(1) プルトニウム施設安全作業基準の変更	報告事項
		(2) 高富化度ペレット製造試験に係る核燃料物質使用計画	報告事項
		(3) 燃料製造機器試験室安全作業基準の変更	報告事項
(4) ウラン濃縮施設安全作業基準の変更		報告事項	

委員長：小山兼二（副 所 長）

委員：石黒秀治（安 管 部） 松本忠邦（再開部 担当役） 出原重臣（P u 担当役）  
亀田昭二（核開部 新濃室） 大森宏之（環施部 担当役） 大西 徹（再処理前処理課）  
小森芳昭（核 取 主 任 者） 岡部正則（放 取 主 任 者） 塩谷建二郎（安全主管者）  
照井新之助（建工室 担当役） 小形佳昭（再処理 工務部） 大橋和夫（再開部 C M S）  
鈴木良宏（P u 対策班） 飛田典幸（核開部 担当役） 入之内重徳（環施部処理二課）  
石川博久（環開部地層処分） 篠原邦彦（安管部 安対課）

事務局：・澤畑憲明・白井謙二・米沢秀成（安管部 安対課）

## 2.2.3 再処理施設安全専門委員会

再処理施設安全専門委員会の活動内容を表2-2-3に示す。

表2-2-3 再処理施設安全専門委員会の活動内容

(1) 各部安全専門部会の審議を経た後、本委員会において下記の審議を行った。

審議開催日	部会名称	議 題	
平成8年7月17日(定例)	第三専門部会	(1) 安全作業基準(環境施設)の変更	報告事項
平成8年7月25日(臨時)	第一専門部会	(1) 分析設備高放射性試料分析用セルラインの改造	報告事項
平成8年8月21日(定例)	委員会	(1) 高レベル放射性物質研究施設から発生する高放射性固体廃棄物の受入れに伴う再処理施設設置変更承認申請	審議事項
	第一専門部会	(1) 廃溶媒貯蔵場、廃溶媒処理技術開発施設及び高放射性廃液貯蔵場のエアスニファの空気吸引装置の交換	報告事項
平成8年9月18日(定例)	委員会	(1) 平成8年度第3四半期再処理工場運転計画	審議事項
		(2) 平成8年度第3四半期環境施設運転計画	審議事項
		(3) 平成8年度第3四半期転換施設運転計画	審議事項
		(4) 平成8年度第3四半期クリプトン施設運転計画	審議事項
	第一専門部会	(1) 脱硝加熱器及び混合機の更新等	報告事項
		(2) 基礎実験系における試験内容の追記	報告事項
	第三専門部会	(1) プルトニウム転換技術開発施設安全作業基準の変更について	報告事項
		(2) プルトニウム転換技術開発施設事故対策手順の変更について	報告事項

委員長：山内 孝道（建設工務管理室）

委員：小森 芳昭（核取主任者）

山本 徳洋（再処理 化処二課）

村山 重雄（環施部 技術課）

大谷 吉邦（再処理 前処理課）

小野瀬 憲（再処理安全主任者）

菊池 孝（再処理 化処一課）

本多 淳（再処理 化処三課）

小形 佳昭（再処理 工務部）

青嶋 厚（建設工務管理室）

宮本 陽一（環開部 H T S）

田中 泉（P u 転換課）

所 要一（P u 検査課）

石田順一郎（安管部 放安課）

二之宮和重（安管部 放二課）

事務局：・澤畑 憲明・白井 謙二・米沢 秀成（安管部 安対課）



## 2.2.4 安全主任者会議

安全主任者会議の活動内容を、表2-2-4に示す。

表2-2-4 安全主任者会議の活動内容

開催日	議 題
7月22日	1. 前回議事録確認（6月期）
	2. 安全主任者及び職制による巡視・点検結果報告（6月期）
	3. 安全主任者会議巡視点検結果の処置対策について（6月期）
	4. 安全主任者巡視計画（案）について（7月期）
	5. 安全主任者巡視計画（案）について（8月期）
	6. 委員会報告
	7. T V Sにおける換気系等の一時停止について
	8. 労働安全衛生法の一部改正について
	9. 東海事業所規定集「構内作業者心得」について
8月19日	1. 前回議事録確認（7月期）
	2. 安全主任者及び職制による巡視・点検結果報告（7月期）
	3. 安全主任者会議巡視点検結果の処置対策について（7月期）
	4. 安全主任者巡視計画（案）について（8月期）
	5. 安全主任者巡視計画（案）について（9月期）
	6. 委員会報告
	7. 評価手法の検討について（R e v 1）
	8. 全国産業安全衛生大会について
	9. 「緊急機材等についての関連規則」について
9月18日	1. 前回議事録確認（8月期）
	2. 安全主任者及び職制による巡視・点検結果報告（8月期）
	3. 安全主任者会議巡視点検結果の処置対策について（8月期）
	4. 安全主任者巡視計画（案）について（10月期）
	5. 委員会報告
	6. 評価手法の検討について
	7. P N C 東海で採用を検討すべきこと
	8. 東海事業所共通安全作業基準等集の訂正について

安全主管者 : 塩谷建二郎 (安管部)  
安全主任者 : 鴨志田軍勝 (建工室) 時田 光彦 (管理部) 岡部 正則 (研管課)  
                  小野瀬 憲 (再処理) 大森 拓郎 (Pu工場) 大森 宏之 (環施部)  
事務局 : 大内 忍 (安管部安対課)

2.2.5 安全連絡会

安全連絡会の活動内容を、表2-2-5に示す。

表2-2-5 安全連絡会の活動内容

開催日	議 題
9月 4日	1.安全活動に係る情報交換
	2.その他

安 全 主 管 者 : 須藤 清二 (産業医)  
 安 全 主 任 者 : 塩谷 建二郎 (安管部)  
                   : 鴨志田 軍勝 (建工室)                   時田 光彦 (管理部)  
                   : 岡田 正則 (研管課)                   小野瀬 憲 (再工場)  
                   : 大森 拓郎 (加工場)                   大森 宏之 (環施部)  
 事 務 局 : 大内 忍 (安管部安対課)

## 2.3 教育訓練実施状況

## 2.3.1 安全管理部が事業所の窓口として手続等を行った講習会・資格取得試験

講習会及び資格取得試験の内容を、表2-3-1に示す。

表2-3-1 講習会及び資格取得試験の内容

(1/2)

件名	主催	実施日	受講者数
有機溶剤作業主任者技能講習	㈫茨城労働基準協会連合会	7.9～10	6
天井式クレーン運転士免許技能講習	江南クレーン技能教習所	7.11～19	4
〃	茨城クレーン学校	7.15～20	1
消防設備士試験準備講習会	㈫茨城県消防設備協会	7.17～18	2
普通第一種圧力容器取扱主任者技能講習	㈫日本ボイラ協会茨城支部	7.17～18	9
平成8年度前期危険物取扱者保安講習会 (ひたちなか会場)	㈫茨城県危険物安全協会連合会	7.18	38
平成8年度公害防止管理者試験 準備講習会(大気)	公害防止協会	7.20, 8.3, 8.24, 9.8	1
〃 (水質)	〃	7.21, 8.4, 8.25, 9.7	1
平成8年度前期危険物取扱者保安講習会 (水戸会場)	㈫茨城県危険物安全協会連合会	7.22	11
高圧ガス保安係員講習	㈫茨城県高圧ガス保安協会	7.22～23	8
計装士試験準備講習会	㈫日本計装工業会	8.5～6	1
足場組立て等作業主任者技能講習	建設業労働災害防止協会 茨城県支部	8.8～9	2
平成8年度エックス線作業主任者試験	関東安全衛生技術センター	8.22	25

(2/2)

件名	主催	実施日	受講者数
一級ボイラ技士試験	関東安全衛生技術センター	8.22	1
計装士試験	(株)日本計装工業会	8.26	1
作業環境測定士試験	(財)安全衛生技術試験協会	8.29	1
消防設備士試験	(財)消防試験研究センター	9.1	2
有機溶剤作業主任者技能講習	(株)茨城労働基準協会連合会	9.4～5	23
動力プレスの金型、安全装置、安全囲いの取付け業務に関する特別教育	下館地区プレス災害防止協議会	9.7～8	2
電気取扱業務（高圧、特別高圧）特別教育	(株)茨城労働基準協会連合会	9.11～12	6
足場組立て等作業主任者技能講習	建設業労働災害防止協会 茨城県支部	9.12～13	2
溶接技術検定更新試験	(株)日本溶接協会茨城支部	9.13	4
平成8年度後期危険物取扱者試験 準備講習会（水戸会場）	(株)茨城県危険物安全協会連合会	9.17～18	8
” （ひたちなか会場）	”	9.26～27	10
平成8年度公害防止管理者試験（大気）	(株)産業環境管理協会	9.29	1
クレーン運転士免許技能講習	茨城クレーン学校	9.30～10.5	1

## 2.3.2 安全管理部以外で主催された教育訓練への講師等派遣

教育訓練への講師等派遣を、表2-3-2に示す。

表2-3-2 教育訓練への講師等の派遣

教育訓練名	主催	開催日	派遣講師名
放射線業務従事者指定教育（共通課程）	核燃料サイクル工学研修室	7.4～5	秋山
放射線業務従事者指定教育（再処理課程）	再処理工場	7.8	川上
身体サーベイに係る基本動作教育訓練	環境施設部	7.8～12	堀内 黒沢 生田 川上
放射線安全作業教育	核燃料サイクル工学研修室	7.16	山下 水谷
現場責任者安全衛生教育	〃	7.25～26	塩谷 坪
身体サーベイに係る基本動作教育訓練	環境技術開発部	7.30	川上
放射線業務従事者指定教育（共通課程）	核燃料サイクル工学研修室	8.1～2	山中
放射線安全作業教育	〃	8.20	秋山 山崎
放射線業務従事者指定教育（共通課程）	〃	8.22～30	秋山
放射線業務従事者指定教育（再処理課程）	再処理工場	8.26	堀越
放射線測定基礎講座	核燃料サイクル工学研修室	8.26	相馬
放射線業務従事者指定教育（共通課程）	〃	9.5～6	川崎
放射線業務従事者指定教育（再処理課程）	再処理工場	9.9	秋山
施設安全解析コード実習講座（SKYLARK）	核燃料サイクル工学研修室	9.12～13	野尻
放射線業務従事者指定教育（共通課程）	〃	9.19～20	山中
施設安全解析コード実習講座（OSCAL）	〃	9.30～10.1	野尻

## 2.3.3 安全管理部員が参加した講習会・資格取得試験

講習会及び資格取得試験の内容を、表2-3-3に示す。

表2-3-3 講習会及び資格取得試験の内容

講習会等の名称	主催	実施日	氏名		所属
			氏名	所属	
第33回理工学における同位元素研修発表会	日本アイソトープ協会	7.1～2	小 塚 直 樹	環 境 安 全 課	
第16回第一線支援者活性化コース	プレーン・ダイナミックス	7.2～5	宮 河 直 人	"	
QCサークルリーダーコース	(財)日本科学技術連盟	7.8～10	野々宮 崇 博	放 射 線 安 全 課	
機械技術研修所 研究発表会	工業技術院機械技術研修所	7.10	井 崎 賢 二	放 射 線 管 理 第 一 課	
第29回原子力安全研究総合発表会	原子力安全研究協会	7.11	森 田 重 光	環 境 安 全 課	
第3587回 QCサークル夏季大会	QCサークル茨城支部	7.12	洲 崎 輝 雄 橘 内 久 美 砂 田 史 子	安 全 対 策 課 放 射 線 安 全 課 放 射 線 管 理 第 一 課	
視察研修会	東海村危険物安全協会	7.14～15	塩 谷 建 二 郎	安 全 管 理 部	
QCサークル推進者コース	(財)日本科学技術連盟	7.15～17	椿 谷 美 由	安 全 対 策 課	
第3回 夏季セミナー	日本原子力学会 「放射線工学」部門	7.17～19	清 水 義 雄	安 全 技 術 課	

講習会等の名称	主催	実施日	氏名		所属
			氏名	氏名	所属
危険物取扱者保安講習会	㈱茨城県危険物安全協会 連合会	7.20	清水 武彦 渡辺 均 並木 篤		環境安全課 " 放射線管理第二課
放射線管理をめぐる最近の話題と今後の課題	日本原子力情報センター	7.26	伊東 康久		放射線管理第一課
第一次緊急時医療講座	原子力安全技術センター	7.31~8.2	鈴木 信夫		放射線安全課
熊取サマーセミナー	日本保険物理学会	8.8~9	赤津 康夫		環境安全課
エアロゾル基礎講座	日本エアロゾル学会	8.20	田崎 隆		放射線安全課
第一種衛生管理者試験	関東安全衛生技術センター	8.21	椿 裕彦 岡田 和彦 川崎 位		" " "
X線作業主任者試験	"	8.21	飯嶋 信夫 山部 進 曳沼 裕一		" " 放射線管理第二課
第一種放射線取扱主任者試験	"	8.21~22	田崎 隆 田中 裕史 加納 正規 堀内 信治		放射線安全課 " " 放射線管理第二課
第二種放射線取扱主任者試験	"	8.23	佐藤 義治 高橋 広和		放射線安全課 "
放射線基本計測セミナー	東陽テクニカ㈱	8.26	中野 政尚		環境安全課



講習会等の名称	主催	実施日		
			氏名	所属
作業環境測定士試験	安全衛生技術試験協会	8.29	橋内久美	放射線安全課
QCサークルリーダーコース	(財)日本科学技術連盟	9.2～4	植頭康裕	環境安全課
防災安全中央研修会	(財)消防科学総合センター	9.5～6	塩谷建二郎	安全管理部
QCサークル推進者コース	(財)日本科学技術連盟	9.5～7	伊東康久	放射線管理第一課
第166回第一線支援者活性化コース	ブレンダイナミックス	9.10～13	山中克之	"
第19回係長・主任コース	(財)日本科学技術連盟	9.11～13	出沢孝久	安全対策課
International Conference on the Physics of Reactors	日本原子力研究所	9.16～20	野尻一郎	安全技術課
小集団リーダー活性化コース	ブレンダイナミックス	9.17～20	永谷彰規	放射線安全課
危険物取扱者試験準備講習会	(財)茨城県危険物安全協会 連合会	9.17～18	田崎隆	"
日本原子力学会「1996年秋の大会」	日本原子力学会 「放射線工学」部会	9.23～25	清水義雄	安全技術課
第一種放射線取扱主任者講習	日本アイソトープ協会	9.30～10.4	中野政尚	環境安全課

## 2.3.4 安全管理部以外で主催された所内教育訓練への参加

所内教育訓練への参加内容を、表2-3-4に示す。

表2-3-4 所内教育訓練への参加内容

(1/2)

教 育 訓 練 名	主 催	開 催 日	参 加 人 数 (人)
電子メールLAN基礎講座	核燃料サイクル工学研修室	7.2	1
有機溶剤業務従事者労働衛生教育	〃	7.3	3
WINDOWS基礎講座	〃	7.4～5	3
放射線従事者指定教育	〃	7.4	4
クレーン運転従事者安全衛生教育	〃	7.9	1
臨界安全応用講座	〃	7.11～12	3
放射線安全作業教育講座	〃	7.16	1
原子力品質保証応用講座	〃	7.16～17	1
放射線業務従事者水準向上教育	〃	7.16	1
評価補助者研修	人事部	7.17～19	1
原子力施設除染技術訓練基礎講座	核燃料サイクル工学研修室	7.22～24	1
救急員養成教育講座	〃	7.23～25	2
大型コンピューター基礎講座	〃	7.25～26	2
現場責任者安全衛生教育講座	〃	7.25～26	1
請負企業分任責任者安全衛生教育	〃	7.25～26	1
SSK新人KY研修	SSK推進部会	7.30	1
WINDOWS基礎講座	核燃料サイクル工学研修室	8.1～2	1
放射線安全作業教育	〃	8.20	1
放射線業務従事者水準向上教育	〃	8.20	2
電気保安教育	電気保安委員会	8.23	15

教 育 訓 練 名	主 催	開 催 日	参 加 人 数 (人)
管理者安全衛生管理講座	核燃料サイクル工学研修室	8.23	1
放射線計測基礎講座	"	8.26~30	2
救急員養成教育講座	"	8.27~29	2
副主管昇格者研修	人事部	8.27~29	1
大型コンピュータ基礎講座	核燃料サイクル工学研修室	9.3 ~4	2
原子力P A基礎講座	"	9.3 ~5	1
技術1級研修	人事部	9.3 ~6	1
施設安全解析コード (ORIGEN)	核燃料サイクル工学研修室	9.9 ~10	2
救急員養成教育講座	"	9.10~12	2
原子力品質保証基礎講座	"	9.10~13	1
施設安全解析コード (SKYLARK)	"	9.12~13	1
現場責任者安全衛生教育	"	9.17~18	1
施設安全解析コード (SCALE)	"	9.18~19	2
新人職員追研修	人事部	9.22~28	1
有機溶剤業務従事者労働衛生教育講座	"	9.30	1
施設安全解析コード (OSCAL)	核燃料サイクル工学研修室	9.30~10.1	2

## 2.3.5 安全管理部内で実施した教育訓練

安全管理部内で実施した教育訓練の内容を、表2-3-5に示す。

表2-3-5 安全管理部内で実施した教育訓練内容

(1/4)

教 育 訓 練 名	主 催 ( 課 )	開 催 日	参 加 人 数 (人)
作業手順書等の教育	安 全 技 術 課	7.1	6
実務教育 放射線管理用機器点検報告書の作成要領について	放 射 線 管 理 第 一 課	7.2	22
定期検査の実務教育	放 射 線 安 全 課	7.4,10	18
就業中冷凍従事者教育	安 全 対 策 課	7.10	2
就業前冷凍従事者教育	"	7.10	1
実務教育 基本動作マニュアル(Pu工場)	放 射 線 管 理 第 一 課	7.10	36
放射線業務従事者指定教育(施設別)	"	7.11	2
作業内容変更時教育	放 射 線 管 理 第 一 課	7.22~23	1
実務教育 担当外施設放管教育	"	7.22~8.2	1
就業中危険物従事者教育	環 境 安 全 課	7.23	39
基本動作実務教育	"	7.23	39
計測機器の取扱教育	放 射 線 安 全 課	7.24	6
実務教育 管理区域内作業における基本動作	放 射 線 管 理 第 一 課	7.23	18
15分スピーチ及び課内技術勉強会	放 射 線 安 全 課	7.26	21
就業前電気工作物に係る保安教育	"	7.29	2
実務教育 課内実務教育(管理Ⅰ)	放 射 線 管 理 第 一 課	7.31	18
実務教育 課内実務教育(管理Ⅱ)	"	7.31	34
屋内警報吹鳴時対応訓練	"	8.1	21
実務教育 課内実務教育(管理Ⅱ)	"	8.1	12

教 育 訓 練 名	主 催 ( 課 )	開 催 日	参 加 人 数 (人)
新規配属者教育Ⅲ	放 射 線 管 理 第 一 課	8.5	1
就業前放射線業務従事者指定教育 (A棟)	安 全 対 策 課	8.6	1
” (B棟)	”	8.6	1
” (CPF)	”	8.6	1
” (ウラン濃縮施設)	”	8.6	1
” (A棟)	放 射 線 管 理 第 一 課	8.6	2
” (B棟)	”	8.6	2
” (プル廃棄物貯蔵施設)	”	8.6	2
” (F棟)	”	8.6	2
” (校正施設)	”	8.6	2
” (安管棟)	”	8.6	2
” (応用試験棟)	”	8.6	2
” (CPF)	”	8.6	2
” (PWTF)	”	8.6	2
” (ウラン廃棄物廃棄施設)	”	8.6	2
” (ウラン濃縮施設)	”	8.6	2
” (プルトニウム燃料工場)	”	8.6	2
” (プルトニウム施設)	”	8.6	2
” (燃料製造機器試験室)	”	8.6	2
就業前放射線業務従事者指定教育 (F棟)	安 全 対 策 課	8.7	1
” (PWTF)	”	8.7	1
” (安管棟)	”	8.7	1
” (プルトニウム燃料工場)	”	8.7	1

(3/4)

教 育 訓 練 名	主 催 ( 課 )	開 催 日	参 加 人 数 (人)
実務教育 ヒヤリハット事例研究 「階層別教育」	放 射 線 管 理 第 一 課	8.8	37
就業前電気工作物に係る保安教育	環 境 安 全 課	8.9	2
実務教育 電気保安教育(管理ⅡGr)	放 射 線 管 理 第 一 課	8.20	23
実務教育 電気保安教育(管理ⅠGr)	〃	8.21~26	36
負傷・汚染時対応訓練	〃	8.21	21
身体除染訓練	放 射 線 安 全 課	8.26	6
実務教育 電気保安教育(総括Gr)	放 射 線 管 理 第 一 課	8.26	6
実務教育 電気保安教育(計測Gr)	〃	8.26	37
実務教育 電気保安教育 計測編	〃	8.26	36
就業中放射線業務従事者教育	〃	8.26	4
K Y Tによるトラブル事例の検討	安 全 技 術 課	8.26~27	11
就業中安全衛生教育	安 全 対 策 課	8.27	21
就業中放射線業務従事者教育	放 射 線 管 理 第 一 課	8.27	3
実務教育 一般作業安全 「ヒヤリハット事例研究」	〃	8.27	6
物品管理システム	放 射 線 安 全 課	8.30	6
新規配属者受入教育	〃	9.2~10	1
定置式モニタ吹鳴時対応訓練	放 射 線 管 理 第 二 課	9.5	18
就業前放射線業務従事者指定教育 (再処理工場)	放 射 線 管 理 第 一 課	9.9	2
〃 (プルトニウム施設)	〃	9.9	2
〃 (TVF)	〃	9.9	2
〃 (プルトニウム燃料工場)	〃	9.10	1
〃 (プルトニウム施設)	〃	9.10	1

教 育 訓 練 名	主 催 ( 課 )	開 催 日	参 加 人 数 (人)
就業前放射線業務従事者指定教育 " (燃料製造機器試験室)	放 射 線 管 理 第 一 課	9.10	1
実務教育 異常時対応実習教育	"	9.11	6
身体除染訓練	放 射 線 安 全 課	9.12~13	9
防護具着脱訓練	放 射 線 管 理 第 一 課	9.12	35
96-2キャンペーン直入れ前教育	放 射 線 安 全 課	9.17~25	21
作業事故時対応訓練	放 射 線 管 理 第 一 課	9.20	4
更新した中性子線エリアモニタ操作方法	放 射 線 安 全 課	9.25	6
作業事故時対応訓練	放 射 線 管 理 第 一 課	9.25	5
R I 在庫管理システムに関する実務教育	環 境 安 全 課	9.30	15
就業前放射線業務従事者指定教育 (再処理工場)	放 射 線 管 理 第 一 課	9.30	1
救急処置訓練	安 全 技 術 課	9.30	9

## 2.4 安全パトロール，安全点検等の実施状況

## 2.4.1 課内安全衛生パトロール

課内安全衛生パトロールの内容を表2-4-1に示す。

表2-4-1 課内安全衛生パトロールの内容

実施日	重点項目	点検箇所	点検者
7月1日	4S等	安対課担当室	篠原，磯野，萩谷，高安
1日	安全週間に伴う全体パトロール	放安課担当室	石田，岡田，坂場
1日	4S等	安技課担当室	蛭町，武藤
3日	4S等	環安課担当室	赤津，片桐，渡辺，清水，坏
3日	安全週間に伴う全体パトロール	放二課担当室	二之宮，猿田，会沢，堀内
4日	2S及び作業環境状況	放一課担当室	松本，伊東，水谷
8月1日	4S等	安対課担当室	鈴木猛，米澤，鈴木忠，照沼
1日	5S及び電気関係に関するパトロール	放安課担当室	石田，水庭，仲里
1日	2S及び作業環境状況	放一課担当室	石川，水谷，松本，相馬
5日	電気使用安全月間に伴う全体パトロール及び定置式モニタ更新工事に伴う保安状況パトロール	放二課担当室	二之宮，小林，堀内
7日	周辺の4S	環安課担当室	赤津，清水，坏
7日	4S等	安技課担当室	武藤，蛭町，谷川
9月2日	4S及び作業環境状況	安対課担当室	洲崎，鯉淵，人見，鈴木光
2日	4S及び作動状況の点検	環安課担当室	赤津，宮河，渡辺，清水，坏
2日	定期検査受検に伴う現場の2S状況・衛生状況の確認	放安課担当室	石田，椿，坂場
2日	2S及び衛生管理状況	放一課担当室	大関
2日	定期検査受検に伴う現場の整理整頓及び衛生状況の確認	放二課担当室	二之宮，小林，堀内
3日	4S等	安技課担当室	武藤，金沢，武藤



## 2.4.2 安全主任者会議パトロール

安全主任者会議パトロールの内容を、表2-4-2に示す。

表2-4-2 安全主任者会議パトロールの内容

実施日	重点項目	点検箇所
7月23日	(1)電気設備の管理・使用状況 (2)転倒防止対策状況 (3)整理・整頓状況	核燃料技術開発部 ①燃料製造機器試験室 ②プルトニウム燃料第一開発室 再処理技術開発部 ①C P F ②A棟 ③B棟 環境技術開発部 ①地層処分基盤研究施設 ②工学試験棟 ③モックアップ試験棟
8月27日	(1)特殊放射線作業の管理状況 (2)作業区域の整理・整頓状況 (3)表示・標識類の管理状況	再処理工場 ①主工場「酸回収精留塔(273T40)内部点検作業」の特作現場 ②第三低放射性廃液蒸留処理施設「第三低放射性廃液蒸留処理施設遠方操作弁等の設置」の特作現場 ③プルトニウム転換施設
9月24日	(1)安全管理組織及び活動状況 (2)通路標識・責任者表示・安全標識等 (3)整理・整頓状況	建設工務管理室 ①実規模開発試験室建家増築工事現場 ②再)資材庫新築工事現場 ③L W T F埋設物移設工事現場 ④再)薬品貯蔵設備等更新工事現場 ⑤非常用予備発電棟 ⑥特高変電所(操作室含む) ⑦浄水施設(操作室含む) ⑧工作工場 ⑨建設工務管理棟

## 2.5 監督官庁への許認可申請及び報告等

## 2.5.1 科学技術庁

科学技術庁への許認可申請及び報告を、表2-5-1(1)、(2)、(3)及び(4)に示す。

## (1) 核燃料物質の使用変更等

表2-5-1(1) 核燃料物質の使用変更等

使用施設	許認可申請項目	記 事
プルトニウム燃料第二開発室	焙焼還元装置及びグローブボックスNo. D-2の新設	施設検査合格 8年7月1日 8安(核規)第220号
	粉末調整室(A-102)に設置してあるグローブボックスNo. D-16内にペレット整列設備の新設等	使用変更許可 8年7月16日 8安(核規)第527号
プルトニウム燃料第三開発室	仕上検査設備の新設	施設検査合格 8年7月1日 8安(核規)第432号
	焙焼還元設備及びこれを包蔵するグローブボックスNo. FPG-21bの新設等	使用変更許可 8年7月16日 8安(核規)第527号
	グローブボックスNo. FMG-03a測定部、非破壊測定装置用架台及び非破壊測定装置の新設	施設検査申請 8年7月18日 8動燃(安) 701
		施設検査合格 8年8月19日 8安(核規)第653号
	粗粉碎・粉碎設備及び受払搬送設備の新設	施設検査申請 8年7月26日 8動燃(安) 703
		施設検査合格 8年8月19日 8安(核規)第673号
	非破壊検査装置の新設	施設検査申請 8年8月1日 8動燃(安) 709
施設検査合格 8年9月20日 8安(核規)第700号		
混合・造粒設備及び受払搬送設備の新設	施設検査申請 8年9月12日 8動燃(安) 722	
高レベル放射性物質研究施設	ベータ・ガンマダストモニタの更新	施設検査申請 8年9月4日 8動燃(安) 723

使用施設	許認可申請項目	記事
高レベル放射性物質研究施設	セル付属設備のうち駆動部軸受け等の交換	施設検査申請 8年9月17日 8動燃(安) 732

(2) 再処理施設の設置変更等

表 2 - 5 - 1 - (2) 再処理施設の設置変更等

再処理施設	許 認 可 申 請 項 目	記 事
再処理工場	第三低放射性廃液蒸発処理施設供給配管等の改造	設工認認可 8年7月8日 8安(核規)第265号
		使用前検査申請 8年7月9日 8動燃(安)696
		使用前検査合格 8年9月13日 8安(核規)第598号
	炭酸ガス供給系気化器等の更新	使用前検査申請 8年7月15日 8動燃(安)699
		使用前検査合格 8年9月24日 8安(核規)第645号
	抽出器への超音波界面計の設置	設工認補正申請 8年7月15日 8動燃(安)698
		設工認認可 8年8月13日 8安(核規)第436号
		使用前検査申請 8年8月19日 8動燃(安)719
		使用前検査合格 8年9月19日 8安(核規)第740号
	ユーティリティ設備等の更新等	使用前検査合格 8年9月18日 8安(核規)第545号
	酸回収精留塔の伝熱管の製作	設工認申請 8年8月13日 8動燃(安)715
		設工認認可 8年9月6日 8安(核規)第718号
		使用前検査申請 8年9月24日 8動燃(安)733

再処理施設	許 認 可 申 請 項 目	記 事
再処理工場	配管トレンチ (T20b) 及び配管トレンチ (T18a) の設置	設工認申請 8年8月8日 8動燃(安) 710
		設工認認可 8年9月9日 8安(核規) 第709号
	配管トレンチ (T20b) の設置	使用前検査申請 8年9月9日 8動燃(安) 728
	高温フィルタろ材交換装置等の変更	設工認申請 8年8月28日 8動燃(安) 720
		設工認認可 8年9月30日 8安(核規) 第751号
ユーティリティ供給施設の設置	設置承認補正申請 8年8月30日 8動燃(安) 721	
クリプトン回収 技術開発施設	貯蔵シリンダの更新	使用前検査合格 8年9月17日 8安(核規) 第38号
プルトニウム転 換技術開発施設	非破壊検査装置の設置場所の変更	使用前検査合格 8年7月22日 8安(核規) 第490号
ガラス固化技術 開発施設	遠隔継手の交換 (その1: 第1次交換部)	使用前検査申請 8年8月2日 8動燃(安) 706
	(その2: 第2次交換部)	使用前検査申請 8年8月2日 8動燃(安) 707
	(その3: 第3次交換部)	使用前検査申請 8年8月2日 8動燃(安) 708
リサイクル機器 試験施設	リサイクル機器試験施設 (I) に係る一部変更	設工認補正申請 8年8月8日 8動燃(安) 712
		設工認認可 8年9月11日 8安(核規) 第476号
	リサイクル機器試験施設 (I) の設計及び工事の方法 の認可申請書の公開資料の提出について	公開資料の提出 8年9月4日 8動燃(安) 724

再処理施設	許 認 可 申 請 項 目	記 事
再処理施設	分析所、クリプトン回収技術開発施設、プルトニウム転換技術開発施設の放射線管理施設の一部更新・改造	設工認認可 8年7月8日 8安(核規)第263号
		使用前検査申請 8年7月24日 8動燃(安)702
		使用前検査合格 8年9月20日 8安(核規)第662号

(3) 放射性同位元素等の許可使用に係る変更許可申請等

平成8年度第2四半期は、該当はなかった。

(4) 四半期等の報告

表2-5-1(4) 四半期等の報告

報告の種類	報告対象期間	報告内容・根拠	報告先
環境放射線管理報告書	平成8年度 第1四半期 { 8年4月1日 } ) { 8年6月30日 }	事業所周辺環境の放射線量及び環境試料中放射性物質濃度 核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律第67条第1項及び使用済燃料の再処理の事業に関する規則第21条第2項の規定による。	水戸原子力事務所 { 科学技術庁長官宛 } { 8年7月31日報告 } 8動燃(安)019

## 2.5.2 水戸労働基準監督署

水戸労働基準監督署への申請，届出等を，表2-5-2に示す。

表2-5-2 水戸労働基準監督署への申請，届出等

件名	内容	該当施設	日付
エレベーター設置届	荷物用油圧式エレベーター（積載荷重2.0t）の設置	再処理施設資材庫	8.9.4
クレーン設置報告	ホイスト式天井クレーン 1.01tの設置	再処理施設資材庫	8.9.4
クレーン変更届	巻上下機構部にインバーターを付加し，上下速度を任意に可変出来るようにする。	プルトニウム燃料第三開発室	8.9.30
クレーン設置届	クラブトロリー式天井クレーン 5.1tの設置	リサイクル機器試験施設	8.9.30
クレーン設置届	クラブトロリー式天井クレーン 114t/20.5tの設置	リサイクル機器試験施設	8.9.30



## 2.5.3 茨城県庁

茨城県庁への申請、届出等を、表2-5-3(1)及び(2)に示す。

## (1) 申請・届出等

表2-5-3(1) 申請・届出等

件名	内容	該当施設	日付
高圧ガス保安統括者等届書	8年7月1日付け、所長の変更に伴う届出	事業所	8. 7.17
代表者等変更届 (一般、冷凍)	8年7月1日付け、所長の変更に伴う届出	事業所	8. 7.17
高圧ガス製造施設 軽微変更届書	Kr, Xeガス設備における安全弁1基の取 替え	クリプトン回収技術 開発施設	8. 7.17
製造施設完成検査 申請	Kr, Xeガス設備における貯蔵シリンダの 撤去及び配管・バルブの更新に係る完成検査	クリプトン回収技術 開発施設	8. 7.17
製造施設完成検査 申請	Kr, Xeガス設備における貯蔵シリンダ充 てん用配管の更新に係る完成検査	クリプトン回収技術 開発施設	8. 7.17
製造施設完成検査 申請	液化炭酸ガス製造施設における気化器、容器 ユニット等の撤去、更新に係る完成検査	再処理工場主工場用 液化炭酸ガス製造施 設	8. 8.21

(2) 委員会、協定等に基づく報告

表 2 - 5 - 3 (2) 委員会、協定等に基づく報告

報告の種類	期 間	報 告 内 容	報 告 先
茨城県東海地区 環境放射線監視 委員会報告	平成 8 年度 第 1 四半期 ( 8 年 4 月 ~ 6 月 )	東海事業所及び周辺にお ける環境放射線及び環境 試料中放射性物質濃度	茨城県東海地区 環境放射線監視 委員会委員長 8 動燃 ( 東海 ) 256
茨城県との安全 協定に基づく四 半期報告	同 上	東海事業所における排気 ・排水の放射能濃度及び 放出量	茨城県知事及び 隣接市町村長 ( 総務課経由 )
再処理排気・排 水月間報告	平成 8 年 6 月 7 月 8 月	再処理施設排気・排水の 放射能濃度及び放出量	茨城県生活環境 部長 8 動燃 ( 東海 ) 257 8 動燃 ( 東海 ) 329 8 動燃 ( 東海 ) 404

2. 5. 4 東海村

申請・届出等を、表 2 - 5 - 4 (1) 及び (2) に示す。

(1) 東海村役場への申請・届出等

表 2 - 5 - 4 (1) 東海村役場への申請・届出等

件 名	内 容	該 当 施 設	日 付
氏名変更等届出書	8 年 7 月 1 日付け、所長の変更に伴う届出 ( 水質汚濁防止法、大気汚染防止法、振動規 制法及び茨城県公害防止条例に基づく )	事業所	8. 7. 17

(2) 東海村消防本部への申請・届出等

表 2 - 5 - 4 (2) 東海村消防本部への申請・届出等

件 名	内 容	該 当 施 設	日 付
資料提出書	8 年 7 月 1 日付け、所長の変更に伴う届出 ( 消防法に基づく )	事業所	8. 7. 18

2.6 安全管理部品質保証推進委員会

安全管理部品質保証推進委員会の活動内容を、表2-6に示す。

表2-6 安全管理部品質保証推進委員会の活動

開催日	議 題
7月3日	(1) 規定・基準類の体系化, 検討整備について (2) 組織改正に係る品質保証要領書の見直し整備について
7月17日	(1) 規定・基準類の体系化, 検討整備について (2) 組織改正に係る品質保証要領書の見直し整備について
7月31日	(1) 規定・基準類の体系化, 検討整備について (2) 事業所定期自主監査の対応方法について
8月22日	(1) 事業所定期自主監査チェックシートの作成について
8月26日	(1) 事業所定期自主監査の対応について
9月30日	(1) 部QAパトロールの実施

- 委員 長 江花 稔 (放射線管理第一課長)
- 副委員 長 牧野 明寛 (安全技術課担当役)
- 委員 大西 俊彦 (放射線安全課長代理) ~7/31 今熊 義一 (放射線安全課長代理) 8/1 ~
- 委員 出沢 孝久 (安全対策課業務係長) 宮河 直人 (環境安全課放出管理係長)
- 委員 吉田 美香 (環境安全課) 岡田 和彦 (放射線安全課)
- 委員 水谷 啓一 (放射線管理第一課主査) 長谷川 市郎 (放射線管理第一課)
- 委員 小林 保 (放射線管理第二課主査) 武藤 重男 (安全技術課主査)
- 事務局 久賀 勝利 (安全対策課主査)

2.7 安全管理部研究開発推進委員会

安全管理部内の研究開発に関して、これを効率的かつ合理的に推進するため、予算・人員、課間の調整、国の安全研究計画との整合など調整すべき事項の検討及び研究開発の推進・助言を行うことを目的として安全管理部研究開発推進委員会活動を実施した。

今期は、研究開発等実施計画のチェック&レビュー及び報告会を行った。

開催日	議題
8月29日	・研究開発等実施計画のチェック&レビュー ①外部被ばく線量測定・評価技術の高度化（安全対策課） ②核燃料施設における放射線管理設計の基準化に関する研究（放管第一課）
8月29日	・報告会 演題：「ICRPの最近の活動について」 百瀬 琢磨（安全対策課 係長）

- 委員長 武田 伸荘（安全技術課長）
- 副委員長 野田 喜美雄（放射線管理第一課長代理） 片桐 裕実（環境安全課長代理）
- 委員 大塚 隆宏（安全対策課）
- 相馬 丞（放射線管理第一課）
- 猿田 順一（放射線管理第二課主査） 堀内 信治（放射線管理第二課）
- 田崎 隆（放射線安全課） 田中 祐史（放射線安全課）
- 森田 重光（環境安全課）
- 野尻 一郎（安全技術課担当役）
- 事務局 牧野 明寛（安全技術課担当役）

### 3. 放射線管理

#### 3.1 放射線安全課所掌施設

##### 3.1.1 放射線管理業務概要

再処理工場では、機器等の保守点検が実施され、その後96-2キャンペーンが9月25日から開始された。転換施設では、機器等の保守点検が行われ、再処理工場の運転に合わせて転換運転が開始された。

この間の定常放射線管理の結果、保安規定等の基準値を超えることはなかった。なお、継続していた転換施設A126の立入規制区域を解除した。放射線作業については、特殊放射線作業が114件実施されたが再処理施設保安規定等の基準値を超えることはなかった。

一方、排気の監視結果についても再処理施設保安規定等の基準値を超えることはなかった。

## 3.1.2 放射線作業計画等の実施状況

放射線作業計画等の実施状況を、表3-1-2に示す。

表3-1-2 放射線作業計画等の実施状況

(1/5)

施設・部屋名	件名	実施期間
再処理工場	S1 作業 . . . . . (0件)	
	S2 作業 . . . . . (52件)	
MP G346.G146.R333.R334	MSマニプレータの保守作業	7/1 ~ 9/30
IF A108	高温フィルタアスベストろ材の抜き出し作業	7/1 ~ 7/4
MP R125B.A143	R125B(266E20)ISI	7/3 ~ 7/12
MP A568.A355	セル内不要物品処分作業	7/3 ~ 8/2
MP G544.G543	硝酸ウラナス供給系バルブの除染及び養生	7/5 ~ 7/10
MP G565.G549	R11(B)サイホンの洗浄	7/8 ~ 7/12
MP A343	サンプリングベンチ№1.4ブーツ交換	7/8 ~ 7/12
MP R334.G346	セル内ドライブシャフト交換作業	7/8 ~ 8/2
MP A348	中央保守区域バルブ操作室内バルブ補修作業	7/8 ~ 8/2
MP R220.A258	R220点検・補修	7/11 ~ 7/22
AAF A142.A141	U341焼却灰取り出し口の盲蓋等取付け作業	7/15 ~ 7/19
MP A343	サンプリング操作室の整理	7/15 ~ 7/26
MP R015.A143.A148	プルトニウム精製セル(R015)内の点検	7/15 ~ 7/30
MP A121.A143.A273	酸回収精留塔(273FT40)内部点検	7/15 ~ 8/30
CB G105	M7型マニプレータブーツ交換作業	7/16
MP R0108.G1124	R0108水中テレビカメラ装置の照明交換作業	7/18 ~ 7/19
Z A013.A004.G420	第三低放射性廃液蒸発処理施設遠方操作弁等の設置	7/18 ~ 7/22
AAF R075.A191	R075内ポンプ点検	7/19 ~ 7/23
MP A046.G549	242J161配管洗浄	7/23 ~ 7/25
CB G104.G105.G103	高放射性試料分析セルライン下部の点検・整備作業	7/23 ~ 8/6
Z R120.A107.A108	Z施設蒸発缶セル(R120)内点検	7/24
AAF R071.A191	移送ポンプ室(R071)内ドリフトレイの補修	7/24 ~ 8/28
MP R105D.A143	セル(R105D)内点検作業	7/30 ~ 8/1
MP G146	仮プラグ抜き出し及びベリスコープ挿入作業	7/31 ~ 8/2

(2/5)

施設・部屋名	件名	実施期間
MP A684. A685. G643	真空電磁弁の交換作業	8/ 1 ~ 8/23
MP A359. A363. A045	272-W105の三方弁の交換	8/ 5
MP A348	溶媒洗浄セル(R110C)の内部点検	8/ 5 ~ 8/ 8
MP A143. A147	酸回収セル(R020)バルジ内点検・補修作業	8/ 5 ~ 8/ 9
IF A108. A105	高温フィルタアスベストろ材の抜き出し作業	8/ 7 ~ 8/12
MP A042. A043	282V60のデミスタ交換及び洗浄作業	8/19 ~ 8/23
CB G104. G107. A023	分析所気送管の更新	8/19 ~ 9/ 2
MP A348. DS A1202	セラミックバルブ(243W134)の交換作業	8/20 ~ 8/28
CB G144. G141	小型試験設備マニプレータの補修作業	8/22 ~ 9/13
AAF A405. A191	サンプリングベンチ№1内清掃及び点検	8/23 ~ 8/27
MP A358. A347	真空ポンプの交換作業	8/27 ~ 8/30
CB G104. G103	高線量廃棄物の整理	8/28
MP A046	濃縮ウラン溶解セル(R001, R002)内点検	8/28 ~ 9/ 5
MP A568. A554. A563	セル間上部扉駆動部の点検	8/29 ~ 9/13
CB G104	分析セルライン下部遮蔽体据付作業	8/29 ~ 9/18
MP A348	スターラ交換作業(255R167)	8/30
WS A126. A025. A026. A222	廃溶媒移送配管系の点検	8/30 ~ 9/ 9
CB G108	MA分配ボックストングブーツ台座の取付け作業	9/ 2 ~ 9/ 3
MP G146	ペリスコープ抜き出し及び仮プラグ挿入作業	9/ 2 ~ 9/ 3
Z A013. A004. G420	321P101補修	9/ 2 ~ 9/ 5
MP G644. G643	電解槽201X71, 201X72アッセンブリ点検	9/ 2 ~ 9/ 6
MP A322. A3121. A143	フィルタ(264F121)の交換	9/ 5 ~ 9/ 9
MP G146. R0153	R0153監視カメラ交換作業	9/ 5 ~ 9/11
MP A143. A348	パルスフィルタ(243F16A)交換作業	9/ 9 ~ 9/18
MP A356	A356ALCプラグ扉の点検作業	9/10 ~ 9/18
MP A348	PC-1ポンプ254P161, 262P121の交換作業	9/13 ~ 9/18
AAF R074. A191	317-P12(PC-3ZAI)の交換作業	9/17 ~ 9/24
Z R120. A107. A108	Z施設蒸発缶セル(R120)内ITV用照明ランプの交換	9/25

(3/5)

施設・部屋名	件名	実施期間
	A 1 作業 . . . . . (26件)	
MP A356. R335. G346	A 3 5 6 パネルハウス物品搬入作業	7/ 1 ~ 9/30
MP A684. A368. G643	A 6 8 4 真空系配管の洗浄	7/ 4 ~ 7/ 8
AAF A191. R070. R072. R073	R 0 7 0, R 0 7 2, R 0 7 3 内ポンプ点検	7/11
MP A443. A344. A043	試薬調整系のベント配管更新	7/12 ~ 8/29
MP G146. A143	洗浄用インサートの取り外し及び遮へいプラグの設置	7/25 ~ 7/26
DN A111	ドラム缶内UO, 容器取り出し作業	7/26 ~ 7/31
MP A348	抽出器内部点検	7/30 ~ 8/27
E A-2	E 施設 A-2 床面ロンリウムマットの張り替え作業	8/ 2 ~ 8/ 8
WS A121	廃溶媒貯蔵場R020, R021内ドリフトレ健全性確認作業	8/ 5 ~ 8/ 6
C A110. A111	3 5 0 P 2 3 2 交換作業	8/12
IF A405	F 5 8 フィルタ交換作業	8/13 ~ 8/20
MP A348. A148. A143. A443	超音波界面計計測制御装置の据付け工事	8/16 ~ 8/30
MP A045. A347	R 0 2 7 (放射性配管分岐室) セル内観察	8/22 ~ 8/27
MP A343. A347. A359	気送管線量当量率測定装置の追加設置	8/23 ~ 9/ 3
MP A684	真空系エクステンションのエクステンション部の取替作業	8/26 ~ 9/ 3
AAF A191	R 0 7 3, R 0 7 4 内ポンプ点検	8/28
MP A143	P C - 1 ポンプ (2 7 2 P 2 5 1) 交換作業	8/29
MP A348	キャスク 3 型の組み替え作業	8/30 ~ 9/ 2
MP A143. A145	高放射性廃液蒸発缶 U T 検査装置の搬出	9/ 3 ~ 9/ 5
C A110	3 5 0 P 2 3 2 分解点検作業	9/ 5
MP A348	超音波界面計計測制御装置の設置	9/ 6 ~ 9/ 9
MP A046	濃縮ウラン溶解セル (R 0 0 3) 内の点検	9/11 ~ 9/12
C A110	海洋放出流量計器差試験作業	9/17
MP A143	R 0 2 0 内部点検	9/20
MP A348	P C - 1 ポンプ・2 5 4 P 1 6 1 の O リング交換作業	9/27
IF A405	F 5 8 フィルタ交換作業	9/27 ~ 9/30
	A 2 作業 . . . . . (25件)	
MP	前処理受入貯蔵工程の運転及び保守・点検業務	4/ 1 ~



施設・部屋名	件名	実施期間
MP	前処理機械処理工程の運転及び保守・点検業務	4/1～
MP	前処理工程電気設備の保守・点検	4/1～
MP. AAF. CB	化学処理第一課の点検・保守業務	4/1～
MP. DN. HAW. U03	化学処理第二課の運転業務	4/1～
MP. DN. HAW. DS. U03. AAF	化学処理第二課の点検・保守業務	4/1～
AAF. IP. E. Z. C. LW. LW2. WS	低放射性廃棄物処理施設の運転業務	4/1～
AAF. IP. E. Z. C. LW. LW2. WS	低放射性廃棄物処理施設の保守・点検業務	4/1～
CB. DS. MP. AAF他	技術課に係る保守点検業務	4/1～
MP. AAF. HAW. DNH他	計装設備の保全作業	4/1～
MP. CB. AAF. HAW. DN他	再処理工場換気ユーティリティ設備等の運転及び保守管理	4/1～
MP. CB. AAF. HAW. DN. DS 他	安全巡視	4/1～
MP. CB. AAF. HAW. DN. DS 他	電気設備の保全作業	4/1～
CB 7ンバ- 全域	分析施設の保守点検等の業務	4/1～
CB 7ンバ- 全域	分析施設の運転業務	4/1～
MP. DN. U03. 2U03. 3U03. TVF MP等全建屋	査察及び査察対応 清掃作業	4/1～ 4/1～
MP等全建屋7ンバ-区域	消火器・消火栓の点検	4/1～
MP等全建屋7ンバ-区域	来客対応	4/1～
MP等全建屋7ンバ-区域	現場巡視	4/1～
MP. CB. AAF. DN等	再処理工場の放射線管理業務	4/1～
MP. CB. AAF 他	再処理工場の放射線管理用機器の保守及び校正業務	4/1～
再処理施設全域	営繕・設備工事作業	4/10～
MP	前処理受入貯蔵工程の運転及び保守・点検業務	7/22～ 8/2
MP CB AAF他7ンバ-区域	現場調査作業	7/29～
プルトニウム燃料工場 転換施設	S1 作業 . . . . . (0件) S2 作業 . . . . . (1件)	
Pu-CON R051. A026	セル(051)内タンク等の点検 A1 作業 . . . . . (4件)	8/29～ 8/30
Pu-CON A126	主工程室(A126)立入規制区域内作業(混合工程の運転)	7/1～ 7/15
Pu-CON A126	秤量器及び上下作動装置の設置作業	9/4～ 9/13

施設・部屋名	件名	実施期間
Pu-CON A223	A 2 2 3 遮へい間仕切りの据え付け作業	9/24～ 9/26
Pu-CON A227	発光分析装置の保守点検作業 A 2 作業 . . . . . ( 6 件 )	9/11～ 9/12
Pu-CON	プルトニウム転換技術開発施設の運転業務	4/ 1 ～
Pu-CON	転換施設の運転に係る分析・物性測定作業	4/ 1 ～
Pu-CON	技術開発設備を使用して行う試験及び保守	4/ 1 ～
Pu-CON	査察対応及び査察関連業務	4/ 1 ～
Pu-CON	転換施設に係る放射線管理用機器の保守及び校正業務	4/ 1 ～
Pu-CON	転換施設の放射線管理業務	4/ 1 ～

3.1.3 管理区域等の設定・解除

管理区域等の設定，解除を，表3-1-3に示す。

表3-1-3 管理区域等の設定，解除

区 分	施設・部屋	期 間
立入規制区域	P u - c o n A 1 2 6	設定 平成 7年 9月27日 解除 平成 8年 7月16日

3.1.4 作業環境における放射線測定結果

1) 定常放射線モニタリング

(1) 外部放射線に係わる線量当量率

外部放射線に係わる線量当量率測定結果を、表3-1-4(1)に示す。

表3-1-4(1) 外部放射線に係わる線量当量率

単位  $\left\{ \begin{array}{l} W : \mu\text{Sv/W} \\ G : \mu\text{Sv/h} \\ A : \mu\text{Sv/h} \end{array} \right.$

施設名	内 容		測 定 結 果									
			7 月			8 月			9 月			
			W	G	A	W	G	A	W	G	A	
再 処 理	MP DS	エリアモニタ	$\gamma \cdot n$	/	*	*	/	*	*	/	*	*
		サーベイメータ	$\gamma \cdot n$	*	*	*	*	*	*	*	*	*
	T L D	$\gamma$	*	/	/	*	/	/	*	/	/	
処	CB	エリアモニタ	$\gamma$	/	*	*	/	*	*	/	*	*
		サーベイメータ	$\gamma$	*	*	*	*	*	*	*	*	*
	T L D	$\gamma$	*	/	/	*	/	/	*	/	/	
場	AAF E	エリアモニタ	$\gamma$	/	*	*	/	*	*	/	*	*
		サーベイメータ	$\gamma$	/	*	*	/	*	*	/	*	*
	T L D	$\gamma$	*	/	/	*	/	/	*	/	/	
工	Z	エリアモニタ	$\gamma$	/	/	*	/	/	*	/	/	*
		サーベイメータ	$\gamma$	*	*	*	*	*	*	*	*	*
	T L D	$\gamma$	*	/	/	*	/	/	*	/	/	
場	C	エリアモニタ	$\gamma$	/	/	*	/	/	*	/	/	*
		サーベイメータ	$\gamma$	*	*	*	*	*	*	*	*	*
	T L D	$\gamma$	*	/	/	*	/	/	*	/	/	
場	IF	エリアモニタ	$\gamma$	/	/	*	/	/	*	/	/	*
		サーベイメータ	$\gamma$	/	*	*	/	*	*	/	*	*
	T L D	$\gamma$	*	/	/	*	/	/	*	/	/	

注) 1. W, G, Aは、再処理施設内のホワイト及び施設外壁、グリーン、アンバー区域を示す。  
 2. 管理レベル (W : 300  $\mu\text{Sv/W}$ , G : 12.5  $\mu\text{Sv/h}$ , A : 25  $\mu\text{Sv/h}$ ) を超えない区域については、\*印で表示した。また、超えた場合には、その最大値及び場所を記入した。

施設名		内容		測定結果								
				7月			8月			9月		
				W	G	A	W	G	A	W	G	A
再 処 理 工 場	DN	エリアモニタ	γ			*			*			*
		サーベイメータ	γ		*	*		*	*		*	*
		T L D	γ	*			*			*		
	HAW	エリアモニタ	γ			*			*			*
		サーベイメータ	γ		*	*		*	*		*	*
		T L D	γ	*			*			*		
	UO <sub>3</sub> 2UO <sub>3</sub> 3UO <sub>3</sub> WS LW <sub>2</sub>	エリアモニタ	γ			*			*			*
		サーベイメータ	γ	*		*	*		*	*		*
		T L D	γ	*			*			*		
PU 工 場	Pu-con	エリアモニタ	γ・n			*			*			*
		サーベイメータ	γ・n	*	*	164μSv/h A126	*	*	*	*	*	*
		T L D	γ	*			*			*		

注) 1. W, G, Aは、再処理施設内のホワイト及び施設外壁、グリーン、アンバー区域を示す。  
 2. 管理レベル (W : 300 μSv/W, G : 12.5 μSv/h, A : 25 μSv/h) を超えない区域については、\*印で表示した。また、超えた場合には、その最大値及び場所を記入した。

## (2) 表面密度

表面密度測定結果を、表3-1-4(2)に示す。

表3-1-4(2) 表面密度測定結果

施設名		内容		測定結果		
				7月	8月	9月
				Bq/cm <sup>2</sup>	Bq/cm <sup>2</sup>	Bq/cm <sup>2</sup>
再 処 理 工 場	MP	スミヤ	$\alpha$	*	*	*
	DS		$\beta(\gamma)$	*	*	*
	CB	スミヤ	$\alpha$	*	*	*
			$\beta(\gamma)$	*	*	*
	AAF	スミヤ	$\alpha$	*	*	*
			$\beta(\gamma)$	*	*	*
	Z	スミヤ	$\alpha$	*	*	*
			$\beta(\gamma)$	*	*	*
	IF	スミヤ	$\alpha$	*	*	*
			$\beta(\gamma)$	*	*	*
	DN	スミヤ	$\alpha$	*	*	*
			$\beta(\gamma)$	*	*	*
HAW	スミヤ	$\alpha$	*	*	*	
		$\beta(\gamma)$	*	*	*	
UO <sub>3</sub> , 2UO <sub>3</sub> 3UO <sub>3</sub> WS, LW <sub>2</sub>	スミヤ	$\alpha$	*	*	*	
		$\beta(\gamma)$	*	*	*	
PU 工場	スミヤ	$\alpha$	*	*	*	
		$\beta(\gamma)$	*	*	*	

注) 1. 管理レベル ( $\alpha : 4 \times 10^{-2} \text{Bq/cm}^2$ ,  $\beta(\gamma) : 4 \times 10^{-1} \text{Bq/cm}^2$ ) を超えない区域については、\*印で表示した。

(3) 空气中放射性物質濃度

空气中放射性物質濃度測定結果を、表 3 - 1 - 4 (3) に示す。

表 3 - 1 - 4 (3) 空气中放射性物質濃度測定結果

(1 / 2)

建 屋 名	内 容	測 定 結 果				
		7 月	8 月	9 月		
		Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>		
再 処 理	MP	エアースニファ	α	*	*	*
			β (γ)	*	*	*
	DS	ダストモニタ	α	*	*	*
			β (γ)	*	*	*
		P u ダ ス ト	α	*	*	*
	工 場	CB	エアースニファ	α	*	*
			β (γ)	*	*	*
ダストモニタ		α	*	*	*	
		β (γ)	*	*	*	
		P u ダ ス ト	α	*	*	*
AAFE		エアースニファ	α	*	*	*
	β (γ)		*	*	*	
	ダストモニタ	α	*	*	*	
		β (γ)	*	*	*	
Z	エアースニファ	α	*	*	*	
		β (γ)	*	*	*	
C	エアースニファ	α	*	*	*	
		β (γ)	*	*	*	
	ダストモニタ	α	*	*	*	
		β (γ)	*	*	*	

注) 1. 管理レベル：一週間平均で (DAC) × 3 / 10 Bq/cm<sup>3</sup>

α : 5分の1倍

β γ : 5分の1倍を超えない区域については\*印で表示した。また、超えた場合には、その最大値及び場所を記入した。

建 屋 名	内 容	測 定 結 果				
		7 月	8 月	9 月		
		Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>		
再	I F	エアースニファ	$\alpha$	*	*	*
			$\beta(\gamma)$	*	*	*
処	DN	エアースニファ	$\alpha$	*	*	*
			$\beta(\gamma)$	*	*	*
		ダストモニタ	$\alpha$	*	*	*
			$\beta(\gamma)$	*	*	*
工	HAW	エアースニファ	$\alpha$	*	*	*
			$\beta(\gamma)$	*	*	*
		ダストモニタ	$\alpha$	*	*	*
			$\beta(\gamma)$	*	*	*
場	WS	エアースニファ	$\alpha$	$7.9 \times 10^{-9}$ A026	*	$1.2 \times 10^{-8}$ A026
			$\beta(\gamma)$	*	*	*
Pu	Pu-con	エアースニファ	$\alpha$	*	*	*
			$\beta(\gamma)$	*	*	*
		Puダスト	$\alpha$	*	*	*

注) 1. 管理レベル：一週間平均で(DAC) × 3 / 10 Bq/cm<sup>3</sup>

$\alpha$  : 5分の1倍

$\beta\gamma$  : 5分の1倍を超えない区域については\*印で表示した。



## (4) 排気中の放射性物質監視測定

表 3-1-4(4) 主排気筒排気中の放射性物質監視測定結果

核種	項目	測定値			期間平均濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	期間放出量		
		7月	8月	9月		実測量(GBq)	不検出量(GBq)	
全 $\alpha$	最高濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	*	*	*	*	0	$1.3 \times 10^{-4}$	
	平均濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	*	*	*				
	放出量	実測量 (GBq)	0	0				0
		不検出量(GBq)	$4.1 \times 10^{-5}$	$5.1 \times 10^{-5}$				$4.0 \times 10^{-5}$
全 $\beta$ ( $\gamma$ )	最高濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	*	*	*	*	0	$1.3 \times 10^{-3}$	
	平均濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	*	*	*				
	放出量	実測量 (GBq)	0	0				0
		不検出量(GBq)	$4.1 \times 10^{-4}$	$5.1 \times 10^{-4}$				$4.0 \times 10^{-4}$
<sup>131</sup> I	最高濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	*	*	*	*	0	$3.3 \times 10^{-2}$	
	平均濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	*	*	*				
	放出量	実測量 (GBq)	0	0				0
		不検出量(GBq)	$1.0 \times 10^{-2}$	$1.3 \times 10^{-2}$				$1.0 \times 10^{-2}$
<sup>129</sup> I	最高濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	*	*	$1.1 \times 10^{-7}$	$4.7 \times 10^{-8}$	$1.3 \times 10^{-2}$	$2.8 \times 10^{-2}$	
	平均濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	*	*	$6.9 \times 10^{-8}$				
	放出量	実測量 (GBq)	0	0				$1.3 \times 10^{-2}$
		不検出量(GBq)	$1.0 \times 10^{-2}$	$1.3 \times 10^{-2}$				$5.2 \times 10^{-3}$
<sup>14</sup> C	最高濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	*	*	$8.2 \times 10^{-5}$	$4.5 \times 10^{-5}$	9.5	$3.0 \times 10$	
	平均濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	*	*	$5.6 \times 10^{-5}$				
	放出量	実測量 (GBq)	0	0				9.5
		不検出量(GBq)	$1.1 \times 10$	$1.4 \times 10$				5.6
<sup>3</sup> H	最高濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	$5.5 \times 10^{-4}$	$5.4 \times 10^{-4}$	$7.7 \times 10^{-4}$	$5.0 \times 10^{-4}$	$4.3 \times 10^2$	0	
	平均濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	$5.3 \times 10^{-4}$	$4.5 \times 10^{-4}$	$5.4 \times 10^{-4}$				
	放出量	実測量 (GBq)	$1.4 \times 10^2$	$1.5 \times 10^2$				$1.4 \times 10^2$
		不検出量(GBq)	0	0				0
<sup>85</sup> K r	最高濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	$2.9 \times 10^{-3}$	*	$1.5 \times 10$	$7.2 \times 10^{-1}$	$6.5 \times 10^5$	$2.0 \times 10^3$	
	平均濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	$2.4 \times 10^{-3}$	*	2.2				
	放出量	実測量 (GBq)	$1.4 \times 10$	0				$6.5 \times 10^5$
		不検出量(GBq)	$7.2 \times 10^2$	$7.2 \times 10^2$				$5.2 \times 10^2$

(注) \*印は検出限界未満を表す。 検出限界 全 $\alpha$  :  $1.5 \times 10^{-10}$  Bq/cm<sup>3</sup> 全 $\beta$  ( $\gamma$ ) :  $1.5 \times 10^{-9}$  Bq/cm<sup>3</sup> <sup>131</sup>I :  $3.7 \times 10^{-8}$  Bq/cm<sup>3</sup>  
<sup>129</sup>I :  $3.7 \times 10^{-8}$  Bq/cm<sup>3</sup> <sup>14</sup>C :  $4.0 \times 10^{-5}$  Bq/cm<sup>3</sup> <sup>3</sup>H :  $3.7 \times 10^{-5}$  Bq/cm<sup>3</sup> <sup>85</sup>K r :  $2.4 \times 10^{-3}$  Bq/cm<sup>3</sup>

(5) 飲料水中放射性物質濃度測定

飲料水中放射性物質濃度測定結果を、表3-1-4(5)に示す。

表3-1-4(5) 飲料水中放射性物質濃度測定結果

施設名		測定線種	測定結果			備考
			7月	8月	9月	
			Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>	
再	MP	$\alpha$	*	*	*	
	DS	$\beta(\gamma)$	*	*	*	
処	CB	$\alpha$	*	*	*	
		$\beta(\gamma)$	*	*	*	
理	AAF	$\alpha$	*	*	*	
		$\beta(\gamma)$	*	*	*	
工	C	$\alpha$	*	*	*	
		$\beta(\gamma)$	*	*	*	
場	DN	$\alpha$	*	*	*	
		$\beta(\gamma)$	*	*	*	
Pu 工場	Pu-con	$\alpha$	*	*	*	
		$\beta(\gamma)$	*	*	*	

注) 1. 管理レベル ( $\alpha : 1 \times 10^{-3} \text{Bq/cm}^3$ ,  $\beta(\gamma) : 3 \times 10^{-2} \text{Bq/cm}^3$ ) を超えない区域については、\*印で表示した。

2) 非定常作業（立会いサーベイ等）

立会いサーベイ等を、表3-1-4(6)に示す。

表3-1-4(6) 立会いサーベイ等

単位：件

項 目	件 数			
	7月	8月	9月	計
グローブ交換後のサーベイ等	161	144	138	443
フィルター交換後のサーベイ等	0	1	2	3
核物質入荷・開梱等に伴うもの	1	1	3	5
HZカスク搬出入時のサーベイ等	2	0	1	3
計	164	146	144	454

3) 搬出物品等に対する放射線管理

搬出物品等に対する放射線管理を、表3-1-4(7)に示す。

表3-1-4(7) 搬出物品等に対する放射線管理

単位：件

区 分		件 数			
		7月	8月	9月	計
一 般 物 品		369	314	262	945
放射線物質（カスク等）		77	40	67	184
廃棄物	非放射線性	496	407	347	1250
	放射性（含仕分け済ドラム缶）	1176	1158	1454	3788
計		2118	1919	2130	6167

3.1.5 被ばく、汚染サーベイ報告

件名	発生日	発生場所	概要	汚染核種	汚染状況	原因	処置等
特になし							

### 3.2 放射線管理第一課所掌施設

#### 3.2.1 放射線管理業務概要

安全管理部（安全管理棟，安全管理別棟，計測機器校正施設），再処理技術開発部（A棟，B棟，B棟廃棄物倉庫，応用試験棟，C P F），環境技術開発部（C P F），環境施設部（焼却施設，洗濯場，中央廃水処理場，廃棄物倉庫No.1～No.6，ウラン系廃棄物貯蔵施設，廃棄物屋外貯蔵ピット，プルトニウム廃棄物処理開発施設，プルトニウム廃棄物貯蔵施設，屋外固体廃棄物貯蔵庫No.1～No.17，M棟），核燃料技術開発部（G棟，H棟，J棟，L棟，第2ウラン貯蔵庫，廃油保管庫，廃水処理室，プルトニウム燃料第一開発室，ウラン貯蔵庫，燃料製造機器試験室），プルトニウム燃料工場（プルトニウム燃料第二開発室，プルトニウム燃料第三開発室）における施設の放射線管理を実施した。

各施設の業務概要は，安全管理部においては各種放射性廃液分析，放射線測定機器の点検校正等，再処理技術開発部においてはF B R使用済燃料再処理試験等，環境技術開発部においては高レベル放射性廃液に関する基礎技術開発試験等，環境施設部においてはプルトニウム廃棄物の焼却処理・処分技術開発及びウラン系廃棄物の処理・貯蔵等，核燃料技術開発部においてはウラン濃縮に関する基礎技術開発試験，照射用特殊燃料の製造等，プルトニウム燃料工場においてはプルトニウム燃料第二開発室では「ふげん」燃料の製造等，プルトニウム燃料第三開発室では「常陽」燃料の製造業務，工程内滞留プルトニウムの回収作業等である。

上記業務に係る放射線管理を実施した結果，いずれも保安規定等に定める諸基準を超えるものはなかった。

## 3.2.2 放射線作業計画等の実施状況

放射線作業系各等の実施状況を表3-2-2に示す。

表3-2-2 放射線作業計画等の実施状況

1/3

施設名・部屋名	作業件名	実施期間
(安全管理部)	(特殊放射線作業)	
	該当なし	
	(その他の放射線作業)	
	G1・・・全10件	
(再処理技術開発部)	(特殊放射線作業)	
	S2	
CPF	低レベル固体廃棄物外缶の搬入等	7/16 7/22～30
CPF	M/Sマニプレータ保守作業(GIS)	7/24 8/1, 27
CPF	M/Sマニプレータ保守管理作業(AAS)	7/30 8/19, 21, 28 9/2, 4, 10, 12, 9/20, 26
CPF	固体廃棄物外缶の搬入等	8/26
CPF	CA-5セルポート(PT-5)補修工事	8/5～継続中
B棟	質量分析計用ターボポンプ交換作業	8/6
CPF	高レベル放射性固体廃棄物の封缶処理準備作業等	9/11～17
CPF	マニプレータ除染作業	9/2～3
	A1	
CPF	電気設備の定期点検	7/1～19
CPF	炭酸ガス消火設備の点検整備	7/1～4
CPF	ベータガンマダストモニタ更新に伴う検出器交換事前確認	7/3
CPF	クレーン・ホイスト設備の点検整備	7/8 8/5 9/5, 6
CPF	核物質防護設備等の保守点検	7/17

施設名・部屋名	作業件名	実施期間
(再処理技術開発部)	(特殊放射線作業)	
	A 1	
CPF	計装設備の定期点検	7/22～ 8/ 7 9/18～継続中
CPF	自動火災報知設備及び誘導灯の保守点検	8/19～21
CPF	ベータガンマダストモニタの更新	9/ 4～継続中
	(その他の放射線作業)	
	G 1 . . . . . 全12件	
(環境施設部)	(特殊放射線作業)	
	S 2	
PWTF	可燃物焼却炉高温フィルタ蓋部の補修工事	6/ 4～ 7/23
	(その他の放射線作業)	
	G 1 . . . . . 全21件	
(環境技術開発部)	(特殊放射線作業)	
	特になし	
(核燃料技術開発部)	(特殊放射線作業)	
	S 2	
H 棟	管理区域内設備機器の撤去作業	5/13～ 7/12
L 棟	試験装置の撤去作業	6/ 1～ 7/29
Pu-1	Pu規格外品(DS)の再確定作業(IV)	7/ 1～ 8/23
	(その他の放射線作業)	
	G 1 . . . . . 全38件	
(プルトニウム燃料工場)	(特殊放射線作業)	
	S 1	
プル燃第三開発室	グローブボックスの解体(4)	7/ 1～31
プル燃第三開発室	混合造粒及び焙焼還元設備の粉末回収(2)	8/ 1～ 9/30
プル燃第三開発室	グローブボックスの解体(5)	8/ 1～ 9/30
	S 2	
プル燃第三開発室	混合造粒及び焙焼還元設備の粉末回収(1)	7/ 1～ 31
プル燃第三開発室	バッチ式予焼・安定化処理の撤去解体(3)	7/ 1～ 9/30

施設名・部屋名	作業件名	実施期間
(プルトニウム燃料工場)	(特殊放射線作業)	
	S 2	
プル燃第三開発室	非破壊測定部取り付け作業	7/22～ 8/ 1
プル燃第三開発室	ビニール梱包物廃棄物の詰め替え作業	8/ 1～ 31
	(その他の放射線作業)	
	S 2	
プル燃第三開発室	ホールドアップ 対象設の清掃作業(1)	9/24～ 9/30
	(その他の放射線作業)	
	G 1 . . . . . 全47件	

3.2.3 管理区域等の設定・解除

放射線管理第一課担当施設において、管理区域等の設定・解除に該当するものを表 3-2-3 に示す。

表 3-2-3 管理区域等の設定解除

区分	施設名	対象区域	期間	備考
適用除外	H棟	補修室	平成8年 8月20日～ 8月27日	異常無し



3.2.4 作業環境における放射線測定結果

1) 定常放射線モニタリング

定常放射線モニタリング結果を表3-2-4-(1)~(6)に示す。

(1) 線量当量率

表3-2-4-(1) 線量当量測定結果

1/2

単位:  $\mu\text{Sv/h}$

施設名	内 容		測 定 結 果			
			7 月	8 月	9 月	
安全管理部	安全管理棟	サーベイメータ	γ	*	*	*
		TLD	γ	*		
	安全管理別棟	サーベイメータ	n・γ	*	*	*
	計測機器校正施設	サーベイメータ	n・γ	*	*	*
TLD		γ	*			
再処理工術開発部	A 棟	サーベイメータ	γ	*	*	*
		エリアモニタ	γ	*	*	*
	B 棟	サーベイメータ	n・γ	*	*	*
		TLD	γ	*		
	B 棟 A 廃棄物倉庫	サーベイメータ	n・γ	*	*	*
		TLD	γ	*		
	B 棟 B 廃棄物倉庫	サーベイメータ	n・γ	*	*	*
		TLD	γ	*		
	応用試験棟	サーベイメータ	γ	*	*	*
	CPF	グリーン区域	エリアモニタ	n・γ	*	*
サーベイメータ			n・γ	*	*	*
アンバー区域		エリアモニタ	n・γ	*	*	*
		サーベイメータ	n・γ	*	*	*
環境施設部	焼却施設	サーベイメータ	γ	*	*	*
	洗濯場	サーベイメータ	γ	*	*	*
	中央廃水処理場	サーベイメータ	γ	*	*	*
	第1廃棄物倉庫	サーベイメータ	γ	*	*	*
	第2廃棄物倉庫	サーベイメータ	γ	*	*	*
	第3廃棄物倉庫	サーベイメータ	γ	*	*	*
	第4廃棄物倉庫	サーベイメータ	γ	*	*	*

注 管理目標値 ( $50 \mu\text{Sv/h}$ ) を超えない区域については\*印で表示した。

但し、CPF の管理目標値は(グリーン区域:  $12.5 \mu\text{Sv/h}$ , アンバー区域:  $200 \mu\text{Sv/h}$ )とする。

施設名	内 容		測 定 結 果		
			7 月	8 月	9 月
環 境 施 設 部	第5 廃棄物倉庫	サーベイメータ 7	*	*	*
	第6 廃棄物倉庫	サーベイメータ 7	*	*	*
	ウラン系 廃棄物貯蔵施設	サーベイメータ 7	*	*	*
	廃棄物屋外 貯蔵ピット	サーベイメータ 7	*	*	*
	プルトニウム廃棄物 処理開発施設	サーベイメータ 7	*	*	*
	プルトニウム 廃棄物貯蔵施設	サーベイメータ 7	*	*	*
	屋外固体廃棄物 貯蔵庫 No.1 ~ 17	サーベイメータ n・7	*	*	*
	M 棟 屋外中間廃水ピット	サーベイメータ 7	*	*	*
	核 燃 料 技 術 開 発 部	G 棟	サーベイメータ 7	*	*
TLD 7				*	
H 棟		サーベイメータ 7	*	*	*
		TLD 7		*	
J 棟		サーベイメータ n・7	*	*	*
		TLD 7		*	
L 棟		サーベイメータ 7	*	*	*
		TLD 7		*	
第2 ウラン貯蔵庫		サーベイメータ 7	*	*	*
		TLD 7		*	
廃油保管庫		サーベイメータ 7	*	*	*
		TLD 7		*	
廃水処理室		サーベイメータ 7	*	*	*
		TLD 7		*	
プルトニウム燃料 第一開発室		サーベイメータ n・7	*	*	*
ウラン貯蔵庫	サーベイメータ 7	*	*	*	
燃料製造機器試験室	サーベイメータ 7	*	*	*	
プルトニウム燃料 第二第三開発室	プルトニウム燃料 第二開発室	サーベイメータ n・7	*	*	*
	プルトニウム燃料 第三開発室	サーベイメータ n・7	*	*	*
	プルトニウム燃料 第三開発室	エリアモニタ n・7	*	*	*
プルトニウム燃料 第三開発室	サーベイメータ n・7	*	*	*	

注 管理目標値 (50  $\mu\text{Sv/h}$ ) を超えない区域については\*印で表示した。

(2) 表面密度

表 3 - 2 - 4 - (2) 表面密度測定結果

1/2

単位: Bq/cm<sup>2</sup>

施設名	内容	測定線種	測定結果			
			7月	8月	9月	
安全管理部	安全管理棟	α	*	*	*	
		β(γ)	*	*	*	
	安全管理別棟	α	*	*	*	
		β(γ)	*	*	*	
	計測機器校正施設	スミヤ	α	*	*	*
			β(γ)	*	*	*
再処理工術開発部	A棟	α	*	*	*	
		β(γ)	*	*	*	
	B棟	α	*	*	*	
		β(γ)	*	*	*	
	B棟 A廃棄物倉庫	α	*	*	*	
		β(γ)	*	*	*	
	B棟 B廃棄物倉庫	α	*	*	*	
		β(γ)	*	*	*	
	応用試験棟	スミヤ	α	*	*	*
			β(γ)	*	*	*
	C P F	α	*	*	*	
		β(γ)	*	*	*	
環境施設部	焼却施設	α	*	*	*	
		β(γ)	*	*	*	
	洗濯場	α	*	*	*	
		β(γ)	*	*	*	
	中央廃水処理場	α	*	*	*	
		β(γ)	*	*	*	
	第1廃棄物倉庫	α	*	*	*	
		β(γ)	*	*	*	
	第2廃棄物倉庫	α	*	*	*	
		β(γ)	*	*	*	
	第3廃棄物倉庫	α	*	*	*	
		β(γ)	*	*	*	
	第4廃棄物倉庫	α	*	*	*	
		β(γ)	*	*	*	
	第5廃棄物倉庫	α	*	*	*	
		β(γ)	*	*	*	
	第6廃棄物倉庫	α	*	*	*	
		β(γ)	*	*	*	

\*印は検出限界未満を示す。

検出限界 α : 4.0×10<sup>-3</sup> Bq/cm<sup>2</sup>

β(γ) : 4.0×10<sup>-2</sup> Bq/cm<sup>2</sup>

施設名	内容	測定線種	測定結果		
			7月	8月	9月
環境施設部	ウラン系 廃棄物貯蔵施設	α	*	*	*
		β(γ)	*	*	*
	プルトニウム廃棄物 処理開発施設	α	*	*	*
		α	*	*	*
	屋外固体廃棄物 貯蔵庫No.1~17	α	*	*	*
		α	*	*	*
M棟 屋外中間廃水ピット	α	*	*	*	
	β(γ)	*	*	*	
核燃料技術開発部	G棟	α	*	*	*
		β(γ)	*	*	*
	H棟	α	*	*	*
		β(γ)	*	*	*
	J棟	α	*	*	*
		β(γ)	*	*	*
	L棟	α	*	*	*
		β(γ)	*	*	*
	第2ウラン貯蔵庫	α	*	*	*
		β(γ)	*	*	*
	廃油保管庫	α	*	*	*
		β(γ)	*	*	*
廃水処理室	α	*	*	*	
	β(γ)	*	*	*	
プルトニウム燃料 第一開発室	α	*	*	*	
ウラン貯蔵庫	α	*	*	*	
	β(γ)	*	*	*	
燃料製造機器試験室	α	*	*	*	
	β(γ)	*	*	*	
プルトニウム燃料 第二開発室	α	*	*	*	
	α	*	*	*	

\*印は検出限界未満を示す。 検出限界 α : 4.0×10<sup>-3</sup> Bq/cm<sup>2</sup>  
β(γ) : 4.0×10<sup>-2</sup> Bq/cm<sup>2</sup>

## (3) 空气中放射性物質濃度

表 3 - 2 - 4 (3) 空气中放射性物質濃度測定結果

1/2

単位: Bq/cm<sup>3</sup>

施設名	内容	測定線種	測定結果			
			7月	8月	9月	
安全管理部	安全管理棟	エア	$\alpha$	*	*	*
		スニッファ	$\beta(\gamma)$	*	*	*
	安全管理別棟	エア	$\alpha$	*	*	*
		スニッファ	$\beta(\gamma)$	*	*	*
再処理工学技術開発部	A棟	エア	$\alpha$	*	*	*
		スニッファ	$\beta(\gamma)$	*	*	*
	B棟	エア	$\alpha$	*	*	*
		スニッファ	$\beta(\gamma)$	*	*	*
	応用試験棟	エア	$\alpha$	*	*	*
		スニッファ	$\beta(\gamma)$	*	*	*
	C P F	エア	$\alpha$	*	*	*
		スニッファ	$\beta(\gamma)$	*	*	*
$\beta$ ダスト モニタ		$\beta(\gamma)$	*	*	*	
$\alpha$ ダスト モニタ		$\alpha$	*	*	*	
環境施設部	焼却施設	エア	$\alpha$	*	*	*
		スニッファ	$\beta(\gamma)$	*	*	*
	洗濯場	エア	$\alpha$	*	*	*
		スニッファ	$\beta(\gamma)$	*	*	*
	中央廃水処理場	エア	$\alpha$	*	*	*
		スニッファ	$\beta(\gamma)$	*	*	*
	プルトニウム廃棄物 処理開発施設	エア	$\alpha$	*	*	*
		$\alpha$ ダスト モニタ	$\alpha$	*	*	*
	プルトニウム廃棄物 貯蔵施設	エア	$\alpha$	*	*	*
	屋外固体廃棄物 貯蔵庫	エア	$\alpha$	*	*	*

\*印は検出限界未満を示す。

検出限界  $\alpha$  :  $3.7 \times 10^{-10}$  Bq/cm<sup>3</sup> $\beta(\gamma)$  :  $1.5 \times 10^{-8}$  Bq/cm<sup>3</sup>

施設名	内容	測定線種	測定結果			
			7月	8月	9月	
核燃料 技術 開発 部	G棟	エア	α	*	*	*
		スニッファ	β(γ)	*	*	*
	H棟	エア	α	*	*	*
		スニッファ	β(γ)	*	*	*
	J棟	エア	α	*	*	*
		スニッファ	β(γ)	*	*	*
	L棟	エア	α	*	*	*
		スニッファ	β(γ)	*	*	*
	第2ウラン貯蔵庫	エア	α	*	*	*
		スニッファ	β(γ)	*	*	*
	廃水処理室	エア	α	*	*	*
		スニッファ	β(γ)	*	*	*
	プルトニウム燃料 第一開発室	エア	α	*	*	*
		αダスト モニタ	α	*	*	*
ウラン貯蔵庫	エア	α	*	*	*	
	スニッファ	β(γ)	*	*	*	
燃料製造機器試験室	エア	α	*	*	*	
	スニッファ	β(γ)	*	*	*	
プルトニウム燃料 工場	プルトニウム燃料 第二開発室	エア	α	*	*	*
		αダスト モニタ	α	*	*	*
	プルトニウム燃料 第三開発室	エア	α	* <sup>1</sup> 4.1×10 <sup>-10</sup>	*	* <sup>2</sup> 9.4×10 <sup>-10</sup>
		αダスト モニタ	α	*	*	*

\*印は検出限界未満を示す。

検出限界 α : 3.7×10<sup>-10</sup> Bq/cm<sup>3</sup>

β(γ) : 1.5×10<sup>-9</sup> Bq/cm<sup>3</sup>

\*1, \*2 Si-66 保全室(CU-003) 特作バックアウト作業の影響

(4) 排気中放射性物質濃度

表 3 - 2 - 4 (4) 排気中放射性物質濃度測定結果

1/2

単位: Bq/cm<sup>3</sup>

施設名	内容	測定線種	測定結果			
			7月	8月	9月	
安全管理部	安全管理棟	ダスト	α	*	*	*
		サンブラ	β(γ)	*	*	*
	安全管理別棟	排気モニタ	α	*	*	*
			β(γ)	*	*	*
再処理技術開発部	A棟	排気モニタ	α	*	*	*
			β(γ)	*	*	*
	B棟	排気モニタ	α	*	*	*
			β(γ)	*	*	*
	応用試験棟	排気モニタ	α	*	*	*
			β(γ)	*	*	*
環境施設部	焼却施設	ダスト	α	*	*	*
			サンブラ	β(γ)	*	*
	洗濯場	排気モニタ	α	*	*	*
			β(γ)	*	*	*
	中央廃水処理場	ダスト	α	*	*	*
			サンブラ	β(γ)	*	*
	プルトニウム廃棄物 処理開発施設	排気モニタ	α	*	*	*
			β(γ)	*	*	*
	プルトニウム廃棄物 貯蔵施設	排気モニタ	α	*	*	*
			β(γ)	*	*	*
核燃料技術開発部	G棟	ダスト	α	*	*	*
			サンブラ	β(γ)	*	*
	H棟	排気モニタ	α	*	*	*
			β(γ)	*	*	*
	J棟	排気モニタ	α	*	*	*
			β(γ)	*	*	*
	L棟	排気モニタ	α	*	*	*
			β(γ)	*	*	*
第2ウラン貯蔵庫	排気モニタ	α	*	*	*	
		β(γ)	*	*	*	

\*印は検出限界未満を示す。

検出限界 α : 1.5×10<sup>-10</sup> Bq/cm<sup>3</sup>

β(γ) : 1.5×10<sup>-9</sup> Bq/cm<sup>3</sup>

施設名	内容	測定線種	測定結果			
			7月	8月	9月	
核燃料技術開発部	廃水処理室	ダスト	$\alpha$	*	*	*
		サンブラ	$\beta(\gamma)$	*	*	*
	プルトニウム燃料第一開発室	排気モニタ	$\alpha$	*	*	*
			$\beta(\gamma)$	*	*	*
	ウラン貯蔵庫	排気モニタ	$\alpha$	*	*	*
			$\beta(\gamma)$	*	*	*
燃料製造機器試験室	排気モニタ	$\alpha$	*	*	*	
		$\beta(\gamma)$	*	*	*	
プルトニウム燃料工場	プルトニウム燃料第二開発室	排気モニタ	$\alpha$	*	*	*
	集合体貯蔵庫	排気モニタ	$\alpha$	*	*	*
	プルトニウム燃料第三開発室	排気モニタ	$\alpha$	*	*	*

\*印は検出限界未満を示す。

検出限界  $\alpha$  :  $1.5 \times 10^{-10}$  Bq/cm<sup>3</sup> $\beta(\gamma)$  :  $1.5 \times 10^{-9}$  Bq/cm<sup>3</sup>



(6) 飲用水中放射性物質濃度

表 3 - 2 - 4 (5) 飲用水中放射性物質濃度測定結果

単位：Bq/cm<sup>3</sup>

施設名	測定線種	測定結果			備考
		7月	8月	9月	
プルトニウム燃料 第一開発室	α	*	*	*	
プルトニウム燃料 第二開発室	α	*	*	*	
プルトニウム燃料 第三開発室	α	*	*	*	
プルトニウム廃棄物 処理開発施設	α	*	*	*	

注) 管理目標値 (α :  $1.0 \times 10^{-4}$  Bq/cm<sup>3</sup>) を超えない区域については\*印で表示した。

(5) 排気中放射性物質濃度 ( C P F )

表 3 - 2 - 4 (6) 排気中放射性物質濃度(CPF) 測定結果

核種	項 目	測 定 値			期 間 平 均 濃 度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	期 間 放 出 量		
		7 月	8 月	9 月		実 測 量 (Bq)	不 検 出 量 (Bq)	
全 α	最 高 濃 度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	*	*	*	*	0	3.1 × 10 <sup>4</sup>	
	平 均 濃 度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	*	*	*				
	放 出 量	実 測 量 (Bq)	0	0				0
		不 検 出 量 (Bq)	1.0 × 10 <sup>4</sup>	1.0 × 10 <sup>4</sup>				1.0 × 10 <sup>4</sup>
全 β (γ)	最 高 濃 度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	*	*	*	*	0	3.1 × 10 <sup>5</sup>	
	平 均 濃 度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	*	*	*				
	放 出 量	実 測 量 (Bq)	0	0				0
		不 検 出 量 (Bq)	1.0 × 10 <sup>5</sup>	1.0 × 10 <sup>5</sup>				1.0 × 10 <sup>5</sup>
希ガス ( <sup>85</sup> Kr <sup>133</sup> Xe)	最 高 濃 度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	*	*	*	*	0	4.9 × 10 <sup>11</sup>	
	平 均 濃 度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	*	*	*				
	放 出 量	実 測 量 (Bq)	0	0				0
		不 検 出 量 (Bq)	1.7 × 10 <sup>11</sup>	1.7 × 10 <sup>11</sup>				1.6 × 10 <sup>11</sup>
<sup>131</sup> I	最 高 濃 度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	*	*	*	*	0	7.6 × 10 <sup>6</sup>	
	平 均 濃 度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	*	*	*				
	放 出 量	実 測 量 (Bq)	0	0				0
		不 検 出 量 (Bq)	2.5 × 10 <sup>6</sup>	2.5 × 10 <sup>6</sup>				2.5 × 10 <sup>6</sup>
<sup>129</sup> I	最 高 濃 度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	*	*	*	*	0	7.6 × 10 <sup>6</sup>	
	平 均 濃 度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	*	*	*				
	放 出 量	実 測 量 (Bq)	0	0				0
		不 検 出 量 (Bq)	2.5 × 10 <sup>6</sup>	2.5 × 10 <sup>6</sup>				2.5 × 10 <sup>6</sup>
<sup>3</sup> H	最 高 濃 度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	*	*	*	*	0	7.6 × 10 <sup>6</sup>	
	平 均 濃 度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	*	*	*				
	放 出 量	実 測 量 (Bq)	0	0				0
		不 検 出 量 (Bq)	2.5 × 10 <sup>6</sup>	2.5 × 10 <sup>6</sup>				2.5 × 10 <sup>6</sup>

\*印は検出限界未満を表す。

検出限界

全 α 1.5 × 10<sup>-10</sup> Bq/cm<sup>3</sup>,    <sup>129</sup>I 3.7 × 10<sup>-8</sup> Bq/cm<sup>3</sup>  
 全 β (γ) 1.5 × 10<sup>-9</sup> Bq/cm<sup>3</sup>,    <sup>3</sup>H 3.7 × 10<sup>-5</sup> Bq/cm<sup>3</sup>  
<sup>131</sup>I 3.7 × 10<sup>-8</sup> Bq/cm<sup>3</sup>,    <sup>85</sup>Kr 2.4 × 10<sup>-3</sup> Bq/cm<sup>3</sup>

## 2) 搬出物品等に対する放射線管理

(1/3)

搬出物品等に係るモニタリング件数を、表3-2-4(7)に示す。

表3-2-4(7) 施設側の依頼に基づき実施したモニタリング件数

単位：件

施設	モニタリングの内容	廃棄物		搬出物		
		放射性	非放射性	放射性物質	一般物品	
7月	安全管理部施設		0	—	2	15
	再処理開発技術部	CPF	4	—	7	105
		B棟等 * <sup>1</sup>	1	—	7	34
	環境施設部	プルトニウム廃棄物処理開発施設	8	—	1	90
		プルトニウム廃棄物貯蔵施設 * <sup>2</sup>	6	—	0	46
		洗濯場等 * <sup>3</sup>	5	—	9	36
	核燃料技術開発部	ウラン濃縮施設 * <sup>4</sup>	8	—	39	80
		プルトニウム燃料第一開発室	0	—	7	31
		燃料製造機器試験室	0	—	0	18
		ウラン貯蔵庫	0	—	5	3
	プルトニウム燃料工場	プルトニウム燃料第二開発室	38	—	19	85
		プルトニウム燃料第三開発室	97	—	30	208
	合計		167	—	126	751

\*<sup>1</sup>: A棟, 応用試験棟を含む。\*<sup>2</sup>: 屋外固体廃棄物貯蔵庫を含む。\*<sup>3</sup>: 焼却場, 中央廃水処理場, 第1廃棄物倉庫～第6廃棄物倉庫, ウラン系廃棄物M棟, 貯蔵施設を含む。\*<sup>4</sup>: G棟, H棟, J棟, L棟, 第2ウラン貯蔵庫, 廃水処理, 廃油保管庫を含む。

(2/3)

単位：件

施設		モニタリング の内容	廃棄物		搬出物		
			放射 性	非放射 性	放射 性物質	一 般 物 品	
8 月	安全管理部施設		0	—	3	17	
	再 処 理 開 発 技 術 部	CPF	6	—	5	63	
		B棟等 * <sup>1</sup>	2	—	6	21	
	環 境 施 設 部	プルトニウム廃棄物 処理開発施設	2	—	3	59	
		プルトニウム廃棄物 貯蔵施設 * <sup>2</sup>	0	—	0	32	
		洗濯場等 * <sup>3</sup>	5	—	5	31	
	核 燃 料 技 術 開 発 部	ウラン濃縮施設 * <sup>4</sup>	4	—	25	61	
		プルトニウム燃料 第一開発室	0	—	7	21	
		燃料製造機器試験室	0	—	0	17	
		ウラン貯蔵庫	0	—	0	0	
	プ ル ト 燃 料 工 場	プルトニウム燃料 第二開発室	24	—	17	76	
		プルトニウム燃料 第三開発室	47	—	5	202	
	合 計			90	—	76	600

\*<sup>1</sup>: A棟, 応用試験棟を含む。\*<sup>2</sup>: 屋外固体廃棄物貯蔵庫を含む。\*<sup>3</sup>: 焼却場, 中央廃水処理場, 第1廃棄物倉庫～第6廃棄物倉庫, ウラン系廃棄物  
M棟, 貯蔵施設を含む。\*<sup>4</sup>: G棟, H棟, J棟, L棟, 第2ウラン貯蔵庫, 廃水処理, 廃油保管庫を含む。

(3/3)

単位：件

施設		モニタリング の内容	廃棄物		搬出物		
			放射 性	非放射 性	放射性物質	一般物品	
9 月	安全管理部施設		0	—	0	16	
	再 処 理 開 発 部	C P F	8	—	6	105	
		B棟等 * <sup>1</sup>	0	—	2	17	
	環 境 施 設 部	プルトニウム廃棄物 処理開発施設	0	—	0	77	
		プルトニウム廃棄物 貯蔵施設 * <sup>2</sup>	1	—	0	10	
		洗濯場等 * <sup>3</sup>	2	—	6	26	
	核 燃 料 技 術 開 発 部	ウラン濃縮施設 * <sup>4</sup>	6	—	35	86	
		プルトニウム燃料 第一開発室	0	—	6	19	
		燃料製造機器試験室	0	—	0	13	
		ウラン貯蔵庫	0	—	1	1	
	プ ル ト 燃 料 工 場	プルトニウム燃料 第二開発室	0	—	8	115	
		プルトニウム燃料 第三開発室	2	—	12	195	
	合 計			19	—	76	680

\*<sup>1</sup>: A棟, 応用試験棟を含む。\*<sup>2</sup>: 屋外固体廃棄物貯蔵庫を含む。\*<sup>3</sup>: 焼却場, 中央廃水処理場, 第1廃棄物倉庫～第6廃棄物倉庫, ウラン系廃棄物  
M棟, 貯蔵施設を含む。\*<sup>4</sup>: G棟, H棟, J棟, L棟, 第2ウラン貯蔵庫, 廃水処理, 廃油保管庫を含む。

## 3) その他

(1/3)

施設側の依頼に基づき実施したモニタリング件数を、表3-2-4(8)に示す。

表3-2-4(8) 施設側の依頼に基づき実施したモニタリング件数

単位：件

施設		モニタリングの内容	グローブ交換 作業等	フィルター 交換作業等	放射性物質 等搬入	そ の 他	
7 月	安全管理部施設		—	0	0	1	
	再 処 理 開 発 部	CPF	0	0	0	43	
		B棟等 * <sup>1</sup>	1	2	0	9	
	環 境 施 設 部	プルトニウム廃棄物 処理開発施設	0	0	0	0	
		プルトニウム廃棄物 貯蔵施設 * <sup>2</sup>	—	0	0	0	
		洗濯場等 * <sup>3</sup>	—	1	0	1	
	核 燃 料 技 術 開 発 部	ウラン濃縮施設 * <sup>4</sup>	—	0	0	21	
		プルトニウム燃料 第一開発室	23	0	0	5	
		燃料製造機器試験室	—	0	0	0	
		ウラン貯蔵庫	—	0	0	0	
	プ ル ト 燃 料 工 場	プルトニウム燃料 第二開発室	50	12	0	0	
		プルトニウム燃料 第三開発室	1	0	0	2	
	合 計			75	15	0	82

\*<sup>1</sup>: A棟, 応用試験棟を含む。\*<sup>2</sup>: 屋外固体廃棄物貯蔵庫を含む。\*<sup>3</sup>: 焼却場, 中央廃水処理場, 第1廃棄物倉庫~第6廃棄物倉庫, ウラン系廃棄物  
M棟, 貯蔵施設を含む。\*<sup>4</sup>: G棟, H棟, J棟, L棟, 第2ウラン貯蔵庫, 廃水処理, 廃油保管庫を含む。

(2/3)

単位：件

施設		モニタリング の内容	グローブ交換 作業等	フィルタ－ 交換作業等	放射性物質 等搬入	そ の 他
8 月	安全管理部施設		—	0	2	1
	再 処 理 開 発 部	CPF	1	0	0	0
		B棟等 * <sup>1</sup>	0	0	0	1
	環 境 施 設 部	プルトニウム廃棄物 処理開発施設	0	0	0	0
		プルトニウム廃棄物 貯蔵施設 * <sup>2</sup>	—	0	0	0
		洗濯場等 * <sup>3</sup>	—	1	0	0
	核 燃 料 技 術 開 発 部	ウラン濃縮施設 * <sup>4</sup>	—	0	0	4
		プルトニウム燃料 第一開発室	2 1	1	0	8
		燃料製造機器試験室	—	0	0	0
		ウラン貯蔵庫	—	0	0	0
	プ ル ト 燃 料 工 場	プルトニウム燃料 第二開発室	3 6	3	0	3
		プルトニウム燃料 第三開発室	0	0	0	2
合 計			5 8	5	2	1 9

\*<sup>1</sup>: A棟, 応用試験棟を含む。\*<sup>2</sup>: 屋外固体廃棄物貯蔵庫を含む。\*<sup>3</sup>: 焼却場, 中央廃水処理場, 第1廃棄物倉庫～第6廃棄物倉庫, ウラン系廃棄物  
M棟, 貯蔵施設を含む。\*<sup>4</sup>: G棟, H棟, J棟, L棟, 第2ウラン貯蔵庫, 廃水処理, 廃油保管庫を含む。

(3/3)

単位：件

施設		モニタリング の内容	グローブ交換 作業等	フィルター 交換作業等	放射性物質 等搬入	そ の 他
9 月	安全管理部施設		—	0	2	0
	再 処 理 開 発 部	CPF	0	0	0	4
		B棟等 * <sup>1</sup>	0	0	0	0
	環 境 施 設 部	プルトニウム廃棄物 処理開発施設	0	0	0	0
		プルトニウム廃棄物 貯蔵施設 * <sup>2</sup>	—	0	0	0
		洗濯場等 * <sup>3</sup>	—	1	0	0
	核 燃 料 技 術 開 発 部	ウラン濃縮施設 * <sup>4</sup>	—	0	0	14
		プルトニウム燃料 第一開発室	35	0	0	4
		燃料製造機器試験室	—	0	0	0
		ウラン貯蔵庫	—	0	0	0
プ ル ト 燃 料 工 場	プルトニウム燃料 第二開発室	166	0	0	6	
	プルトニウム燃料 第三開発室	0	1	1	0	
合 計			201	2	3	28

\*<sup>1</sup>: A棟, 応用試験棟を含む。\*<sup>2</sup>: 屋外固体廃棄物貯蔵庫を含む。\*<sup>3</sup>: 焼却場, 中央廃水処理場, 第1廃棄物倉庫～第6廃棄物倉庫, ウラン系廃棄物  
M棟, 貯蔵施設を含む。\*<sup>4</sup>: G棟, H棟, J棟, L棟, 第2ウラン貯蔵庫, 廃水処理, 廃油保管庫を含む。



### 3.3 放射線管理第二課所掌施設

#### 3.3.1 放射線管理業務概要

環境施設のアスファルト固化処理施設、廃溶媒処理技術開発施設及びガラス固化技術開発施設では機器等の保守・点検が行われ、9月25日から処理運転及び開発運転が実施された。また、ガラス固化技術開発施設において電気設備の定期点検が実施され、換気系等の一時的な停止トラブルが発生した。環境技術開発施設のクリプトン施設では、機器等の保守・点検が行われ、9月25日から開発運転が行われた。

この間の定常放射線管理の結果、ガラス固化技術開発施設の換気系等停止に係る対応を含め、再処理施設保安規定に定める諸基準を超えることはなかった。また、放射線作業は、特殊放射線作業50件が実施されたが再処理施設保安規定に定める諸基準を超えることはなかった。

一方、排気中放射性物質の測定結果についても、再処理施設保安規定等に定める諸基準を超えることはなかった。

## 3.3.2 放射線作業の実施状況

放射線作業の実施状況を、表3-3-2に示す。

表3-3-2 放射線作業の実施状況

(1/3)

施設・部屋名	件名	実施期間
環境施設		
S1作業	なし	
S2作業	25件	
T V F R101.A117	B S Mスレーブアーム交換、搬出及び物品搬入	7/ 1 ~ 7/11
S T A008.A013	セル内(R 0 0 1, R 0 0 6)線量当量率の測定	7/ 8
T V F G144	搬送セルM/Sマニプレータ交換作業	7/ 8 ~ 7/12
T V F A122.G144	M/Sマニプレータ保守	7/10 ~ 7/31
S T A110.A111	R 1 2 0内保守点検作業	7/11 ~ 7/16
S T R020.R021.A010	セル壁貫通配管の設置工事	7/18 ~ 7/24
S T R051.A010	ポンプセル内点検作業	7/18 ~ 7/25
A S P R122.R152.A118	セル内機器点検	7/22 ~ 8/30
T V F R102.A115	搬送セル内機器点検保守作業	7/24 ~ 8/ 8
ASP-ST R050.R151	F H M年次点検	7/23 ~ 8/22
2ASP-ST R051.R052.R253	A S II搬送機器類保守点検	7/25 ~ 8/30
A S P A131	M 6 0 2保守点検	7/31 ~ 8/12
A S P R038.R055	E 4 2残差抜き出し	8/20 ~ 8/23
T V F A122.G144	M/Sマニプレータ保守	8/22 ~ 9/30
S T R001.R006.A021	供用期間中の検査	8/29 ~ 9/ 3
T V F R102.G144	除染セル内でのI T V (M 2 1 7)雲台の交換	9/ 2 ~ 9/ 3
A S P R251.R352	供用期間中の検査	9/ 2 ~ 9/ 4
A S P A334	p H計点検	9/ 2 ~ 9/13
S T A010	廃液供給ポンプP 4 1 2分解点検	9/ 4 ~ 9/13
T V F R102.G144	搬送セルM/S保守	9/ 9 ~ 9/10
A S P R359.A333	エアリフト台の健全性確認作業	9/ 9 ~ 9/11
T V F R101.A116.A117	除染セルへの機器搬入	9/12
T V F R101.A116.A117	B S Mスレーブアームの交換	9/17 ~ 9/18
S T R020.A010	R 0 2 0内バルブ点検作業	9/17 ~ 9/19
S T R020.A021	セル内配管の布設作業	9/17 ~ 9/19

( 2 / 3 )

施設・部屋名	件名	実施期間
<u>A 1 作業</u> 8 件		
S T A010	廃シリカゲル払出設備の設置工事	7/ 2 ~ 9/30
S T A010	換気ダクト更新工事	7/24 ~ 7/26
T V F A211	気送管フィルター交換作業	8/ 5 ~ 8/ 6
S T A110	蒸気バルブの更新	8/ 6 ~ 8/ 9
T V F A023. A120	風量・負圧調整作業(3)	8/30
T V F A122. G144	搬送セルMS マニプレータの交換作業	9/ 2 ~ 9/ 6
T V F 全域	スチールドアの点検調整	9/ 2
T V F A024	差圧伝送器の設置	9/12 ~ 9/13
<u>A 2 作業</u> 1 0 件		
S T	S T 施設の運転関連業務	4/ 1 ~ 継続
S T	S T 施設の保守点検関連業務	4/ 1 ~ 継続
A S P	固体化評価試験設備の運転業務	4/ 1 ~ 継続
A S P	固体化評価試験設備の保守点検業務	4/ 1 ~ 継続
ASP. ST. (MP. AAF)	気送管設備の保守点検業務	4/ 1 ~ 継続
ASP. ASP-ST. 2ASP-ST	アスファルト固化技術開発施設の運転及び保守業務	4/ 1 ~ 継続
T V F	ガラス固化技術開発施設の運転・保守業務	4/ 1 ~ 継続
全施設	再処理施設内環境施設の運転・保守業務	4/ 1 ~ 継続
全施設	環境施設の放射線管理業務	4/ 1 ~ 継続
全施設	環境施設に係る放射線管理用機器の保守点検及び校正業務	4/ 1 ~ 継続
環境技術開発施設		
<u>S 1 作業</u> なし		
<u>S 2 作業</u> 3 件		
K r R002. R005. R101	高圧ガス保安検査・定期検査及びセル内機器点検	7/ 1 ~ 9/30
K r R008B	クリプトン固定化試験設備の設置(その3)	7/ 3 ~ 8/13
K r R008B	クリプトン固定化試験	9/ 4 ~ 9/30
<u>A 1 作業</u> なし		
<u>A 2 作業</u> 4 件		
K r	クリプトン施設の運転及び保守業務	4/ 1 ~ 継続

( 3 / 3 )

施設・部屋名	件名	実施期間
K r	換気・空調設備等の運転及び保守業務	4/ 1 ~ 継続
K r	クリプトン施設の放射線管理業務	4/ 1 ~ 継続
K r	クリプトン施設に係る放射線管理用機器の保守及び校正業務	4/ 1 ~ 継続

### 3.3.3 管理区域等の設定・解除

平成8年度第2四半期において、環境施設及びクリプトン施設における管理区域等の設定・解除はなかった。

3.3.4 作業環境における放射線測定結果

1) 定常放射線モニタリング

(1) 外部放射線に係る線量当量率

外部放射線に係る線量当量率測定結果を、表3-3-4(1)に示す。

表3-3-4(1) 外部放射線に係る線量当量率 単位  $\begin{matrix} W: \mu\text{Sv/W} \\ G: \mu\text{Sv/h} \\ A: \mu\text{Sv/h} \end{matrix}$

施設名	内容		測定結果									
			7月			8月			9月			
			W	G	A	W	G	A	W	G	A	
環境	ASP	エリアモニタ	γ	/	*	*	/	*	*	/	*	*
		サーベイメータ	γ	*	*	*	*	*	*	*	*	*
		T L D	γ	*	/	/	*	/	/	*	/	/
	ASP-ST	エリアモニタ	γ	/	*	*	/	*	*	/	*	*
		サーベイメータ	γ	*	*	*	*	*	*	*	*	*
		T L D	γ	*	/	/	*	/	/	*	/	/
	2ASP-ST	エリアモニタ	γ	/	*	*	/	*	*	/	*	*
		サーベイメータ	γ	*	*	*	*	*	*	*	*	*
		T L D	γ	*	/	/	*	/	/	*	/	/
ST	エリアモニタ	γ	/	/	*	/	/	*	/	/	*	
	サーベイメータ	γ	/	*	*	/	*	*	/	*	*	
	T L D	γ	*	/	/	*	/	/	*	/	/	
施設	2HASWS	エリアモニタ	γ	/	*	*	/	*	*	/	*	*
		サーベイメータ	γ	*	*	*	*	*	*	*	*	*
		T L D	γ	*	/	/	*	/	/	*	/	/
LASWS	サーベイメータ	γ	*	*	*	*	*	*	*	*	*	
	T L D	γ	*	/	/	*	/	/	*	/	/	
2LASWS	サーベイメータ	γ	*	*	*	*	*	*	*	*	*	
	T L D	γ	*	/	/	*	/	/	*	/	/	
HASWS	サーベイメータ	γ	*	*	*	*	*	*	*	*	*	
	T L D	γ	*	/	/	*	/	/	*	/	/	
環開施設	Kr	エリアモニタ	γ	/	*	*	/	*	*	/	*	*
		サーベイメータ	γ	*	*	*	*	*	*	*	*	*
		T L D	γ	*	/	/	*	/	/	*	/	/

注) 1. W, G, Aは、再処理施設内のホワイト, グリーン, アンバー区域を示す。  
 2. 管理レベル (W: 300 μSv/W, G: 12.5 μSv/h, A: 25 μSv/h) を超えない区域については、\*印で表示した。また、超えた場合には、その最大値及び場所を記入した。  
 3. TLDによる測定は3か月間を通して行っている。

(2) 表面密度

表面密度測定結果を、表3-3-4(2)に示す。

表3-3-4(2) 表面密度測定結果

施設名		内容		測定結果		
				7月	8月	9月
				Bq/cm <sup>2</sup>	Bq/cm <sup>2</sup>	Bq/cm <sup>2</sup>
環	ASP	スミヤ	$\alpha$	*	*	*
			$\beta(\gamma)$	*	*	*
	ASP-ST	スミヤ	$\alpha$	*	*	*
			$\beta(\gamma)$	*	*	*
境	2ASP-ST	スミヤ	$\alpha$	*	*	*
			$\beta(\gamma)$	*	*	*
	ST	スミヤ	$\alpha$	*	*	*
			$\beta(\gamma)$	*	*	*
施	2HASWS	スミヤ	$\alpha$	*	*	*
			$\beta(\gamma)$	*	*	*
	LASWS	スミヤ	$\alpha$	*	*	*
			$\beta(\gamma)$	*	*	*
設	2LASWS	スミヤ	$\alpha$	*	*	*
			$\beta(\gamma)$	*	*	*
	HASWS	スミヤ	$\alpha$	*	*	*
			$\beta(\gamma)$	*	*	*
	TVF	スミヤ	$\alpha$	*	*	*
			$\beta(\gamma)$	*	*	*
環 開 施 設	Kr	スミヤ	$\alpha$	*	*	*
			$\beta(\gamma)$	*	*	*

注) 管理レベル ( $\alpha : 4 \times 10^{-2} \text{Bq/cm}^2$ ,  $\beta(\gamma) : 4 \times 10^{-1} \text{Bq/cm}^2$ ) を超えない区域については、\*印で表示した。

(3) 空气中放射性物質濃度

空气中放射性物質濃度測定結果を、表 3 - 3 - 4 (3) に示す。

表 3 - 3 - 4 (3) 空气中放射性物質濃度測定結果

建 屋 名	内 容	測 定 結 果				
		7 月	8 月	9 月		
		Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>		
環 境	A S P	エアースニファ	$\alpha$	*	*	*
			$\beta (\gamma)$	*	*	*
		ダストモニタ	$\alpha$	*	*	*
			$\beta (\gamma)$	*	*	*
	A S P - S T	エアースニファ	$\alpha$	*	*	*
			$\beta (\gamma)$	*	*	*
	2 A S P - S T	エアースニファ	$\alpha$	*	*	*
			$\beta (\gamma)$	*	*	*
ダストモニタ		$\alpha$	*	*	*	
		$\beta (\gamma)$	*	*	*	
施 設	S T	エアースニファ	$\alpha$	*	*	*
			$\beta (\gamma)$	*	*	*
	ダストモニタ	$\alpha$	*	*	*	
		$\beta (\gamma)$	*	*	*	
2 H A S W S	エアースニファ	$\alpha$	*	*	*	
		$\beta (\gamma)$	*	*	*	
	ダストモニタ	$\alpha$	*	*	*	
		$\beta (\gamma)$	*	*	*	
T V F	エアースニファ	$\alpha$	*	*	*	
		$\beta (\gamma)$	*	*	*	
	ダストモニタ	$\alpha$	*	*	*	
		$\beta (\gamma)$	*	*	*	
環 開 施 設	K r	エアースニファ	$\alpha$	*	*	*
			$\beta (\gamma)$	*	*	*

注) 管理レベル (一週間平均で (DAC)  $\times 3 / 10 \times 1 / 5$  [Bq/cm<sup>3</sup>]) を超えない区域については \* 印で表示した。



## (4) 排気中の放射性物質監視測定

第一付属排気筒及び第二付属排気筒における排気中放射性物質測定結果について、表3-3-4(4)及び(5)に示す。

表3-3-4(4) 第1付属排気筒 排気中の放射性物質監視測定結果

核種	項目	測定値			期間平均濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	期間放出量		
		7月	8月	9月		実測量(GBq)	不検出量(GBq)	
全α	最高濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	*	*	*	*	0	4.0 × 10 <sup>-5</sup>	
	平均濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	*	*	*				
	放出量	実測量 (GBq)	0	0				0
		不検出量(GBq)	1.3 × 10 <sup>-5</sup>	1.5 × 10 <sup>-5</sup>				1.2 × 10 <sup>-5</sup>
全β・γ	最高濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	*	*	*	*	0	4.0 × 10 <sup>-4</sup>	
	平均濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	*	*	*				
	放出量	実測量 (GBq)	0	0				0
		不検出量(GBq)	1.3 × 10 <sup>-4</sup>	1.5 × 10 <sup>-4</sup>				1.2 × 10 <sup>-4</sup>
<sup>131</sup> I	最高濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	*	*	*	*	0	9.9 × 10 <sup>-3</sup>	
	平均濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	*	*	*				
	放出量	実測量 (GBq)	0	0				0
		不検出量(GBq)	3.2 × 10 <sup>-3</sup>	3.7 × 10 <sup>-3</sup>				3.0 × 10 <sup>-3</sup>
<sup>129</sup> I	最高濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	*	*	*	*	0	9.9 × 10 <sup>-3</sup>	
	平均濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	*	*	*				
	放出量	実測量 (GBq)	0	0				0
		不検出量(GBq)	3.2 × 10 <sup>-3</sup>	3.7 × 10 <sup>-3</sup>				3.0 × 10 <sup>-3</sup>
<sup>14</sup> C	最高濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	*	*	7.7 × 10 <sup>-4</sup>	9.0 × 10 <sup>-5</sup>	1.5 × 10	9.2	
	平均濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	*	*	2.0 × 10 <sup>-4</sup>				
	放出量	実測量 (GBq)	0	0				1.5 × 10
		不検出量(GBq)	3.5	4.0				1.7
<sup>3</sup> H	最高濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	6.6 × 10 <sup>-5</sup>	*	*	4.0 × 10 <sup>-5</sup>	1.4	9.2	
	平均濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	4.4 × 10 <sup>-5</sup>	*	*				
	放出量	実測量 (GBq)	1.4	0				0
		不検出量(GBq)	2.5	3.7				3.0
<sup>85</sup> Kr	最高濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	*	*	*	*	0	6.6 × 10 <sup>2</sup>	
	平均濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	*	*	*				
	放出量	実測量 (GBq)	0	0				0
		不検出量(GBq)	2.3 × 10 <sup>2</sup>	2.1 × 10 <sup>2</sup>				2.2 × 10 <sup>2</sup>

(注) \*印は検出限界未滿を表す。 検出限界 全α : 1.5 × 10<sup>-10</sup> Bq/cm<sup>3</sup> 全β (γ) : 1.5 × 10<sup>-9</sup> Bq/cm<sup>3</sup> <sup>131</sup>I : 3.7 × 10<sup>-8</sup> Bq/cm<sup>3</sup>  
<sup>129</sup>I : 3.7 × 10<sup>-8</sup> Bq/cm<sup>3</sup> <sup>14</sup>C : 4.0 × 10<sup>-5</sup> Bq/cm<sup>3</sup> <sup>3</sup>H : 3.7 × 10<sup>-5</sup> Bq/cm<sup>3</sup> <sup>85</sup>Kr : 2.4 × 10<sup>-3</sup> Bq/cm<sup>3</sup>

表 3 - 3 - 4 (5) 第 2 付属排気筒 排気中の放射性物質監視測定結果

核種	項目	測定値			期間平均濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	期間放出量		
		7 月	8 月	9 月		実測量(GBq)	不検出量(GBq)	
全 α	最高濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	*	*	*	*	0	3.8 × 10 <sup>-5</sup>	
	平均濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	*	*	*				
	放出量	実測量 (GBq)	0	0				0
		不検出量(GBq)	1.2 × 10 <sup>-5</sup>	1.5 × 10 <sup>-5</sup>				1.1 × 10 <sup>-5</sup>
全 β・γ	最高濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	*	*	*	*	0	3.8 × 10 <sup>-4</sup>	
	平均濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	*	*	*				
	放出量	実測量 (GBq)	0	0				0
		不検出量(GBq)	1.2 × 10 <sup>-4</sup>	1.5 × 10 <sup>-4</sup>				1.1 × 10 <sup>-4</sup>
<sup>131</sup> I	最高濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	*	*	*	*	0	9.2 × 10 <sup>-3</sup>	
	平均濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	*	*	*				
	放出量	実測量 (GBq)	0	0				0
		不検出量(GBq)	3.0 × 10 <sup>-3</sup>	3.6 × 10 <sup>-3</sup>				2.6 × 10 <sup>-3</sup>
<sup>129</sup> I	最高濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	*	*	*	*	0	9.2 × 10 <sup>-3</sup>	
	平均濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	*	*	*				
	放出量	実測量 (GBq)	0	0				0
		不検出量(GBq)	3.0 × 10 <sup>-3</sup>	3.6 × 10 <sup>-3</sup>				2.6 × 10 <sup>-3</sup>
<sup>14</sup> C	最高濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	*	*	1.2 × 10 <sup>-4</sup>	4.5 × 10 <sup>-5</sup>	1.9	9.3	
	平均濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	*	*	5.8 × 10 <sup>-5</sup>				
	放出量	実測量 (GBq)	0	0				1.9
		不検出量(GBq)	3.2	3.9				2.2
<sup>3</sup> H	最高濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	*	*	*	*	0	9.2	
	平均濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	*	*	*				
	放出量	実測量 (GBq)	0	0				0
		不検出量(GBq)	3.0	3.6				2.6
<sup>85</sup> K r	最高濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	*	*	*	*	0	6.1 × 10 <sup>2</sup>	
	平均濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	*	*	*				
	放出量	実測量 (GBq)	0	0				0
		不検出量(GBq)	2.1 × 10 <sup>2</sup>	2.1 × 10 <sup>2</sup>				1.9 × 10 <sup>2</sup>

(注) \*印は検出限界未満を表す。 検出限界 全 α : 1.5 × 10<sup>-10</sup> Bq/cm<sup>3</sup> 全 β (γ) : 1.5 × 10<sup>-9</sup> Bq/cm<sup>3</sup> <sup>131</sup>I : 3.7 × 10<sup>-8</sup> Bq/cm<sup>3</sup>  
<sup>129</sup>I : 3.7 × 10<sup>-8</sup> Bq/cm<sup>3</sup> <sup>14</sup>C : 4.0 × 10<sup>-5</sup> Bq/cm<sup>3</sup> <sup>3</sup>H : 3.7 × 10<sup>-5</sup> Bq/cm<sup>3</sup> <sup>85</sup>K r : 2.4 × 10<sup>-3</sup> Bq/cm<sup>3</sup>

## (5) 飲料水中放射性物質濃度測定

飲料水中放射性物質濃度測定結果を、表 3 - 3 - 4 (6) に示す。

表 3 - 3 - 4 (6) 飲料水中放射性物質濃度測定結果

施設名		測定線種	測定結果		
			7 月	8 月	9 月
			Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>
環境	ASP	$\alpha$	*	*	*
		$\beta(\gamma)$	*	*	*
施設	ASP-ST	$\alpha$	*	*	—
		$\beta(\gamma)$	*	*	—
部	2ASP-ST	$\alpha$	*	*	*
		$\beta(\gamma)$	*	*	*

注) 1. 管理レベル ( $\alpha : 1 \times 10^{-3} \text{Bq/cm}^3$ ,  $\beta(\gamma) : 3 \times 10^{-2} \text{Bq/cm}^3$ ) を超えない区域については、\*印で表示した。

2. 9月分のASP-STについては、飲水設備故障により採取していない。

## 2) 物品等の搬出に係る放射線管理

放射性物質、一般物品、及び廃棄物の搬出に係る放射線管理について、表3-3-4(7)に示す。

表3-3-4(7) 物品等の搬出に係る放射線管理

単位： 件

区 分		件 数			
		7 月	8 月	9 月	計
一 般 物 品		2 5 9	1 8 1	1 8 4	6 2 4
放 射 性 物 質 ( カ ス ク 等 )		5 6	2 2	3 1	1 0 9
廃棄物	非 放 射 性	5 4	7 7	8 4	2 1 5
	放射性 ( 含仕分け済ドラム缶 )	5 1 1	5 3 4	4 0 4	1 4 4 9
計		8 8 0	8 1 4	7 0 3	2 3 9 7

3.3.5 被ばく、汚染サーベイ報告

件名	発生日	発生場所	概要	汚染核種	汚染状況	原因	処置等
特になし							

### 3.4 放射線管理用機器の管理

放射線管理用機器が正常に稼働するよう機器の整備，検査等を実施した。また，放射線管理用機器等の整備等に必要な主な設備の維持管理も合わせて実施した。

今期実施した業務の主な内容は以下のとおりである。

#### 3.4.1 放射線管理用機器の整備及び検査

放射線管理用機器の整備及び検査のうち，定期自主検査の実施状況を，表3-4-1(1)及び表3-4-1-2)に，修理校正の実施状況を，表3-4-1(3)に示す。

#### 3.4.2 主な設備の管理

放射線管理用機器等を整備するために必要な設備のうち，照射装置の使用状況を，表3-4-2(1)に示す。また，校正施設の稼働状況を表3-4-2(2)に示す。

表 3 - 4 - 1 - (1) 定期自主検査実施状況 (定置式モニタ設備類)

区分 施設名		定期自主検査						
		性能検査 (件)			回路試験 (件)	総合検査 (件)	校正 (件)	合計 (件)
		7月	8月	9月				
安全管理部施設					73	7	7	87
再処理施設		2	2	2	538	433	433	1410
核開発 燃料部 技術施設	プルトニウム燃料 第一開発室				21	6	6	33
	ウラン 濃縮施設				84	5	5	94
再開 処理部 技術施設	B棟				5	1	1	7
	C P F				216	38	38	292
	その他 応用試験棟				13	2	2	17
プルトニウム 燃料工 場	プルトニウム燃料 第二開発室				83	30	30	143
	プルトニウム燃料 第三開発室				179	64	64	307
環境施設 部施設	プルトニウム廃棄 物貯蔵施設				9	2	2	13
	プルトニウム廃棄 物処理開発 施設				63	5	5	73
	ウラン廃棄 物廃棄施設				5	1	1	7
核燃料材料工学研修室					0	0	0	0
総務課 (PR館)					0	0	0	0
労務課 (健康管理室)					0	0	0	0
合計		2	2	2	1289	594	594	2483

\* 施設分類は、再処理施設及び核燃料物質使用施設保安規定に基づいて行っている。

表 3 - 4 - 1 - (2) 定期自主検査実施状況（放射線測定器類）

区分 施設名		定期自主検査		
		総合検査 (件)	校正 (件)	合計 (件)
安全管理部施設		474	474	948
再処理施設		490	490	980
核開発 燃料部 技術設	プルトニウム燃料 第一開発室	14	14	28
	ウラン 濃縮施設	52	52	104
再開 処理部 技術設	B棟	15	15	30
	C P F	59	59	118
	その他 応用試験棟	22	22	44
プルト ニウム 工場	プルトニウム燃料 第二開発室	12	12	24
	プルトニウム燃料 第三開発室	40	40	80
環境 施設部 施設	プルトニウム廃棄 物貯蔵施設	5	5	10
	プルトニウム廃棄 物処理開発 施設	81	81	162
	ウラン廃棄 物廃棄施設	27	27	54
核燃料サイクル工学研修室		67	67	134
総務課（PR館）		2	2	4
労務課（健康管理室）		9	9	18
合計		1369	1369	2738

\* 施設分類は、再処理施設及び核燃料物質使用施設保安規定に基づいて行っている。



表 3 - 4 - 1 - (3) 修理校正実施状況

分類	測定機器名	修理件数(件)			校正件数(件)			計
		7月	8月	9月	7月	8月	9月	
定置式モニタ類	ガンマ線エリアモニタ	1	0	0	0	0	0	1
	中性子線エリアモニタ	0	0	0	0	0	0	0
	アルファ線用空気モニタ	0	0	0	0	0	0	0
	ベータ線ダストモニタ	2	4	4	0	0	0	10
	プルトニウムダストモニタ	2	1	2	0	0	0	5
	排気モニタ	8	14	3	3	0	0	28
	臨界警報装置	2	1	2	0	0	0	5
出入管理モニタ	アルファ線用H・F・Cモニタ	41	42	23	0	0	0	106
	ベータ・ガンマ線用H・F・Cモニタ	5	5	0	0	0	0	10
	アルファ線用フットモニタ	11	10	0	0	0	0	21
	ゲートモニタ	0	1	1	0	0	0	2
サーベイメータ類	アルファ線用サーベイメータ	81	117	99	20	0	0	317
	GM管式サーベイメータ	1	2	6	0	0	0	9
	電離箱式サーベイメータ	1	12	3	21	14	13	64
	遠隔操作型ガンマ線用サーベイメータ	0	0	1	0	0	0	1
	中性子線用サーベイメータ	1	2	0	0	0	0	3
	ガンマ線用サーベイメータ	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0
	個人被ばく線量計	0	0	0	0	0	0	0
放射線測定装置類	放射能測定装置	2	4	2	0	0	0	8
	空気試料測定装置	0	6	1	0	0	0	7
	多重波高分析器	0	0	0	0	0	0	0
	振動容量電位計	0	0	0	0	0	0	0
	ガスモニタ	0	0	0	0	0	0	0
	その他	1	1	0	0	0	0	2
移動式モニタ類	アルファ線用空気モニタ	1	0	0	0	3	0	4
	ベータ・ガンマ線用空気モニタ	1	0	1	0	0	0	2
	可搬型測定装置	0	0	1	0	0	1	2
	その他	1	0	0	0	0	0	1
環境監視モニタ類	モニタリングステーション	1	1	0	0	0	0	2
	モニタリングポスト	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0
	パネル・デスク類	1	0	0	0	0	0	1
	記録計	1	2	0	0	0	0	3
	単体機器	0	1	0	2	1	0	4
	合計	165	226	149	46	18	14	618

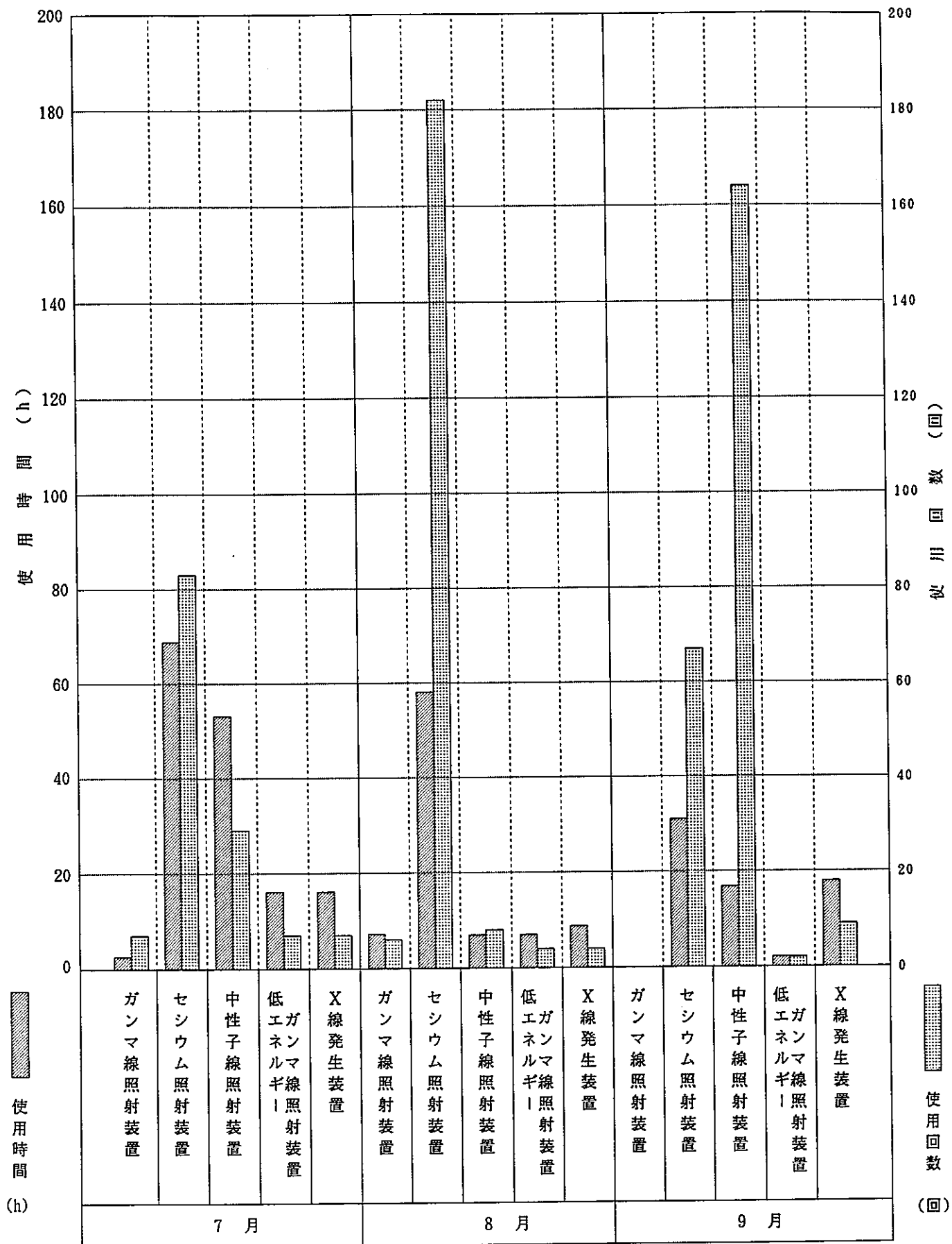


表3-4-2(1) 校正施設照明装置の使用状況

表 3 - 4 - 2 (2) 校正施設稼働状況

室区分 使用部門	7 月			8 月			9 月		
	照射室 A	照射室 B	低レベル 照射室	照射室 A	照射室 B	低レベル 照射室	照射室 A	照射室 B	低レベル 照射室
放射線管理第一課	74	25	4	179	18	0	62	18	2
放射線管理第二課	0	0	0	0	0	0	0	0	0
放射線安全課	0	0	0	0	0	0	0	0	0
安全対策課	7	2	0	3	0	0	8	1	0
環境安全課	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0

単位：使用目的別の回数（但し、同じ使用目的で1日使用した場合は半日の使用につき1回とする）

## 3.5 マスクマンテスト実施状況

前期に引き続き、再処理工場・プルトニウム燃料工場・核燃料技術開発部等施設の作業従事者等に対して、半面マスク・全面マスク着用時の漏れ率測定（マスクマンテスト）を実施した。実施状況を下記の表-3-5-1に示す。

表-3-5-1 マスクマンテスト実施一覧表

単位：人

施設名	マスクの種類	7月		8月		9月		合計	
		半面	全面	半面	全面	半面	全面	半面	全面
安全管理部	テスト者数	27	0	4	0	15	0	46	0
	合格者数	27	0	4	0	15	0	46	0
	不合格者数	0	0	0	0	0	0	0	0
建設工務管理室	テスト者数	0	0	0	0	0	0	0	0
	合格者数	0	0	0	0	0	0	0	0
	不合格者数	0	0	0	0	0	0	0	0
研究施設管理課	テスト者数	0	0	0	0	6	0	6	0
	合格者数	0	0	0	0	6	0	6	0
	不合格者数	0	0	0	0	0	0	0	0
核燃料技術開発部	テスト者数	3	0	6	0	7	0	16	0
	合格者数	3	0	6	0	7	0	16	0
	不合格者数	0	0	0	0	0	0	0	0
再処理技術開発部	テスト者数	10	0	16	0	6	0	32	0
	合格者数	10	0	16	0	6	0	32	0
	不合格者数	0	0	0	0	0	0	0	0
環境技術開発部	テスト者数	4	0	10	0	3	0	17	0
	合格者数	4	0	10	0	3	0	17	0
	不合格者数	0	0	0	0	0	0	0	0
再処理工場	テスト者数	164	0	94	0	26	0	284	0
	合格者数	164	0	94	0	26	0	284	0
	不合格者数	0	0	0	0	0	0	0	0
プルトニウム燃料工場	テスト者数	95	0	141	0	83	0	319	0
	合格者数	95	0	141	0	83	0	319	0
	不合格者数	0	0	0	0	0	0	0	0
環境施設部	テスト者数	66	0	45	0	48	0	159	0
	合格者数	66	0	45	0	48	0	159	0
	不合格者数	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	テスト者数	369	0	316	0	194	0	879	0
	合格者数	369	0	316	0	194	0	879	0
	不合格者数	0	0	0	0	0	0	0	0

## 4. 環 境 安 全

環境監視業務としては、再処理施設保安規定に基づく環境監視計画、茨城県環境放射線監視計画等に基づく①試料の採取及び前処理、②環境放射線の測定、③環境試料の放射化学分析及びGe半導体検出器を用いた機器分析測定、④「せいかい」による海洋調査、⑤気象観測、⑥環境監視データ処理等を実施するとともに、事業所内外からの依頼分析等を行った。

放出放射能監視業務としては、①再処理施設保安規定及び放射線障害予防規定に基づく再処理施設からの放射性排水の放出可否判定分析、②核燃料物質使用施設保安規定、放射線障害予防規定及び放射線保安規則に基づく各施設からの放射性排水の放出可否判定分析、③水質汚濁防止法及び茨城県公害防止条例に基づく一般公害物質の監視分析、④科学技術庁水戸原子力事務所及び茨城県公害技術センターによる立入りサンプリング並びにこれらの分析等を行った。

### 4.1 環境監視業務

#### 4.1.1 試料採取及び前処理

7月～9月に実施した定常の陸上環境試料及び海洋環境試料の採取並びに前処理の状況を、表4-1-1(1)及び表4-1-1(2)に示す。ただし、表中の区分にある国は再処理施設保安規定に基づく環境監視結果報告を、県は茨城県環境放射能測定データ報告を意味する。

表 4 - 1 - 1 (1) 陸上環境試料の採取

測定対象		区 域	採取点数	採 取 地 点	区 分	採 取 日	備 考
空間放射線	線量率	周辺監視区域内 周辺監視区域外	9点 3点	モニタリング・ポスト 7基 モニタリング・ステーション 5基	国・県 国・県	連 続	
	積算線量	周辺監視区域内 周辺監視区域外	15点 25点	モニタリング・ポスト (TLD使用)	国・県 国・県	1回/3か月	
空	浮遊じん	周辺監視区域内 周辺監視区域外	3点 4点	モニタリング・ステーション 4基 県公害技術センター他 3点	国・県 国	1回/週 1回/3か月	
		ヨウ素	周辺監視区域内 周辺監視区域外	1点 3点	モニタリング・ステーション	国 国	1回/週
気	気体状β放射能濃度	周辺監視区域内 周辺監視区域外	1点 3点	モニタリング・ステーション	国 国	連 続	
		水分	周辺監視区域外	2点	モニタリング・ステーション	国	1回/1か月
雨	水	周辺監視区域内	1点	安全管理棟屋上	国	1回/1か月	
降下	じん	周辺監視区域内	1点	安全管理棟屋上	国	1回/1か月	
飲 料 水	周辺監視区域内	1点	安全管理棟	国	7/1		
	周辺監視区域外	3点	東海村照沼 ひたちなか市長砂 西約10km地点	国 国 国	7/1 7/1 7/1		
葉 菜	周辺監視区域外	3点	東海村照沼 ひたちなか市長砂 西約10km地点	国 国・県 国	7/3 7/1 7/5	白 菜 キャベツ キャベツ	
精 米	周辺監視区域外	3点	東海村照沼 ひたちなか市長砂 西約10km地点	国 国・県 国	— — —		
牛 乳	周辺監視区域外	3点	東海村船場 ひたちなか市長砂 西約10km地点	国 国・県 国	採取不能 7/3 7/8		
表 土	周辺監視区域内	2点	安全管理棟 前東棟	国 国	— —		
	周辺監視区域外	3点	東海村照沼 ひたちなか市長砂 ひたちなか市東石川	国 国・県 国	— — —		
河 川 水	周辺監視区域外	4点	新川上 新川中 新川下 久慈川上	国 国 国・県 国	— — — —		
河 底 土	周辺監視区域外	4点	新川上 新川中 新川下 久慈川上	国 国 国・県 国	— — — —		
湖 沼 水	周辺監視区域外	1点	阿漕ヶ浦	県	—		

表 4 - 1 - 1 (2) 海洋環境試料の採取

測定対象	採取地点	採取点数	区分	採取日	備考
海水	放出口付近 5 点混合 久慈沖 磯崎沖 北約 20 km 点	1 点 1 点 1 点	国 国 国 国	7 / 5 7 / 12 7 / 4 7 / 12	
	F 海域 7 点混合 H 海域 7 点混合 P 海域 5 点混合		県 県 県	7 / 1 7 / 1 7 / 1	
	詳細海水	30点	県	7/15, 8/9, 9/4	
海底土	放出口付近 5 点混合 久慈沖 磯崎沖 北約 20 km 点	1 点 1 点 1 点	国 国 国 国	_____ _____ _____ _____	
	F 海域 7 点混合 H 海域 7 点混合 P 海域 5 点混合		県 県 県	7 / 2 7 / 2 7 / 1	
	久慈浜海岸 阿字ヶ浦海岸 北約 20 km 点 南約 20 km 点	1 点 1 点 1 点 1 点	国 国 国 国	_____ _____ _____ _____	
海岸砂	久慈浜海岸 阿字ヶ浦海岸	1 点 1 点	県 県	_____ _____	
海産生物	シラス 東磯崎地先 約 10 km 以遠	1 点 1 点 1 点	国・県 県 国	7 / 17 7 / 15 7 / 17	
	カレイ 又は ヒラメ 東磯崎地先 約 10 km 以遠	1 点 1 点 1 点	国・県 県 国	8 / 1 9 / 5 9 / 12	カレイ カレイ カレイ
	貝類 久慈浜地先 磯崎地先 約 10 km 以遠	1 点 1 点 1 点	国・県 県 国	7 / 6, 7 / 15 8 / 19 8 / 2	ハマグリ, アワビ アワビ ハマグリ
	ワカメ 又は ヒジキ 久慈浜地先 磯崎地先 約 10 km 以遠	1 点 1 点 1 点	国・県 国・県 国	7 / 1, 8 / 1 7 / 3 7 / 4	アラメ, ワカメ アラメ アラメ
漁網	東磯崎地先に於いて 「せいかい」曳航の漁網		国・県	6 / 28 ~ 9 / 30	曳航時間 24時間
船体	「せいかい」甲板		国	6 / 28 ~ 9 / 30	

4.1.2 環境放射能分析

7月～9月の再処理施設保安規定及び茨城県環境放射線監視計画に基づく環境監視結果、事業所内外からの依頼分析件数は、表4-1-2(1)及び表4-1-2(2)に示すとおりであった。

表4-1-2(1) 環境試料の分析件数 (Ge半導体検出器を用いた機器分析) 単位：件

測定対象			試料数	核種								
				<sup>54</sup> Mn	<sup>60</sup> Co	<sup>95</sup> Zr	<sup>95</sup> Nb	<sup>106</sup> Ru	<sup>131</sup> I	<sup>134</sup> Cs	<sup>137</sup> Cs	<sup>144</sup> Ce
陸上環境試料	空	浮遊じん	7	4	4	4	4	4			7	4
	気	ヨウ素	52						52			
	葉	菜	3						3		1	
	精	米										
	牛	乳	2						2			
	表	土										
	河	底土										
海洋環境試料	海	水	2					2		2	2	2
	詳	細海水	21								21	
	海	底土	4	3	3	3	3	3			3	3
	海	岸水										
	海	岸砂	2	2	2			2			2	2
	海	産生物	17	12	12	12	12	17		9	17	17
そ の 他												
計			110	21	21	19	19	21	57	11	45	21



表 4 - 1 - 2 (2) 環境試料の分析件数 (放射化学分析)

単位：件

測定対象			試料数	核種							計	
				全 $\alpha$	全 $\beta$	$^3\text{H}$	$^{14}\text{C}$	$^{90}\text{Sr}$	U	$^{238}\text{Pu}$		$^{239}\text{Pu}$ + $^{240}\text{Pu}$
陸上環境試料	空	浮遊じん	91	91	91			7			7	196
	気	水分	6			6						6
	雨	水	3			3						3
	降	下じん	3		3							3
	飲	料水	4		4	4						8
	葉	菜										
	精	米										
	牛	乳										
	表	土										
	河	川水										
	河	底土										
	湖	沼水										
海洋環境試料	海	水	7		4	7		2			2	15
	海	底土	3					3			3	6
	海	岸水	4		4	4						8
	海	産生物	17					17			17	34
	詳	細海水	90		90	90						180
その他	事業所内 (飲料水)	65	65	13								78
	大洗(海産物)	2					2				2	2
	(牛乳)	1					1				1	1
	(海水)	2					2				2	2
	(海底土)	2					2				2	2
計			300	156	209	114		36			29	544

## 4.1.3 海洋観測及びモニタリング船「せいかい」の活動

- 1) 海洋観測実施を、表4-1-3に示す。
- 2) 東海村沿岸海域の海洋拡散調査の一環として、再処理工場廃液の海洋拡散基礎データの収集を目的として放出口周辺における海象（水温、塩分、流向及び流速）の連続観測を電磁流向流速計（ACM16M-4）を使用して継続実施した。
- 3) 当期の海洋観測における出航回数は、15回であった。

表4-1-3 モニタリング船「せいかい」の運航状況

No	出航年月日	業務内容
15	平成8. 7. 1	県監視計画による海域の海水、海底土採取
16	7. 2	県監視計画による海域の海底土採取
17	7. 3	原研（東海）受託による海水、海底土採取
18	7. 4	原研（大洗）受託、動燃（大洗）依頼による大洗沖の海水、海底土採取 再処理保安規定に基づく磯崎沖の海水採取
19	7. 5	再処理保安規定に基づく放出口周辺海域の海水採取
20	7. 12	再処理保安規定に基づく北20km点及び久慈沖の海水採取
21	7. 15	東海沖の海洋環境影響詳細調査
22	7. 16	「せいかい」ドックのための回航
23	7. 17	「せいかい」ドックのための回航
24	7. 29	東海沖の海洋調査（水温、塩分、密度の水平観測） チャータ船による
25	平成8. 8. 9	東海沖の海洋環境影響詳細調査（チャータ船による）
26	8. 21	東海沖の海洋調査（水温、塩分、密度の水平観測） チャータ船による
27	平成8. 9. 4	東海沖の海洋環境影響詳細調査（チャータ船による）
28	9. 26	「せいかい」ドック終了による回航
29	9. 27	「せいかい」ドック終了による回航

4.1.4 気象観測

当期実施した気象観測項目を、表4-1-4に示す。

表4-1-4 気象観測一覧

観測場所	観測項目		観測場所	観測項目	
気象 観測塔	微風計 (塔頂)	風向	安全管理 棟付近	微風計 (地上10m)	風向
		風速			風速
	風速計 (塔頂)	風向		日射量・放射収支量	
		風速		大気安定度	
	気温 (地上1.5m)			降雨量	
	气温差 (地上10m塔頂)			気温	
		湿度			
		定時観測	気温(低温・最高)		
			湿度		
		天気			

4.1.5 環境データ処理状況

当期の環境データ処理装置の稼働状況を、表4-1-5に示す。

表4-1-5 環境データ処理装置の稼働状況

	7月	8月	9月
電源投入時間(時間)	144.68	115.78	398.97
CPU時間(時間)	2.75	2.93	17.13
コネクト時間(時間)	1972.15	1589.19	5604.80
ダウン時間(時間)	0.0	0.0	0.0
定検時間(時間)	2.0	2.0	2.0
セッション回数	814	639	689
出力ライン数	74314	85494	417687

## 4.2 放出放射能監視業務

### 4.2.1 排水中の放射性物質及び一般公害物質の監視結果

東海事業所から環境へ放出する放射性排水の放出系統は、海洋放出系（再処理施設から海中放出管を經由して海洋へ放出する系統）、第一排水溝系（中央廃水処理場から調整池を經由して第一排水溝から新川へ放出する系統）及び第二排水溝系（核燃料技術開発部プルトニウム燃料第一開発室から第二排水溝を經由して海洋へ放出する系統）の3系統があり、各施設からそれぞれの系統に放出する排水中の放射性物質及び一般公害物質の分析・監視を行った。

その結果、いずれの排水溝においても基準値を下回っており問題は無かった。表4-2-1に、放出排水中の放射性物質及び一般公害物質の分析結果の概要を示す。

#### 1) 海洋放出系排水（再処理施設海洋放出排水）

再処理施設からの海洋放出排水については、放出バッチごとに放射性物質及び一般公害物質の測定を実施し、放出可否判定を行った。測定項目は、放射性物質については全 $\alpha$ 放射能、全 $\beta$ 放射能、 $\gamma$ スペクトル（核種分析）及び $^3\text{H}$ 、一般公害物質についてはpH、SS、COD及び油分である。さらに、月間合成試料を調製し、ストロンチウム、ヨウ素、ウラン及びプルトニウムの核種分析を実施した。分析結果は、再処理保安規定に定められている放出基準値を十分下回っていた。

#### 2) 第一排水溝系排水（中央廃水処理場放出排水）

中央廃水処理場から放出する排水は、排水溝に設置した自動コンポジットサンブラにより週毎に連続採取し、全 $\alpha$ 放射能、全 $\beta$ 放射能、 $^3\text{H}$ 、pH及びフッ素の分析を実施した。

また、月間合成試料を調整し、 $\gamma$ スペクトロメトリ（核種分析）、ウラン及びプルトニウムの分析・監視を実施した。

中央廃水処理場へ送水している各施設の排水については、放出バッチごとに放射性物質及び一般公害物質の測定を実施し、放出可否判定を行った。

第一排水溝における放射性物質濃度は、中央廃水処理場からの放射性排水が調整池で一般雑排水と混合希釈されるため、中央廃水処理場からの放射性物質の放出量に、調整池での一般雑排水による希釈率を乗じて計算によって求めた。

分析結果は、核燃料物質使用施設保安規定に定められている基準値を十分下回っていた。

3) 第二排水溝（プルトニウム燃料第一開発室海洋放出排水）

核燃料技術開発部プルトニウム燃料第一開発室からの海洋放出排水は、放出バッチごとに放射性物質及び一般公害物質の測定を実施し、放出可否判定を行った。測定項目は、全 $\alpha$ 放射能及び全 $\beta$ 放射能、一般公害物質についてはpH、SS、COD及び油分である。さらに、月間合成試料を調整し、プルトニウム及びウランの核種分析を実施した。分析結果は、核燃料物質使用施設保安規定に定める基準値を十分下回っていた。また、放出水量は県漁連との覚書きに定めた放出水量以下であることを確認した。

表 4 - 2 - 1 放出排水中の放射性物質及び一般公害物質の分析結果

排水溝	3 カ月間における 施設 最大濃度	全α放射能	全β放射能	<sup>3</sup> H	γ-sp	濃度 限度比	pH	SS	COD	油分	フッ素
		Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>			mg/ℓ	mg/ℓ	mg/ℓ	mg/ℓ
海中 放出管	再処理施設	<1.1×10 <sup>-3</sup>	<2.2×10 <sup>-2</sup>	8.0×10 <sup>2</sup>	2.4×10 <sup>-3</sup>	/	7.0	3.0	11	0.8	—
		( <1.1×10 <sup>-3</sup> )	( <2.2×10 <sup>-2</sup> )	( 2.8×10 <sup>2</sup> )	( 1.9×10 <sup>-3</sup> ) ( <sup>137</sup> Cs)		8.2	( 1.5 )	( 3.0 )	( 0.5 )	
第2排水溝	核燃料技術開発部 R-4室	2.7×10 <sup>-4</sup>	<2.2×10 <sup>-3</sup>	—	—	0.17	7.0	5.8	8.3	0.6	—
		( 1.3×10 <sup>-4</sup> )	( <2.2×10 <sup>-3</sup> )			0.34	7.8	( 3.7 )	( 5.4 )	( 0.5 )	
第1排水溝	核燃料技術開発部 燃料製造機器試験室	<1.0×10 <sup>-4</sup>	<2.2×10 <sup>-3</sup>	—	—	0.17	7.2	—	—	—	—
	核燃料技術開発部 廃水処理室	5.7×10 <sup>-4</sup>	<2.2×10 <sup>-3</sup>	—	—	0.17 0.64	7.2 7.5	—	—	—	1.2 ( 0.33 )
	プルトニウム燃料工場 第2洗濯室	<1.0×10 <sup>-4</sup>	<2.2×10 <sup>-3</sup>	—	—	0.17	7.0 8.0	—	—	—	—
	プルトニウム燃料工場 第3洗濯室	<1.0×10 <sup>-4</sup>	<2.2×10 <sup>-3</sup>	—	—	0.17	7.1 7.5	—	—	—	—
	再処理技術開発部 A棟	<1.0×10 <sup>-4</sup>	<2.2×10 <sup>-3</sup>	—	—	0.17	6.4 7.3	—	—	—	2.0 ( 0.98 )
	再処理技術開発部 B棟	<1.0×10 <sup>-4</sup>	<2.2×10 <sup>-3</sup>	—	<1.4×10 <sup>-3</sup> ( <sup>129</sup> I)	0.31	6.5	—	—	—	—
	再処理技術開発部 応用試験棟	<1.0×10 <sup>-4</sup>	<2.2×10 <sup>-3</sup>	<3.7	—	0.24	7.3 7.6	—	—	—	—
	環境施設部 焼却施設	9.2×10 <sup>-4</sup>	<2.2×10 <sup>-3</sup>	—	—	0.36 0.99	7.3 7.5	—	—	—	4.9 ( 4.3 )
	環境施設部 洗濯場	<1.0×10 <sup>-4</sup>	<2.2×10 <sup>-3</sup>	—	—	0.17	7.3 7.5	—	—	—	—
	環境施設部 中央廃水処理場	6.6×10 <sup>-4</sup>	<2.2×10 <sup>-3</sup>	—	—	0.33 0.73	7.2 7.6	—	—	—	—
	環境施設部 ウラン系廃棄物貯蔵施設	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	安全管理部 安全管理棟	<1.0×10 <sup>-4</sup>	<2.2×10 <sup>-3</sup>	<3.7	—	0.24	6.4 8.4	—	—	—	—
	中央廃水処理場	3.1×10 <sup>-4</sup>	2.2×10 <sup>-4</sup>	<3.7	不検出	0.17 0.38	6.5 7.6	—	—	—	1.2 ( 0.35 )
	第1排水溝	1.0×10 <sup>-5</sup>	8.6×10 <sup>-5</sup>	<3.7	—	/	—	—	—	—	—
	( 5.8×10 <sup>-5</sup> )	( 6.3×10 <sup>-5</sup> )	( <3.7 )								

注1. 表中の濃度は、3カ月間における最大濃度を示す。( )内は3カ月間における平均濃度を示す。なお pHについては範囲を示す。  
 注2. 平均濃度は、放射性物質については実測量に不検出量を加えて排水量で除した値、一般公害物質については算術平均(検出限界値未満については検出限界値を用いた)した値を示す。  
 注3. 第1排水溝の値は、中央廃水処理場の測定結果から第1排水溝での希釈倍率を乗じて計算によって求めた。  
 注4. 今期の希釈倍率(第1排水溝の排水量/中央廃水処理場の排水量)は、約2.9倍であった。  
 注5. 中央廃水処理場のγ-sp測定結果は、全て検出限界値未満であったため「不検出」と表示した。  
 注6. 濃度限度比は、各分析項目の測定値または検出限界値を基準値で除した値を合計したもので、最小値から最大値を示す。

## 4.2.2 排気中放射性物質の分析

各施設の排気筒から環境中に放出される放射性物質の放出量の監視は、放射線管理担当課が実施しているが、放射線管理担当課の依頼により再処理施設、CPF施設及びプルトニウム燃料工場の排気試料について分析を実施した。これらの分析項目と分析件数を、表4-2-2に示す。

表4-2-2 排気試料の分析件数

単位：件

施設	分析項目	$^3\text{H}$	$^{14}\text{C}$	I	Pu	U	Sr	$\gamma$ -SP	その他	合計	取り扱い試料数
環境放出管理	再処理施設	53	78	620	—	—	—	—	—	751	631
	CPF施設	26	—	—	—	—	—	—	—	26	26
	プルトニウム燃料工場	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	核燃料技術開発部	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	再処理技術開発部	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	環境施設部	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	その他	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
分析依頼	再処理施設	—	—	—	2	2	2	2	—	8	8
	CPF施設	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	プルトニウム燃料工場	—	—	—	4	—	—	—	—	4	4
	核燃料技術開発部	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	再処理技術開発部	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	環境施設部	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	その他	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計		79	78	620	6	2	2	2	—	789	669
対照試料分析件数		—	13	—	—	—	—	—	—	13	—
合計		79	91	620	6	2	2	2	—	802	669

#### 4.2.3 外部機関による立入サンプリング時の試料分析

外部機関として県公害技術センター及び水戸原子力事務所による立入りサンプリングは、毎月1回実施されている。これらのサンプリングに対応し、同時サンプリングを行い、試料の分析を実施した。

今期、県公害技術センターによる立入りサンプリングは、7月1日、8月1日及び9月2日に第一排水溝及び第二排水溝について行われた。再処理工場については、排水放出試料（SD-073、SD-081、SD-083、SD-091）を県公害技術センターへ提出した。

水戸原子力事務所による立入りサンプリングは、7月24日、8月27日及び9月25日に第一排水溝・新川合流点及び村松海岸において実施した。

立入りサンプリング試料の分析結果は、全て再処理施設保安規定及び核燃料物質使用施設保安規定に定められている放出基準値並びに茨城県環境放射線監視計画に定められた排出基準値を十分下回っていた。



## 4.3 内部被ばく管理（バイオアッセイ）

## 4.3.1 定常バイオアッセイ

7月～9月に実施した定常のバイオアッセイの対象施設及び件数は表4-3-1のとおりであった。

表4-3-1 定常バイオアッセイ件数

施設名	試料	核種	件数
再処理工場処理部 化学処理1課	尿	Pu	9名
工務部 技術課			5名
分析課			10名
再処理工場処理部 化学処理2課	尿	U	14名
工務部 技術課			5名
分析課			8名
核燃料技術開発部 遠心法設計開発室			5名
新型濃縮技術開発室			4名
再処理技術開発部 機器材料開発室			1名
アチンドプロセス 分析開発室			3名
環境施設部 処理第二課			3名
合計			

## 5. 個人被ばく管理

### 5.1 放射線業務従事者の被ばく管理

#### 5.1.1 実効線量当量

平成8年度第2四半期における実効線量当量の分布を、表5-1-1に示す。今四半期の管理対象人数は4,345名で、このうち1か月管理対象者は422名であった。今四半期の集団線量当量は0.3349人・シーベルト、個人最高はプルトニウム燃料工場工程内滞留低減対策班における5.4ミリシーベルトであり、保安規定等に定める管理基準値を超える者はなかった。

#### 5.1.2 組織線量当量

##### (1) 皮膚

今四半期の線量分布を、表5-1-2(1)に示す。管理対象人数は4,345名、個人最高はプルトニウム燃料工場工程内滞留低減対策班における5.4ミリシーベルトであり、保安規定等に定める管理基準値を超える者はなかった。

##### (2) 手部(β線+γ線)

今四半期のβ・γ線用指リング線量計着用者の線量分布を、表5-1-2(2)に示す。管理対象人数は403名、個人最高は環境施設部処理第三課における3.8ミリシーベルトであり、保安規定等に定める管理基準値を超える者はなかった。

##### (3) 手部(γ線)

今四半期のγ線用指リング線量計着用者の線量分布を、表5-1-2(3)に示す。管理対象人数は751名、個人最高はプルトニウム燃料工場工程内滞留低減対策班における23.1ミリシーベルトであり、保安規定等に定める管理基準値を超える者はなかった。

### 5.2 外部被ばく管理

#### 5.2.1 放射線業務従事者の外部被ばく管理

今四半期の外部被ばくのみによる実効線量当量は、5.1.1で述べた内容と同一であり、分布表の掲載は省略する。

#### 5.2.2 一時立入者の被ばく管理

今四半期の管理区域内一時立入者の測定結果を、表5-2-2に示す。総人数は2,620名であり、全員検出限界値未満であった。

#### 5.2.3 作業モニタリング

今四半期の特殊放射線作業等に伴う作業モニタリングの状況を、表5-2-3に示す。

### 5.3 内部被ばく管理

#### 5.3.1 定常モニタリング

今四半期の実施状況を、表5-3-1に示す。

##### (1) バイオアッセイ

プルトニウムを取り扱う放射線業務従事者24名、ウランを取り扱う放射線業務従事者41名についてバイオアッセイを実施した結果、全員異常は認められなかった。

##### (2) 全身カウンタ

再処理工場及びC P Fの放射線業務従事者について、年1回の定期測定及び入退所時の測定、また一時立入者のうちアンバー区域立入者に対する立入前後の測定を実施した結果、全員異常は認められなかった。

##### (3) 肺モニタ

プルトニウムを取り扱う放射線業務従事者6名について肺モニタ測定を実施した結果、全員異常は認められなかった。

### 5.4 線量当量測定結果の報告、通知、登録関係業務

#### 5.4.1 放射線従事者中央登録制度関係業務

今四半期に東海事業所から放射線従事者中央登録センターに対して行った各種申請の件数をまとめて表5-4-1(1)に、また放射線業務従事者の指定・解除処理件数、及び請負業者あてに送付した個人被ばく歴報告書の送付件数を、表5-4-1(2)に示す。

## 5.5 個人線量計等の管理

今四半期における東海事業所の個人線量計に係る定期点検の実施状況を、表5-5に示す。また、TLDリーダー（手動型7台、自動型2台）についても、定期的（1回/月）に感度校正等の点検を実施した。

## 5.6 特記事項

### 5.6.1 その他の線量測定

#### (1) 作業環境及び施設周辺の積算線量の測定

今四半期に実施した作業環境及び施設周辺環境の積算線量測定件数の内訳を、表5-6-1に示す。

### 5.6.2 外部機関の線量当量測定

今四半期ATSの24名、玉造部材検査所の10名及び核物質管理室5名に対して線量当量の測定を実施した。

表5-1-1 実効線量当量

測定期間:平成8年7月1日～平成8年9月30日

線量分布		管理対人数	検出限界未満	0.1mSv以上 1.3mSv以下	1.3mSvを超え 3.7mSv以下	3.7mSvを超え 13.0mSv以下	13.0mSvを超え 50.0mSv以下	50.0mSvを 超える	集団線量 当量 (人・Sv)	一人当た りの平均 (mSv)	一人当た りの最大 (mSv)
部課室名		(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)			
東海事業所		5 (0)	5 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0000	0.0	0.0
安全管理部	安全対策課	33 (18)	33 (18)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0000	0.0	0.0
	環境安全課	33 (19)	33 (19)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0000	0.0	0.0
	放射線管理第一課	129 (100)	127 (98)	2 (2)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0002	0.0	0.1
	放射線管理第二課	80 (71)	80 (71)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0000	0.0	0.0
	安全技術課	2 (0)	2 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0000	0.0	0.0
	放射線安全課	68 (39)	66 (38)	2 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0002	0.0	0.1
部 合 計		345 (247)	341 (244)	4 (3)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0004	0.0	0.1
核燃料サイクル工学研修室		38 (25)	38 (25)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0000	0.0	0.0
管理部 総務課		22 (17)	22 (17)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0000	0.0	0.0
建設工務管理室		20 (2)	20 (2)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0000	0.0	0.0
技術開発部	研究開発調整室	4 (0)	4 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0000	0.0	0.0
	核物質管理室	5 (0)	5 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0000	0.0	0.0
	品質保証室	26 (6)	26 (6)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0000	0.0	0.0
	保障措置室	67 (62)	63 (58)	4 (4)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0012	0.0	0.4
	部 合 計	102 (68)	98 (64)	4 (4)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0012	0.0	0.4
ブルトニウム 燃料工場	管 理 課	102 (69)	81 (52)	21 (17)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0052	0.1	0.5
	設 備 課	216 (197)	209 (190)	7 (7)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0051	0.0	4.0
	検 査 課	135 (108)	102 (77)	33 (31)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0111	0.1	1.1
	燃料製造施設建設室	57 (36)	56 (36)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0002	0.0	0.2
	工程内滞留低減対策班	82 (74)	39 (31)	29 (29)	10 (10)	4 (4)	0 (0)	0 (0)	0.0636	0.8	5.4
	転 換 課	149 (127)	115 (100)	24 (17)	10 (10)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0314	0.2	2.4
	製 造 課	399 (350)	213 (181)	146 (130)	39 (38)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	0.1667	0.4	3.8
	加 工 課	66 (48)	52 (36)	13 (11)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0049	0.1	1.4
	工 場 合 計	1,206 (1,009)	867 (703)	274 (242)	60 (59)	5 (5)	0 (0)	0 (0)	0.2882	0.2	5.4
再処理工場	管 理 課	46 (13)	46 (13)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0000	0.0	0.0
	前 処 理 課	115 (74)	95 (60)	20 (14)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0068	0.1	0.5
	化学処理第一課	133 (55)	121 (47)	12 (8)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0021	0.0	0.3
	化学処理第二課	164 (94)	140 (81)	24 (13)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0039	0.0	0.3
	化学処理第三課	161 (111)	146 (99)	15 (12)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0022	0.0	0.2
	技 術 課	336 (289)	330 (283)	6 (6)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0015	0.0	0.5
	分 析 課	183 (131)	116 (85)	67 (46)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0179	0.1	0.8
工 場 合 計	1,138 (767)	994 (668)	144 (99)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0344	0.0	0.8	
研究施設管理課		67 (56)	66 (55)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0001	0.0	0.1
核燃料技術部	ブルトニウム燃料開発室	74 (44)	60 (32)	14 (12)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0023	0.0	0.5
	先端技術開発室	13 (3)	13 (3)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0000	0.0	0.0
	遠心法設計開発室	79 (41)	79 (41)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0000	0.0	0.0
	新型濃縮技術開発室	61 (38)	61 (38)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0000	0.0	0.0
	燃料製造プロセス開発室	52 (35)	33 (20)	19 (15)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0079	0.2	1.2
部 合 計	279 (161)	246 (134)	33 (27)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0102	0.0	1.2	
再処理工場 技術開発部	プラント設計開発室	8 (0)	8 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0000	0.0	0.0
	機器材料開発室	26 (10)	26 (10)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0000	0.0	0.0
	アクチニドプロセス分析開発室	93 (65)	93 (65)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0000	0.0	0.0
部 合 計	127 (75)	127 (75)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0000	0.0	0.0	
環境技術部	環境技術第一開発室	14 (5)	14 (5)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0000	0.0	0.0
	環境技術第二開発室	93 (76)	93 (76)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0000	0.0	0.0
	地層処分開発室	21 (10)	21 (10)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0000	0.0	0.0
	部 合 計	128 (91)	128 (91)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0000	0.0	0.0
環境施設部	技 術 課	134 (109)	134 (109)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0000	0.0	0.0
	処 理 第 一 課	215 (200)	213 (198)	2 (2)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0004	0.0	0.2
	処 理 第 二 課	246 (229)	246 (229)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0000	0.0	0.0
	処 理 第 三 課	273 (237)	273 (237)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0000	0.0	0.0
	部 合 計	868 (775)	866 (773)	2 (2)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0004	0.0	0.2
総 合 計		4,345 (3,293)	3,818 (2,851)	462 (378)	60 (59)	5 (5)	0 (0)	0 (0)	0.3349	0.1	5.4

括弧内は内数で外来者(請負作業、業務協力員等)を示す。外部被ばくの検出限界は0.1mSvである。

表5-1-2(1) 組織線量当量・皮膚

測定期間:平成8年7月1日~平成8年9月30

線量分布		管理対象 人数 (人)	1.0mSv未満 (人)	1.0mSv以上 13mSv以下 (人)	13mSvを超え 37mSv以下 (人)	37mSvを超え 130mSv以下 (人)	130mSvを超え 500mSv以下 (人)	500mSvを 超える (人)	一人当 たりの最大 (mSv)	備 考
東海事業所		5 (0)	5 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0	
安全管理部	安全対策課	33 (18)	33 (18)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0	
	環境安全課	33 (19)	33 (19)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0	
	放射線管理第一課	129 (100)	129 (100)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.1	
	放射線管理第二課	80 (71)	80 (71)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0	
	安全技術課	2 (0)	2 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0	
	放射線安全課	68 (39)	68 (39)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.1	
部 合 計		345 (247)	345 (247)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.1	
核燃料サイクル工学研修室		38 (25)	38 (25)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0	
管理部 総務課		22 (17)	22 (17)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0	
建設工務管理室		20 (2)	20 (2)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0	
技術開発部	研究開発調整室	4 (0)	4 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0	
	核物質管理室	5 (0)	5 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0	
	品質保証室	26 (6)	26 (6)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0	
	保障措置室	67 (62)	67 (62)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.4	
	部 合 計	102 (68)	102 (68)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.4	
ブルトニウム 燃料工場	管 理 課	102 (69)	102 (69)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.5	
	設 備 課	216 (197)	214 (195)	2 (2)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1.0	
	検 査 課	135 (108)	134 (107)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1.1	
	燃料製造施設建設室	57 (36)	57 (36)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.2	
	工程内滞留低減対策班	82 (74)	55 (47)	27 (27)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	5.4	
	転 換 課	149 (127)	134 (113)	15 (14)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2.4	
	製 造 課	399 (350)	329 (282)	70 (68)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	3.8	
	加 工 課	66 (48)	64 (46)	2 (2)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1.4	
	工 場 合 計	1,206 (1,009)	1,089 (895)	117 (114)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	5.4	
再処理工場	管 理 課	46 (13)	46 (13)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0	
	前 処 理 課	115 (74)	115 (74)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.5	
	化学処理第一課	133 (55)	133 (55)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.3	
	化学処理第二課	164 (94)	164 (94)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.3	
	化学処理第三課	161 (111)	161 (111)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.2	
	技 術 課	336 (289)	336 (289)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.5	
	分 析 課	183 (131)	183 (131)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.8	
工 場 合 計	1,138 (767)	1,138 (767)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.8		
研究施設管理課		67 (56)	67 (56)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.1	
核燃料技術部	ブルトニウム燃料開発室	74 (44)	74 (44)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.5	
	先端技術開発室	13 (3)	13 (3)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0	
	遠心法設計開発室	79 (41)	79 (41)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0	
	新型濃縮技術開発室	61 (38)	61 (38)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0	
	燃料製造プロセス開発室	52 (35)	49 (32)	3 (3)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1.2	
	部 合 計	279 (161)	276 (158)	3 (3)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1.2	
再処理技術部	プラント設計開発室	8 (0)	8 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0	
	機器材料開発室	26 (10)	26 (10)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0	
	アクチニドプロセス分析開発室	93 (65)	93 (65)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0	
部 合 計		127 (75)	127 (75)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0	
環境技術部	環境技術第一開発室	14 (5)	14 (5)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0	
	環境技術第二開発室	93 (76)	93 (76)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0	
	地層処分開発室	21 (10)	21 (10)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0	
	部 合 計	128 (91)	128 (91)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0	
環境施設部	技 術 課	134 (109)	134 (109)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0	
	処 理 第 一 課	215 (200)	215 (200)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.2	
	処 理 第 二 課	246 (229)	246 (229)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0	
	処 理 第 三 課	273 (237)	273 (237)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0	
	部 合 計	868 (775)	868 (775)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.2	
総 合 計		4,345 (3,293)	4,225 (3,176)	120 (117)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	5.4	

括弧内は内数で外来者(請負作業員、業務協力員等)を示す。

表 5 - 1 - 2 (2) 組織線量当量・手部 (β + γ)

測定期間:平成8年7月1日~平成8年9月30日

線量分布		管理対象人数	検出限界未満	3mSv以上 13mSv以下	13mSvを超え 37mSv以下	37mSvを超え 130mSv以下	130mSvを超え 500mSv以下	500mSvを 超える	一人当たりの最大 (mSv)	備考
部課室名		(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)		
東海事業所		0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0	
安全管理部	安全対策課	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0	
	環境安全課	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0	
	放射線管理第一課	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0	
	放射線管理第二課	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0	
	安全技術課	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0	
	放射線安全課	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0	
部 合 計		0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0	
核燃料サイクル工学研修室		0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0	
管理部 総務課		0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0	
建設工務管理室		0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0	
技術開発部	研究開発調整室	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0	
	核物質管理室	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0	
	品質保証室	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0	
	保障措置室	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0	
部 合 計		0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0	
プルトニウム 燃料工場	管 理 課	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0	
	設 備 課	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0	
	検 査 課	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0	
	燃料製造施設建設室	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0	
	工程内滞留低減対策班	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0	
	転 換 課	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0	
	製 造 課	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0	
	加 工 課	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0	
工 場 合 計		0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0	
再処理工場	管 理 課	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0	
	前 処 理 課	24 (16)	24 (16)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0	
	化学処理第一課	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0	
	化学処理第二課	31 (17)	31 (17)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0	
	化学処理第三課	16 (16)	16 (16)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0	
	技 術 課	16 (13)	16 (13)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0	
	分 析 課	125 (77)	124 (77)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	3.3	
工 場 合 計		212 (139)	211 (139)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	3.3	
研究施設管理課		22 (21)	22 (21)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0	
核燃料技術 開発部	プルトニウム燃料開発室	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0	
	先端技術開発室	3 (1)	3 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0	
	遠心法設計開発室	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0	
	新型濃縮技術開発室	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0	
	燃料製造プロセス開発室	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0	
部 合 計		3 (1)	3 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0	
再処理工場 技術開発部	プラント設計開発室	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0	
	機器材料開発室	1 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0	
	アクチニドプロセス分析開発室	82 (62)	82 (62)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0	
	部 合 計		83 (62)	83 (62)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0
環境技術 開発部	環境技術第一開発室	7 (5)	7 (5)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0	
	環境技術第二開発室	21 (13)	21 (13)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0	
	地層処分開発室	18 (10)	18 (10)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0	
	部 合 計		46 (28)	46 (28)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0
環境施設部	技 術 課	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0	
	処 理 第 一 課	22 (19)	22 (19)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0	
	処 理 第 二 課	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0	
	処 理 第 三 課	15 (12)	14 (11)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	3.8	
	部 合 計		37 (31)	36 (30)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	3.8
総 合 計		403 (282)	401 (281)	2 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	3.8	

括弧内は内数で外来者(請負作業員、業務協力員等)を示す。検出限界は3.0mSvである。

表5-1-2(3) 組織線量当量・手部(γ)

測定期間:平成8年7月1日~平成8年9月30日

線量分布		管理対象人数	検出限界未満	0.2mSv以上 13mSv以下	13mSvを超え 37mSv以下	37mSvを超え 130mSv以下	130mSvを超え 500mSv以下	500mSvを 超える	一人当たりの最大 (mSv)	備考
部署名		(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)		
東海事業所		0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0	
安全管理部	安全対策課	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0	
	環境安全課	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0	
	放射線管理第一課	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0	
	放射線管理第二課	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0	
	安全技術課	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0	
	放射線安全課	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0	
	部 合 計	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0	
核燃料サイクル工学研修室		0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0	
管理部 総務課		0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0	
建設工務管理室		0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0	
技術開発部 推進部	研究開発調整室	1 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0	
	核物質管理室	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0	
	品質保証室	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0	
	保障措置室	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0	
	部 合 計	1 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0	
プルトリウム 燃料工場	管 理 課	52 (41)	36 (27)	16 (14)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	3.3	
	設 備 課	29 (23)	27 (21)	2 (2)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.5	
	検 査 課	85 (66)	31 (17)	54 (49)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	10.8	
	燃料製造施設建設室	1 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	3.2	
	工程内滞留低減対策班	70 (66)	25 (22)	41 (40)	4 (4)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	23.1	
	転 換 課	45 (33)	11 (7)	28 (20)	6 (6)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	17.6	
	製 造 課	259 (212)	79 (48)	155 (140)	25 (24)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	21.8	
	加 工 課	42 (26)	28 (14)	14 (12)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2.5	
工 場 合 計	583 (467)	237 (156)	311 (277)	35 (34)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	23.1		
再処理工場	管 理 課	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0	
	前 処 理 課	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0	
	化学処理第一課	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0	
	化学処理第二課	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0	
	化学処理第三課	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0	
	技 術 課	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0	
	分 析 課	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0	
工 場 合 計	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0		
研究施設管理課		0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0	
核燃料技術部 開発部	プルトリウム燃料開発室	58 (40)	22 (8)	36 (32)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	4.3	
	先端技術開発室	1 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0	
	遠心法設計開発室	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0	
	新型濃縮技術開発室	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0	
	燃料製造プロセス開発室	45 (29)	22 (11)	23 (18)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	10.1	
部 合 計	104 (69)	45 (19)	59 (50)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	10.1		
再処理技術部 開発部	プラント設計開発室	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0	
	機器材料開発室	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0	
	アクチニドプロセス分析開発室	1 (1)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0	
	部 合 計	1 (1)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0	
環境技術部 開発部	環境技術第一開発室	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0	
	環境技術第二開発室	1 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0	
	地層処分開発室	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0	
	部 合 計	1 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0	
環境施設部	技 術 課	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0	
	処 理 第 一 課	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0	
	処 理 第 二 課	61 (57)	60 (56)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.3	
	処 理 第 三 課	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0	
	部 合 計	61 (57)	60 (56)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.3	
総 合 計		751 (594)	345 (232)	371 (328)	35 (34)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	23.1	

括弧内は内数で外来者(請負作業、業務協力員等)を示す。検出限界は0.2mSvである。



表5-2-2 管理区域内一時立入者の被ばく管理

(平成8年度第2四半期)

部・工場名	管理対象人数 (人)	検出限界未満人数 (人)	検出限界以上人数 (人)
安全管理部	81 (38)	81 (38)	0 (0)
プルトニウム燃料工場	749 (275)	749 (275)	0 (0)
再処理工場	1,125 (793)	1,125 (793)	0 (0)
核燃料技術開発部	158 (59)	158 (59)	0 (0)
再処理技術開発部	146 (18)	146 (18)	0 (0)
環境技術開発部	49 (2)	49 (2)	0 (0)
環境施設部	312 (91)	312 (91)	0 (0)
合計	2,620 (1,276)	2,620 (1,276)	0 (0)

括弧内は内数で見学者を表わす。

線量計：TLD (UD-300P2)

検出限界：0.1ミリシーベルト

表5-2-3(1) 特殊放射線作業等に伴う作業モニタリング

(平成8年度第2四半期)

部 課 室 名	件 名	着用期間	管 理 対 象 人 数 (人)				
			TLDバッジ	TLD指リング ( $\beta+\gamma$ )	TLD指リング ( $\gamma$ )	TLD UD-200S	
プルトニウム燃料工場	管 理 課	保障措置視察	09/09~09/13	24	0	24	0
	設 備 課	保障措置視察	09/09~09/13	1	0	1	0
	検 査 課	保障措置視察	09/09~09/13	7	0	7	0
	工程内滞留低減対策班	成形・整列グローブボックスの解体	07/01~07/15	18	0	0	0
		成形・整列グローブボックスの解体	08/08~08/13	11	0	11	0
		成形・整列グローブボックスの解体	09/09~09/13	10	0	10	0
		ホールドアップ対象設備の清掃作業	09/27~09/30	7	0	7	0
	製 造 加 工 部	主工程室 (A126) 立ち入り規制区域内作業 (混合工程の運転)	07/01~07/17	12	0	12	0
		秤量器及び上下作動装置の設置作業	09/05~09/13	14	0	14	0
	製 造 課	バッジ式予備焼結設備及び安定化処理設備撤去・解体	07/04~07/12	3	0	3	0
		混合造粒設備及び焙焼還元設備の粉末回収作業	07/04~07/12	6	0	6	0
		ビニール梱包廃棄物の詰め替え作業	08/02~08/07	3	0	3	0
		保障措置査察	09/09~09/13	14	0	14	0
	加 工 課	保障措置査察	09/09~09/13	3	0	3	0
再 処 理 工 場	前 処 理 課	セル内不要物品の処分作業	07/03~08/02	10	14	0	0
		セル内ドライブシャフト交換作業	07/08~08/02	0	10	0	0
	化 学 処 理 第 一 課	セル (R105D) 内点検作業	07/30~08/01	10	0	0	0
	化 学 処 理 第 二 課	サンプリングベンチNo1,4ブーツ交換	07/08~07/12	24	24	0	0
		R 220点検補修	07/11~07/22	14	0	0	0
	技 術 課	272-W105三方弁の交換	08/05~08/06	9	9	0	0
	分 析 課	高放射性試料分析セルライン下部の点検・整備作業	07/23~07/31	40	40	0	0
		高放射性試料分析セルライン下部の点検・整備作業	08/01~08/06	44	44	0	0
分析セルライン下部遮へい体据付作業		08/29~08/30	7	0	0	0	
分析セルライン下部遮へい体据付作業		09/01~09/19	8	0	0	0	
核 燃 料 技 術 開 発 部	プルトニウム燃料開発室	保障措置視察	09/09~09/13	5	0	5	0
	燃料製造プロセス開発室	保障措置視察	09/09~09/13	4	0	4	0
		スクラップ均一化混合作業	07/01~07/12	1	0	1	0
環 境 技 術 開 発 部	環境技術第二開発室	核種除去試験	07/01~09/30	9	9	0	0
	地層処分開発室	保障措置視察	09/09~09/13	1	0	1	0
環 境 施 設 部	処 理 第 二 課	保障措置視察	09/09~09/13	1	0	1	0
			合 計	320	150	127	0

表5-2-3(2) その他の作業モニタリング

(平成8年度第2四半期)

部 課 室 名	件 名	着用期間	管 理 対 象 人 数 (人)				
			TLDバッジ	TLD指リング ( $\beta+\gamma$ )	TLD指リング ( $\gamma$ )	TLD UD-200S	
核 燃 料 技 術 開 発 部	先端技術開発室	立教大学原子力研究所における実験に伴う個人モニタリング	07/08~07/11	2	0	0	0
		工業技術院電子技術総合研究所における実験に伴う個人モニタリング	07/24~07/26	2	0	0	0
		工業技術院電子技術総合研究所における実験に伴う個人モニタリング	09/18~09/20	2	0	0	0
		合 計		6	0	0	0

表5-3-1 内部被ばく管理状況

(平成8年度第2四半期)

測定項目 部署名	定期バイオアッセイ		定期肺モニタ (人)	定期全身カウンタ (人)	従事者指定・指定 解除に伴う定期全 身カウンタ測定 (件)
	ウラン (人)	プルトニウム (人)			
東海事業所	0	0	0	3	1
安全管理部	0	0	0	0	138
核燃料サイクル工学 研修室	0	0	0	0	0
管理部	0	0	0	9	2
建設工務管理室	0	0	0	19	3
技術開発推進部	0	0	0	10	56
プルトニウム燃料工場	0	0	6	0	3
再処理工場	27	24	0	4	834
研究施設管理課	0	0	0	36	74
核燃料技術開発部	9	0	0	6	4
再処理技術開発部	4	0	0	80	29
環境技術開発部	0	0	0	77	74
環境施設部	1	0	0	0	658
合計	41	24	6	244	1,876
測定結果	全員異常なし。	全員異常なし。	全員異常なし。	全員異常なし。	全員異常なし。

表 5 - 4 - 1 (1) 中央登録センターに対する申請件数

(平成8年度)

項目	申請年月										合計		
	平成8年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	平成9年 1月		2月	3月
事前登録(手帳発行含)	34	53	3	11	5	1							107
指 定 登 録	523	310	458	702	515	445							2,953
指 定 登 録 削 除	0	0	1	8	2	3							14
事 前 兼 指 定 登 録	0	0	0	0	0	0							0
指 定 解 除 登 録	771	579	239	397	453	715							3,154
指 定 解 除 登 録 削 除	0	0	0	0	0	0							0
手 帳 発 行 登 録	3	0	0	3	0	0							6
個人識別登録変更・訂正	2		0	0	0	2							4
個人識別登録削除	0	0	0	0	0	0							0
過去分定期線量	0	0	0	0	0	0							0
過去文定期線量削除	0	0	0	0	0	0							0
定期線量登録	0	0	0	0	0	0							0
定期線量登録削除	0	0	0	0	0	0							0
個人識別統合	0	0	0	0	0	0							0
経 歴 紹 介 票	2	0	0	1	0	0							3
合 計	1,335	942	701	1,122	975	1,166							6,241

表 5 - 4 - 1 (2) 放射線業務従事者指定・解除処理及び被ばく歴報告書送付件数

(平成8年度)

項目	平成7年									平成8年			合 計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
従 事 者 指 定	461	342	443	723	532	400							2,901
従 事 者 指 定 解 除	469	246	354	513	689	542							2,813
個人被ばく歴報告書	235	92	130	172	184	210							1,023

表 5 - 5 個人線量計の定期点検状況

(平成8年度第2四半期)

線量計の種類		点検個数			
		7月	8月	9月	合計
TLDバッジ	$\beta \cdot \gamma$ 線量計	400	1,907	683	2,990
	中性子線量計	0	1,968	672	2,640
TLD指リング線量計	$\beta \cdot \gamma$ 線量計	0	0	0	0
	$\gamma$ 線量計	0	0	0	0
UD-200S		0	0	0	0
UD-300P2		0	0	0	0
ポケット線量計		0	0	0	0

表 5 - 6 - 1 その他の線量測定業務

(平成8年度第2四半期)

部 課 室 名		件 名	使 用 期 間	使 用 線 量 計			
				TLDバッジ	TLD指リング ( $\beta+\gamma$ )	TLD指リング ( $\gamma$ )	TLD UD-200S
管 理 部	労 務 課	健康管理棟環境モニタリング	7月～9月	0	0	0	3
安 全 管 理 部	放 射 線 安 全 課	作業環境の集積線量測定	7月～9月	0			36
	放 射 線 管 理 第 一 課	作業環境の集積線量測定	7月～9月	0	0	0	36
	放 射 線 管 理 第 二 課	作業環境の集積線量測定	7月～9月	0	0	0	22
		作業環境の集積線量測定	7月10日	0	0	0	1
	環 境 安 全 課	施設周辺環境の集積線量測定	7月～9月	0	0	0	137
セル (R051) 入室前の線量測定		7月28日	0	0	0	1	
プルトニウム燃料工場	製 造 加 工 部	R220セル内線量測定	7月1日	0	0	0	4
			合計	0	0	0	240



## 6. 小集団活動の推進

### 6.1 東海事業所小集団活動（TSK）の推進

TSKは、平成8年度～平成10年度を「考勤期」と位置づけ、さらに質の高い活動への挑戦と枠にとらわれないフレキシブルな活動展開を目指すこととしている。

平成8年度の単年度活動方針は、以下の3項目を重点項目として活動を展開することとしている。

- (1) KY活動のより一層の推進を図る
- (2) 支援体制の強化と活動レベルの平均化を促進する
- (3) サークル員の能力向上を図る

#### 6.1.1 主な活動

- (1) 委員会活動 TSK推進部会及びTSKだより編集会議等を開催しTSK推進に資した。
- (2) 推進行事 第18回TSK大会を実施した。また、QCサークル茨城地区夏季大会に参加し、サークル活動推進に資した。
- (3) 広報活動 「TSKだより」第15号及び第16号を発行・配付し、サークルメンバーの啓発に努めた。

### 6.2 安全管理部小集団活動（ASK）の推進

ASKは、平成8年度の活動方針として以下の3項目を重点項目として活動を活発に展開することとしている。

- (1) 活気あるサークル活動の推進
- (2) サークル活動による安全意識の高揚と職場環境の維持・改善
- (3) サークル活動による課題達成能力の向上

#### 6.2.1 主な活動

- (1) 委員会活動 ASK推進委員会、ASK推進部会を開催しASK推進に資した。
- (2) 推進行事 9月に第19回ASK発表会を開催、また6月～8月の三ヶ月間「ハットアイデア、ハットトラブル」の募集と銘うってASK前期

キャンペーンを行った。

(3) 教育研修

7月：安全主管者による安全講話の実施

8月：交通KYの実施

## 7. 研究開発等

### 7.1 個人被ばく線量当量測定・評価技術の開発

#### 7.1.1 外部被ばく線量測定・評価技術の高度化

新型TLDバッジの開発については、エネルギー特性試験を引き続き行った。

また、昨年度整備した「グロー曲線解析システム」に品質管理支援等の拡張機能を盛り込んだ「線量評価支援システム」のシステム設計を開始した。

#### 7.1.2 内部被ばく線量測定・評価技術の向上

$\alpha$ 線放出核種の内部被ばく線量評価の改良に関する研究として、Pu/Amの同位体比に基づきPu摂取量を評価する方法を確立する。今期は、吸入摂取事故時に現場で採取されるスミヤ等の試料からPu/Amの同位体比を測定する方法を検討した。

放射能絶対測定法の一つである $\gamma$ - $\gamma$ 同時計数法を全身カウンタによる体内放射能測定に適用することにより計数効率が被験者の体格に依存しない測定法を開発する。現在、放射線保健室の鉄室内に設置してある $\gamma$ 線用Ge検出器で、測定試験を実施している。

### 7.2 放射線モニタリング技術の開発

#### 7.2.1 核燃料施設における放射線管理設計の基準化に関する研究

これまでの核燃料施設における放射線管理に関する知見、考え方を基に放射線管理設計の基準化を図るための研究開発を開始した。本年度は、放射線管理手法の取りまとめ及び解析と要素技術の開発を実施する。

放射線管理手法の取りまとめに関しては、30年間におけるプルトニウム燃料工場の放射線管理実績を集約するための調査を開始した。さらに、比較対象として考えられる国外のプルトニウム取扱い施設における放射線管理手法についての調査項目の検討を行った。要素技術としては、グローボックス表面に容易に取り付け可能な「薄型表示付ガンマ線用線量計」の開発及び管理区域への立ち入りごとの被ばく管理が行える「被ばく管理装置」の開発を開始し、試作器の仕様検討を行った。

### 7.2.2 放射線作業における被ばくの低減化に係わる研究

放射線下作業，特にセル内等の非定常的な作業における作業員の被ばく低減を目的として，①簡便で効果的な遮蔽体，除染剤の開発，②身体負荷の軽減を考慮した防護具の開発，③被ばく監視，管理機器の高度化に係わる研究を，平成8年度から5ヶ年計画で行う。

8年度は，本計画の初年度として，主に関連情報の収集，開発項目の抽出を行うこととしており，本四半期では，国内原子力発電所への訪問調査結果について取りまとめを実施するとともに，被ばく低減化達成のための各種要素技術に係る開発動向について，調査を開始した。

### 7.2.3 再処理施設における放射線監視・管理のシステム開発に関する研究

放射線監視支援システムの開発については，放射線監視モニタ及び排気モニタを対象とした指示値上昇時の対応について，A R E Sによる試行及びシステム構築案の検討を引き続き実施した。

放射線作業管理については，特殊放射線作業計画時の助言・指導のための支援システムとし，それに関して必要な知識や経験の洗い出しを継続した。また，現状の進捗状況を踏まえ，平成9年度までの構築計画を作成した。

## 7.3 環境安全技術の開発

### 7.3.1 影響評価手法に関する研究

リスク評価手法を用いた環境影響評価に関する調査研究については，外部性評価に関する文献等をレビューし，知見を取りまとめた。また，事故時の環境影響評価を目的としたダイナミックエコロジカルモデルの開発については，現実のフィールドをより再現するための検討を行った。

### 7.3.2 移行挙動及び変動要因に関する研究

フィールドデータの収集及び検討として，各種環境試料中の $^3\text{H}$ ， $^{14}\text{C}$ ， $^{239}\text{Pu}$ ， $^{240}\text{Pu}$ ， $^{241}\text{Am}$ 等の放射性核種の分析・測定を継続的に実施し，環境中における分布を調査した。土壌環境に関する研究としては，土壌表層への核種の保持に影響を及ぼす有機酸錯体の安定度定数を測定し，得られた結果をもとに環境中における核種の存在形態を

推測した。また、土質変化の主要因である酸性雨の現状について調査し、土壌の酸性化による核種保持力の変化を評価するための実験を実施した。

### 7.3.3 分析技術の高度化研究

ICP-MSを用いた<sup>99</sup>Tc及び<sup>237</sup>Npの分析法の高度化研究としては、キレート樹脂(Elchrom TRU spec.)による濃縮及び測定の際妨害となる<sup>99</sup>Ru、<sup>238</sup>Uの除去についてトレーサ実験を引き続き行った。また、マイクロ波導入プラズマ質量分析装置(MIP-MS)の長半減期核種分析への適用研究としては、検出信号のドリフトを測定するため、内標準試薬の選定試験を行った。

### 7.3.4 広域拡散影響評価手法に関する研究

海洋環境での広域拡散評価手法に関する研究として、昨年度の委託研究先との打合せを行い、研究の方向性について検討した。また、総合リスク評価手法の開発としては、リスク評価手法に関する文献を調査した。

## 7.4 安全工学研究

### 7.4.1 異常時のエアロゾル挙動等に係る研究

グローブボックス換気系に設置されている負圧調整ダンパの能力を増加させた場合における消火ガス放出量とグローブボックス換気系の応答把握に係る試験を行うとともに、HEPAフィルタの目詰まりに関する試験を進めた。また、火災事故時換気系評価コードFIRACのエアロゾル解析機能を追加するための整備作業を行った。

### 7.4.2 異常事象評価試験研究

示差走査熱量計を用いて、CMPO/TBP混合溶媒と硝酸の二相系の反応熱量の測定を行うとともに、加速速度熱量計を用いて、100%TBP-硝酸平衡溶媒等の单相系溶媒の反応熱量測定を継続した。また、再処理工程内で発生する反応性微量生成物に関する文献調査を行った。

### 7.4.3 静的安全機能を有する機器の核燃料施設への適用に係る研究

静的水素除去システムの成立性に関して、静的機器の使用例等の調査を進めるとともに、水素・酸素再結合触媒の水素除去特性試験内容について検討を継続した。また、分離型熱サイフォン式ヒートポンプを用いた除熱特性基礎試験装置の検討及び除熱性

能評価コードの調査を継続した。

#### 7.4.4 核燃料施設の安全解析手法の開発・整備

臨界安全については、SCALE4を用いてOBCD/NEA燃焼度クレジット臨界ベンチマークのための計算を行うとともに、アクチニド核種の臨界量の算出を行った。また、オンライン臨界安全監視システムの開発として、大洗工学センター臨界工学試験室(DCA)で測定した中性子雑音データの解析を行った。

遮へい安全解析については、BGS4汎用ユーザズコードの高度化のための作業を行うとともに、NPSS-Wの検証計算及びパソコンへの導入のための整備作業を行った。

#### 7.4.5 核燃料施設の確率論的安全評価に関する研究

信頼性データの収集・整備については、改良整備を行った信頼性データベースプログラムの機能拡張のための作業を継続して行った。

PSA手法の開発・整備については、再処理施設のヒューマンファクター分析に関するシステム開発のための作業を継続して行った。また、モデルプラントへのPSA適用研究では、再処理モデルプラントのプルトニウム転換工程にPSAを適用するための検討を引き続き行った。

## 8. 外部発表等

### 8.1 外部発表（学会論文発表，外部機関誌論文発表，その他の外部発表）

外部発表（学会論文発表，外部機関誌論文発表，その他の外部発表）の内容を表 8 - 1 に示す。

表 8 - 1 外部発表（学会論文発表，外部機関誌論文発表，その他の外部発表）

題 名	発表誌名または学会名等	発行者または主催者	発行日または開催日	発表担当課
ICRPと我が国の放射線防護	保険物理討論会	ICRP専門研究会	8月8日	安全対策課
Study on the behavior of I-129 in terrestrial environment	Sixth International Conference on "Low level Measurements of Actinides and Long-Lived Radionuclides in Biological and Environmental samples	第6回国際会議委員会	9月9日～13日	環境安全課



## 9. 表 彰 等

### 9.1 表彰一覧（科学技術庁長官賞，理事長賞，所長賞等）

表彰一覧（科学技術庁長官賞，理事長賞，所長賞等）の内容を表9-1に示す。

表9-1 表彰一覧（科学技術庁長官賞、理事長賞、所長賞等）

(1/5)

表彰名	受賞日	受賞者	所属	備考
安全功労賞 ・理事長賞	7月1日 (全社安全大会)	赤津 康夫	環境安全課	「放射線安全実務の確立と定着化への長年の貢献」
		水庭 春美 橋内 久美 栗俣 智行	放射線安全課 " " 検査開発	「身体サーベイの基本動作に係る教育方法の改善への貢献」
・所長賞	7月2日 (東海安全大会)	桜井 寛	安全対策課	「許認可業務等を通じての施設安全確保への貢献」
自己改革推進運動 キャッチフレーズ ・推進本部長表彰 (理事長賞)	7月1日 (全社安全大会)	泉 登志夫	放射線管理第一課	「やっていますか『もしも』の備え, もっていますか『もしも』の気がまえ」
		白井 謙二	安全対策課	「大切にします。あなたと私の故郷だから」
	7月2日 (東海安全大会)	大関 清	放射線管理第一課	「『今までこれでやってきた!』言えば進まぬ 新たな改革始めよう『次にチャレンジ!』」
		仲里 和仁	検査開発	「危機に対する感受性 個人で高め組織で強化」
		片桐 裕実	環境安全課	「『いざ』という時の即応は, リスクの認識・管理から!」
		吉田 健一	放射線管理第一課	「お答えします あなたの疑問 答えていきます あなたの意見 深めていきます あなたの安らぎ 高めていきます あなたの信頼」

(2/5)

表彰名	受賞日	受賞者	所属	備考
自己改革推進運動 キャッチフレーズ ・所長賞	7月2日 (東海安全大会)	野田 喜美雄 神 和美 萩野谷 仁 坂場 雅安	放射線管理第一課 放射線管理第二課 検査開発 放射線安全課	「知りたい時が知らせ時 誠意を添えて情報公開」 「大切にします 地域のこころ 育てます 地域の信頼」 「未来に向かってつくります 地域とあゆむ確かな環境」 「確かな技術・届ける安全・地域と結ぶ安心ネット」
保安標語 ・銀賞  ・部長賞	7月2日 (東海安全大会)	磯野 矢一 寺門 義則 川井 勉 森田 重光 小林 保	常陽産業 常陽産業 原子力システム 環境安全課 放射線管理第二課	「基本動作の徹底と確かな手順で安全確保 誰もが主役でゼロ災害」 「基本動作の徹底が 生み出す信頼0災害 築こうみんなの安全職場」 「小さな変化を見落とすな みんなで摘み取る危険の芽 初心にもどって安全点検」 「人に頼らず自ら実行 確認・報告確実に」 「危険箇所 みんなで確かめ確認し やるぞKY指差呼称」
安全ポスター ・銀賞	7月2日 (東海安全大会)	菊地 政昭	瑞豊産業	

表彰名	受賞日	受賞者	所属	備考	
安全管理部基本動作 10カ条 ・部長表彰	7月2日 (部長室)	椿谷 美由	安全対策課	「試料の提出は、『数字の確認』第一に、間違い探して『2度チェック』」	
		松田 敦文	放射線安全課	「管理区域へ入域する時は、所定の作業衣及び個人被ばく線量計を着用する」	
		中里 和仁	検査開発	「慣れた作業も安易に行わず、決められたルール・手順を忠実に守って実施する」	
					「ほんの些細な変化でも見逃さず、報・連・相を励行する」
		岩田 克弘	〃	「被ばく防護の3原則、時間・距離・遮蔽の徹底」	
		小林 保	放射線管理第二課	「作業開始前に、KY安全確認を忘れずに実施する」	
		武藤 重男	安全技術課	「勤務時間中は、作業服を正しく着用する」	
		蛭町 秀	〃	「職場はいつもきれいに整理・整頓し、使用した備品は元の場所に戻す」	
		安対課対策係	安全対策課	「席を離れる時は、行先・帰着時間を明確にする」	
				「現場への指導・助言は、的確に」	
小集団活動発表会 ・達成感会得賞	7月31日 (TSK大会)	オール リーダーズ	放射線管理第一課	「 $\alpha$ シンチサーベイメータ(エバーライン社製)の点検時ヒヤリハット撲滅作戦」	

表彰名	受賞日	受賞者	所属	備考	
業務改善提案 ・特賞	9月19日	川崎 位	放射線安全課	「特殊放射線作業における作業管理の改善」	
		江尻 英夫	〃		
		米澤 理加	〃		
		星野 勝也	検査開発		
		作山 光広	〃		
		三上 智	放射線管理第一課		「 $\gamma$ 線基準校正場の設定精度及び信頼性の向上」
		豊田 素子	〃		
		大柳 勝美	J R E C		
		廣沢 雅也	〃		
		・金賞			野原 尚文
大関 清					
長谷川市郎					
・銀賞		吉田 美香	環境安全課	「ニッケル定量分析法の改善」	
		山下 朋之			
		中野 政尚	環境安全課	「環境試料中セシウム137測定感度の向上」	
		清水 武彦	(常陽産業)		
		安達 務			
		大塚 隆宏	安全対策課	「超音波診断装置による胸部軟組織厚測定法の改良」	
		今泉 謙二	環境安全課		
叶野 豊	〃	「見学者対応映像システムの考案」			
渡辺 一	常陽産業				
石山 勇二	〃				
小沼 利光	原子力システム				
森田 重光	環境安全課	「抽出法によるテクネチウム-99の化学形態別弁別法の改善」			
渡辺 均					

表彰名	受賞日	受賞者	所属	備考
業務改善提案 ・銀賞   ・提案賞(400件)  業務改善提案 ・特別賞 第2位		阿部 顕 水谷 啓一  豊田 素子 三上 智 広沢 雅也	常 陽 産 業 放射線管理第一課  放射線管理第一課 " " J R E C  放射線管理第一課	「マスクマンテスト教育の実施及び受検の定期化」  「 $\gamma$ 線校正場事業所間相互比較方法の改善」  放射線管理第一課(提案:317件)